

埼玉県小児在宅医療推進の取り組み
2021 年度（令和 3 年度） 埼玉県小児在宅医療推進事業報告書
目次

巻頭言	3
2021 年度埼玉県小児在宅医療推進事業一覧	4
I. 埼玉県特別支援学校 看護教員及び養護教諭対象合同研修会	5
資料 I -1. プログラム	6
資料 I -2. アンケート内容	7
資料 I -3. アンケート結果	8
II. 医療的ケア児（重心児）の支援者向け講習会	15
資料 II -1. 2021 年度医療的ケア児（重心児）の支援者向け講習会 お知らせ	22
資料 II -2. 受講方法	24
資料 II -3. 申込者内訳	25
資料 II -4. 医ケア児（重心児）の災害対策を考える 募集案内	26
資料 II -5. 小児リハビリプログラムのご案内	27
資料 II -6. 医ケア児（重心児）の災害対策を考える～参加者内訳と会場の写真	28
資料 II -7. 小児リハビリプログラム 参加者内訳とグループワークの「困り事」内容	33
資料 II -8. 視聴後アンケートの集計	35
III. 小児在宅医療実技講習会	87
資料 III -1. 参加者募集ポスター	89
資料 III -2. プログラム	90
資料 III -3. アンケート結果	91
IV. 市民講座 「医療的ケア児の在宅生活の向上を目指して」	93
資料 IV -1. 開催案内	95
資料 IV -2. 申し込み状況について	96
資料 IV -3. アンケート結果	99
V. 介護士・保育士対象講習会	103
資料 V -1. 開催案内	104

VI. 埼玉県小児在宅医療支援研究会	105
IV-1. 第40回小児在宅医療支援研究会	105
資料IV-1-1. 開催案内	115
資料IV-1-2. アンケート結果	116
IV-2. 第41回小児在宅医療支援研究会	124
資料IV-2-1. 開催案内	125
資料IV-2-2. アンケート結果	126
IV-3. 第42回小児在宅医療支援研究会	135
資料IV-3-1. 開催案内	138
資料IV-3-2. アンケート結果	139
IV-4. 第43回小児在宅医療支援研究会	147
資料IV-4-1. 開催案内	148
資料IV-4-2. アンケート結果	149

巻頭言

新生児集中治療室長期入院児対策として始まった埼玉医科大学総合医療センター小児科における小児在宅医療の取り組みも既に10年以上続いております。この間、平成24年度の厚生労働省在宅医療拠点事業への参加、県から委託される形になった平成25年度、26年度の小児等在宅医療拠点事業（全国の自治体から8-9都府県が選ばれました）の後、保健医療部医療整備課とともに小児在宅医療推進事業を続けてきました。その間、それ以前の法律を改正する形でできた平成25年の障害者総合支援法の施行、自治体による医療的ケア児支援体制整備の努力義務を定めた平成28年の児童福祉法の改正、平成30年12月に成立したいわゆる成育基本法、令和3年に制定、施行された医療的ケア児支援法と法整備が行われてきました。それとともに、全国的には「こども家庭庁」の新設が議論され、埼玉県では医療的ケア児支援法に基づく「医療的ケア児等支援センター」の設立に向けてあり方検討会議が始まりました。しかし、そういった外形の整備を実際の子どもや家族の支援に活かしていくためには現場での私たちが具体的な取り組みが必要になります。私どもの小児在宅医療推進事業が皆様の取り組みの一助になればと思っております。まだまだ不十分なところもあると思いますが、県内の在宅の医療的ケア児とご家族が安心して過ごせる環境が整備されるよう今後も活動を続けてまいりたいと思っております。これからも皆様にご指導いただければと考えておりますので、お気づきの点は是非ご教示ください。今後ともよろしくお願い致します。

令和4年3月

埼玉医科大学総合医療センター小児科

運営責任者

森脇 浩一

2021年度埼玉県小児在宅医療推進事業(人材育成講習会及び県研究会)一覽

人 材 育 成 講 習 会	標 題	日 程	対 象 者	会 場	内 容
人 材 育 成 講 習 会	埼玉県特別支援学校看護教員 ・養護教諭合同研修会	2021.10.9	県内の特別支援学校看護師、養護教員	ハイブリット方式 1. 埼玉県立川島ひばり 特別支援学校 2. ZOOMミーティング	①医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律と埼玉県の小児在宅医療の現状と課題②重症心身障害児の基礎知識と健康状態の把握③学校における緊急対応について(けいれん発作も含む)④学校における医療的ケア～経管栄養に関する話題(新規格製品を含む)～⑤事例検討
	医療的ケア児(重心児)の 支援者向け講習会	2021.11～ 2022.2	埼玉県で医療的ケア児(重心児)の支援をしている看護師・リハ職・介護職・保育職(児童発達支援員含む)など	動画配信	①mamacareの活動と支援者へのお願い②小児在宅医療の現状③重症心身障害児・者について④身体障害者手帳・療育手帳と小児慢性特定疾病⑤感染予防の基礎知識と個人防護具の着脱⑥クイズで学ぶ感染予防(新型コロナウイルスの情報も含む)⑦けいれん時の対応⑧プレイヤーのよる在宅療養の子どもへの遊び支援⑨医療型障害児入所施設での日常生活援助と工夫⑩経管栄養の基礎知識⑪摂食・嚥下のケア⑫胃ろうについて⑬気管切開について⑭医療ケア児受け入れ保衛団の取り組み⑮小児リハビリプログラム:運動発達・姿勢とボジショニング:補装具と日常生活用具・遊びと発達及び家族支援
		2021.12.9		ハイブリット方式 1. 埼玉医大総合医療センター 2. ZOOMウェビナー	「ケア児(重心児)の災害対策を考える」 ①HUG(避難所運営)を経験しよう!(グループワーク) ②各事業所で行っている災害対策の共有と検討(グループワーク) その他講義
		2022.1.30		ZOOMミーティング	①小児リハビリプログラム ②リハに関する困り事(グループワーク)
				動画配信	①小児在宅医療の現状②胃ろうについて③気管切開について④姿勢とボジショニング⑤人工呼吸について
小児在宅医療実技講習会	2021.12.25	埼玉県で小児在宅医療にかかわる医師、看護師、医療関係者	埼玉医大総合医療センター	【人形を使つての実技】 ①胃瘻ボタン交換②気管カニューレ交換③マスクバック 【お互いの身体を使つての実技】 呼吸リハの方法 【見学:業者からの説明】 ①人工呼吸器②排痰補助装置	
研 修 会	「医療的ケア児の在宅生活の向上を目指して」 市民講座	2022.2.1～ 2022.2.15	埼玉県の医療的ケア児のご家族、支援者	Youtubeで動画配信	①医療的ケアを必要とする子ども達と日常生活②生活で役立つ道具と工夫 ③食べる機能の発達支援
		2022.3.23	埼玉県内の食事の介助を担う介護士・保育士	カルガモの家	摂食機能の向上を支援する療育
	第40回 埼玉県小児在宅医療支援研究会	2021.5.12	埼玉県内の小児在宅医療に関わる方	Zoomウェビナー	児童発達支援・放課後デイサービスと医ケア児(1) ～通所支援における医ケア児の諸問題～
	第41回 埼玉県小児在宅医療支援研究会	2021.7.14	埼玉県内の小児在宅医療に関わる方	Zoomウェビナー	児童発達支援・放課後デイサービスと医ケア児(2) ～新たな報酬体系とは～
	第42回 埼玉県小児在宅医療支援研究会	2021.11.10	埼玉県内の小児在宅医療に関わる方	Zoomウェビナー	循環管理の考え方～それはちょっとも難しくない～
	第43回 埼玉県小児在宅医療支援研究会	2022.2.16	埼玉県内の小児在宅医療に関わる方	Zoomウェビナー	医療的ケアの王さま!人工呼吸器のすべて
	地域における医療連携	中止	地域の小児在宅医療に関わる在宅支援診療所・病院等の医師・歯科医師・看護師等	中止	症例検討、講演、関係構築

I. 埼玉県特別支援学校 看護教員及び養護教諭対象合同研修会

1. 開催概要

学校で医療的ケア児にかかわる人たちを対象に研修会を行った。プログラムの作成にあたり、事前に特別支援学校の看護教員と養護教諭を対象に、医療的ケア児について知りたいことや疑問に思っていることについてアンケートを取り、そのニーズに合わせた内容で研修プログラムを作成した。参加方式は、現地（埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校 会議室）と zoom のハイブリッド方式とした。

資料 I -1 にプログラムを示す。

2. 研修会の実際

現地参加者は14名で、内訳は、看護教諭、養護教諭、管理者であった。 zoom 参加者は58名であった。登録は65名のうち7名は運営スタッフであった。 zoom 参加者の内訳は、養護教諭、看護師、教育委員会等、教員、管理者であった。

事例検討では、蓮田特別支援学校から提出された小学生の学校における呼吸障害に対する対処法について検討した。

資料 I -2 にアンケートを示す。

資料 I -3 にアンケート結果を示す。

3. まとめ

参加は、特別支援学校の看護教員が半数を占めていた。研修会の感想は、「とてもよかった」が、6割を占めていたが、「よくなかった」も1割程度占めていた。意見や感想については、勉強になった、今後の役に立ちそうだと答えた人が多かった。今後の研修会の希望としては、実技講習や多職種のグループワーク、理学療法士の呼吸リハの話、摂食・嚥下の話、災害時の対応など多彩な要望があった。埼玉県小児在宅医療支援研究会の存在は、6割近くのひとが知らないとのことであった。このような研修会の折に宣伝する必要性を感じた。よくなかった理由の記載は見当たらなかった。

今後もこのような研修会を開催してほしいという要望は強いので、今後も種々の研修会を企画し開催したいと思うアンケート結果だった。



埼玉県特別支援学校

看護教員及び養護教諭対象合同研修会

日時 2021年 **10月9日(土)** 13:00~17:00

場所 川島ひばりが丘特別支援学校 会議室

方式 現地開催と Zoom のハイブリッド方式

対象

- 埼玉県立特別支援学校 看護教員、養護教諭
- 埼玉県小中学校 養護教諭、管理職、医療的ケア担当者
- 埼玉县市町村教育委員会特別支援教育担当指導主事

定員 現地 30名(先着順)
Zoom 100名(先着順)

【お申し込み方法】

現地参加 →別添の FAX 用紙にてお申し込みください。(9月30日締切)

Zoom 参加 →下記 URL または QR コードよりお申し込み下さい (10月7日締切)

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZcvdeCvqTkuG9Qw39exNjzMW-rC7k7uW4Uj>



ZOOM 参加申込フォーム

プログラム 司会：高田栄子

- 13:00 挨拶 <埼玉医科大学総合医療センター 小児科教授 森脇浩一>
- 13:10 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」と埼玉県の小児在宅医療の現状と課題 <医師 奈倉道明>
- 13:40 重症心身障害児の基礎知識と健康状態の把握 <医師 高田栄子>
- 14:10 学校における医療的ケア 経管栄養に関する話題と物品の簡素化 <小児診療看護師 小泉恵子>
- 14:40 休憩
- 14:55 在宅人工呼吸器について <臨床工学技士 山口里香>
- 15:25 学校における緊急時対応について(てんかん発作も含む) <医師 高田栄子>
- 15:55 事例検討 蓮田特別支援学校より提出された事例
- 16:15 自由討論

資料 I - 2 埼玉県特別支援学校看護教員及び養護教諭対象合同研修会アンケート

以下の質問には○または自由記載でお答えください。

☆長時間お疲れさまでした。今後の参考にしますので、以下のアンケートにご協力ください。

【ご自身についてお答えください】

a) 所属

① 教育委員会 ② 特別支援学校 ③ 小学校 ④ 中学校 ⑤ その他()

b) 職種

① 管理職 ② 看護教員 ③ 養護教諭 ④ 教育委員会指導主事 ⑤ その他()

【講習会について】

1. 本講習会全体を通しての感想で一番近いものに○をつけてください。

①とてもよかった ②まあまあよかった ③どちらともいえない ④あまりよくなかった ⑤よくなかった
「よくなかった」場合、その理由を教えてください。

2. 講義でよかったものをお答えください。(複数回答可)

①医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」と埼玉県の小児在宅医療の現状と課題
②重症心身障害児の基礎知識と健康状態の把握 ③学校における医療的ケア 経管栄養に関する話題と物品の簡素化 ④在宅人工呼吸器について ⑤学校における緊急時対応について ⑥事例検討 ⑦自由討論

3. 講義に関して感想や運営に対するご意見がありましたら、お書きください。

4. 今後、医療的ケア児に関して、どのような講習会や研修会、ワークショップ、実技講習会などを希望されますか？

5. 乳幼児の在宅医療を支援するサイト～日本小児在宅医療支援研究会～ (<http://www.happy-at-home.org/>) をご覧になったことはありますか？

①はい ②いいえ

6. 埼玉県小児在宅医療支援研究会が年に4回開催されていることをご存知ですか？

① 知っていて出席したことがある ②知っているが出席したことはない ③知らない

7. 今後小児在宅医療に関する研究会や講習会のご案内を希望されますか？ご希望される方は、所属と名前、メールアドレスの記載をお願いいたします(※既にご案内が届いている方は記入不要です)

ご所属 _____

お名前 _____

メールアドレス _____

ありがとうございました

資料 I -3

2021年10月9日(土)13:00~17:00

埼玉県特別支援学校看護教員及び養護教諭合同研修会

現地参加者 14名

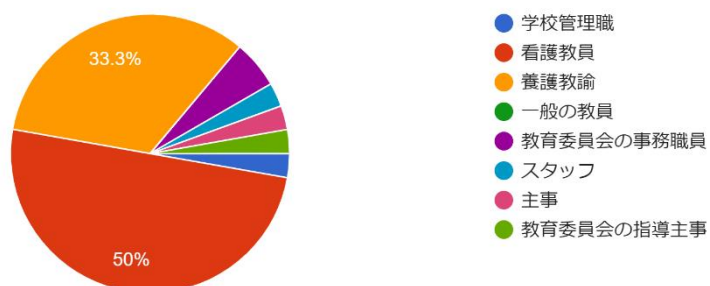
zoom参加者 58名 (登録65名、うち7名は運営スタッフ)

参加者アンケート

36件から回答

職種をお答え下さい。

36件の回答



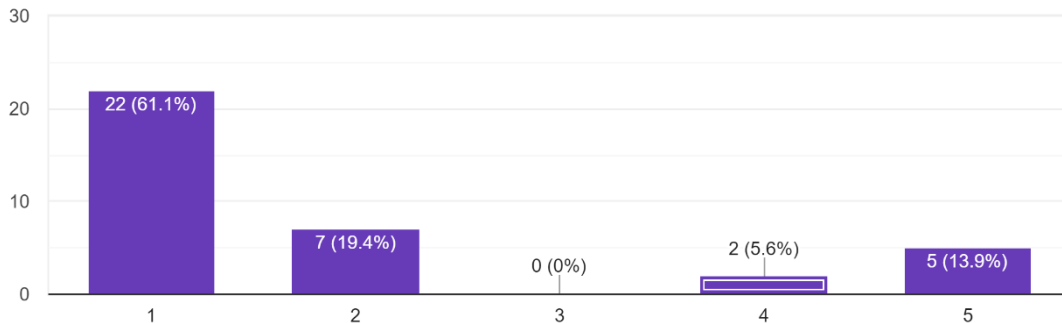
ご所属をお答え下さい。

36件の回答



本講習会全体を通しての感想をお答え下さい。

36 件の回答



問： 特に印象に残ったセッションがあれば、その理由も添えてお書き下さい。①法律と埼玉県の実況(奈倉)、②重心児の把握(高田)、③経管栄養(小泉)、④人工呼吸器(山口)、⑤緊急時対応(高田)、⑥事例、⑦自由討論

34 件の回答

- ③
- 5 転換の対応見直しができる。新しい薬の情報もありがたかった。
- 2.3.5
- ⑤緊急時対応 けいれん発作時の対応などわかりやすかった。
- ①一般の義務教育学校でも、医療的ケア児の受け入れが、努力義務から責務になったという法的な改正など、詳しく知ることができました。
- ①③
- 5 緊急時の対応は一番の心配事と思われるので
- ③ 日常的に使用する経管栄養の新規格製品に対して問題点やその対処法の説明がとてもわかりやすかったです。現場でもすぐに実践できそうです。
- ①、③、④、⑤
- 緊急時対応
- ①埼玉県の状況を鋭く分析されていて、こちらも大変勉強になりました
- 1,2
- ①法律と埼玉県の実況
- ③ 具体的でとても参考になりました。
- ①埼玉県全体で取り組んでいくためには医療機関との連携をさらに強化できたらと思いました。
- ④と⑥です。人工呼吸器の対応については、学校と保護者と相談をしながら進め

ているところなので、とても参考になりました。てんかんの対応については、改めて確認をさせていただきました。

- 一つに絞れなくて申し訳ありませんが、経管栄養と人工呼吸器についての研修は、学校という現場で働くものとして勉強になりました。日々、医療が発展して変わっていく中で、自分の知識が追いついていないところがあったので、すごく勉強になりました。法律ができ、医療的ケアの現場も変わるかと思います。そういったとき、児童が医療的ケアを安全に受けられる環境でなければならないかと思いません。知識をもつ、情報をもつ事で、現場のものが萎縮せずに医療的ケアを実施できると思います。事例等を踏まえた今回の研修会に参加してよかったです。
- ①今後、学校で簡単には法律の説明をしなければならないので、参考になりました。
②総カロリーー450kcal、緊張強いお子さんがいるので、改めて拘束性呼吸障害など、参考になりました。③ミキサー食を本校では実施しているので、心強く感じました。新しい物品のことも明日から保護者へも説明していきます。④来年度は本校も入学生がいるかもしれないので、校内研修の参考にさせていただきます。⑤校内研修に参考にさせていただきます。ブコラム、ダイアップについての説明、わかりました。⑥多くの先生方に考えていただき、今後、いつもと違うという時に、時間の経過とともに、参考にさせていただきます。
- ① どのように法律ができたのか、首都圏や全国的なものも踏まえて埼玉の現状がよく分かりました。
- ①法律と埼玉県の実状：6月に医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が公布され、改めて法律と埼玉県の実状はわかりやすく、良かったです。
- ③ 新しい経管栄養のことを学びたいとおもっていたので大変勉強になりました。
- ①②④⑤
- 1 法律と埼玉県の実状 法改正については聞いていたが、日常の業務で医療的ケア児との接点がないためイメージがつかずにいた。法改正の経緯や関係する機関等を知ることができた。
- ①経緯等が学べました。
②③④ 義務教育学校勤務だとケースとして出会うことがあまりないので、具体的に知る機会を得られて良かったです。
- どの講演も印象深いですが、特に④では、人工呼吸器の構造や使用時の注意点等について、ここまで詳しく聞く機会はなかなかなく、呼吸器業者による研修よりも分かりやすくとても勉強になりました。校内での研修にも活かしたいです。
- ②基本的なことから具体的なお話が聞けて勉強になりました。
- すべての内容が今後の業務に役立つことばかりで、参加できてよかったです。あ

りがございました。

- 4.人工呼吸器も増えてきているので、詳しく知れたので、よかったです。
- 5.物品も徐々に変わってきていて、知らないことがあります、今後の参考になります。
- どれも参考になりました。③④については研修を受けたことがないので、とても参考になりました。ブコラムは保護者からはまだ保護者しか使えないと聞いています。
- ③ 新企画になり、保護者の方や教員からいろいろと質問を頂くことがあるので勉強になりました。ありがとうございました。
- ④ 現在自分が知りたかった内容を教えていただけました。
- ③経管栄養 規格が変わったところでの具体例が多く参考になりました。
- 1.2.5.6

問： 今後、医療的ケア児の研修会に関して、どのようなテーマや形式を希望されますか？（講演、実技実習、グループワークなど）

22 件の回答

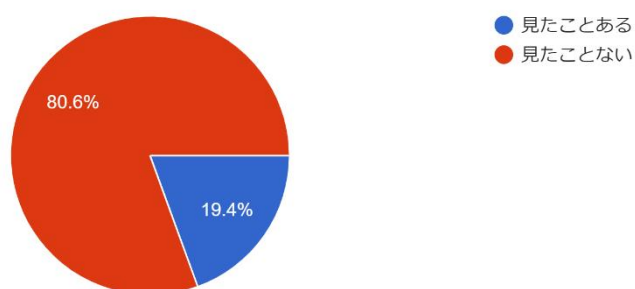
- 講演、事例検討
- 講演
- 今回は参加できなかったが事例研修は現場の実際に役立つと思う
- 医療的ケアについて知識不足もあるので、基礎から学びたい。
- 実技実習
- 多職種のグループワーク
- 脳性麻痺などの疾患について。
- 今後の医療的ケアに対する講演
- ケアを希望していても体調が安定せず登校できていない生徒と保護者への関わりなどお話しして頂きたいです
- 講演等。Zoom など。実際の動画等もあると嬉しいです。
- 講演 次回の循環器の先生の講演を楽しみにしております。
- 今後は、各市町村で医療的ケアを実施していかなければなりません。そのために、①看護師はどのように配置（常勤、非常勤、給与など）すればよいのか、②運営協議会はどのように実施すると良いのか。課題がたくさんあります。コロナ禍で看護師不足であることもあり、看護師の人材バンクのようなものがあると非常にありがたいなと思います。
- PTによる、呼吸支援や排痰支援等の講演や実技実習等々
- ユーチューブ等の動画配信で一定期間、日時を問わず視聴できると参加しやすい。
- 今回のような対面とネットと合わせたハイブリットな研修会が参加しやすく良

いです。

- 呼吸介助や排痰介助など医療的ケア児に必要な支援などを学びたいです。
- 重症心身障害児の摂食嚥下と食事ケア、排痰困難な児へのアプローチのような講演会に参加してみたいです。
- 事例検討を多数扱ってほしい。(緊急対応だけでなく、様々な個別の配慮を学校や病院でした例を知りたい)
- ①呼吸器や吸引器を使っているときの災害時の対応について。②口頭気管分離術後の経口摂取や栄養摂取時の味覚や嗅覚についてどのように感じているか。どのような声がけしながら支援すればよいか悩むことがあります。
- 講演で、人工呼吸器に関して、もっと詳しく知りたいです。

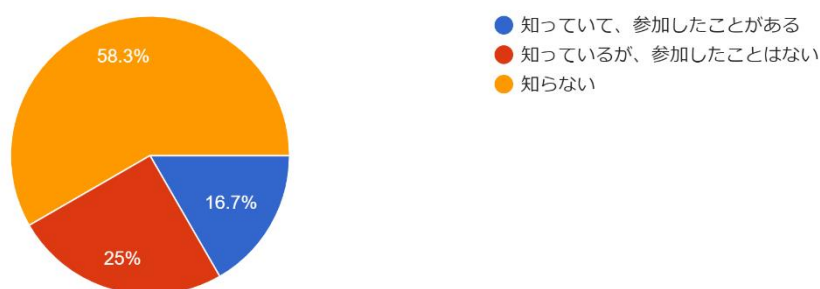
乳幼児の在宅医療を支援するサイト～日本小児在宅医...org) をご覧になられたことはありますか？

36 件の回答



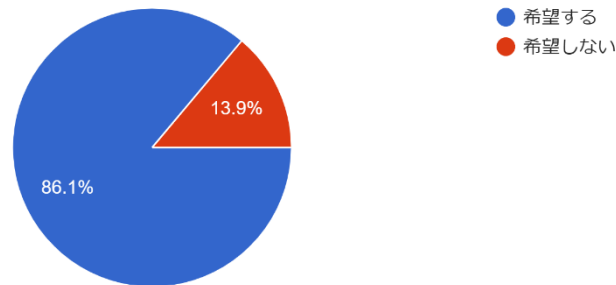
埼玉県小児在宅医療支援研究会が年に4回開催されていることをご存じですか？

36 件の回答



今後、小児在宅医療に関する研修会などのご案内メ...ご記載頂いたメールアドレスにお送り致します。

36 件の回答



問： その他気づいたことがあれば、遠慮なくご記載下さい。

18 件の回答

- 参加できてありがたかったです。ありがとうございました。
- 医療的ケア児の社会的支援や、今後一般の小学校での受け入れも増加していくという現状等を知ることができました。また、具体的な器具の扱い方や、対応等を学ぶことができました。子供たちのため、一般の小学校でも今何ができるのか、すべきか考えていきたいと思えます。
- 参加者の医学知識がどの程度のものかわからないのですが、専門用語の解説があった方が良いでしょうと思いました。
- 盛りだくさんな内容で大変勉強になりました。学校でのことや学校での対応、最新の情報を学べて、有意義な研修でした。今後の実践に活かして行きたいと思えます。Zoom で参加できたのも、ありがたかったです。ありがとうございました。
- 本日はありがとうございました。大変勉強になりました。
- 大変貴重な研修の機会をありがとうございました。市町村はこれから本格的に看護師配置などの制度を整えていくこととなります。県の担当として、医療的ケアの実際の様子を学ぶことができとても参考になりました。本日はありがとうございました。
- このような研修会を開いてくださり、ありがとうございました。自分の知識、情報向上になりました。
- 今回は都合で自宅で受けさせていただきましたが、直接伺いたいと思えました。ありがとうございました。
- 非常に素晴らしい会だと思えました。 コロナ禍で大変な中での実施に心から尊敬いたします。 本日は、ありがとうございました。吉川市教育委員会 山本 生香
- 本日は、研修会の御準備等、講演会ありがとうございました。

- 先生方、お忙しい中、講義をしていただきありがとうございました。感謝申し上げます。医師のいない学校で働く者の重圧を思いやってくれたことが今後の励みとなります。今後、呼吸器の子を受け入れるにあたってはいつでも連絡がつく医師がいること、保護者が学校に保護者なしで預けることのリスクを理解すること、何かあった時の保障を行政がきちっと築くことが先決です。ICU や訪問看護の現場で働く看護師や学校で働く非常勤の看護師は、今の状況で保護者なしで呼吸器の子に付き添い学校で過ごすことはやりたくないと言っています。「学校って医師がいないんだよね。重度重複の子たちだよ。よくやってるね。」と言われる始末です。非常勤の看護師も看護教員の採用試験を受けた者たちも「いきなりこんな法律が導入されて人手不足や無理な体制でやらされるなら試験は受けない方がいいかも」と言い始めています。どんなに理想を語っても、法律でがんじがらめにしても、これが現状です。どうしたら新しい人が増えていくのか、どうしたら新しい人たちが安心して働けるのか。長く働いているものが知恵を絞るしかありません。本日はありがとうございました。
- 先程、直接メールで感想を送信した者です。早速の返信とアンケートフォームの再送、ありがとうございました。
- 初めて参加しましたが、zoom という形で参加できてよかったです。
- 事前の質問等からプログラムを組み立てていただきありがとうございました。とても充実し実りのある研修となりました。
- 学校の看護教員や養護教諭は医師がいない孤独な状況で、医師のように判断しなければならず、強いプレッシャーをかけられていると言ってくれたのが、本当にありがたかったです。本当にその通りで苦しいです。その苦しみを解消してくれるのが、このような研修です。なかなか、このような学校のための医療的ケアなどに焦点を当てた研修がなく、学ぶ機会もなく、医師の先生や専門看護師さんたちとの継続的なフォローを受けることが出来ない上に、上司が医療職でないのが私たちの現状です。どうかまたこのような機会を継続的に作っていただきたいです。医療整備課の方々にもお願いしたいです。そして、特別支援教育課の方には、私たちがもっと参加しやすい身になる研修をきちんと考えていただきたいです。本日は、発表させていただき、ご助言いただきありがとうございました。zoom で参加し、発表者であったのに、川島に出向くことなく発表させていただいたので、自分の子どもが小さいわたしとしては、とてもありがたかったです。
- ハイブリット式での研修会 ありがとうございました。
- 通常学級にも、てんかんを有する児童生徒がおりますが、本人、保護者、学校が慎重になることで、早退が増え、学習面での遅れが出てきてしまうお子様もいます。なかなか現場での対応に難しさやどう対応してよいか迷うことがあります。今日の機会がございましたら、そういった内容の講義が聴けたら嬉しく思います。

II. 医療的ケア児（重心児）の支援者向け講習会

1. 開催概要

医療職に限らず、医療的ケア児及び重症心身障害児の支援に関わっている方に向けて講習会を開催した。申込者は218名+aであった。開催方法は講義内容によって動画視聴、集合研修、ZOOMライブ参加の3パターンにわけた。（資料Ⅱ-1 2021年度医療的ケア児（重心児）の支援者向け講習会 お知らせ、資料Ⅱ-2 受講方法、資料Ⅱ-3 申込者内訳）

1) 動画視聴：講義

18の講義は動画を視聴する方法で実施した。15の講義は2020年度に作成していただいた動画を利用し、「小児在宅医療の現状」「クイズで学ぶ感染症予防（新型コロナウイルスの情報を含む）」「医ケア児受け入れ保育園の取り組み」は新たに作成していただいた。

2) 集合研修：グループワーク

「医ケア児（重心児）の災害対策を考える」をテーマにグループワークを行った。

会場参加者は16名、ZOOMウェビナー視聴者は29名であった。

（資料Ⅱ-4 医ケア児（重心児）の災害対策を考える 募集案内）

3) ZOOMライブ：小児リハに関する質疑応答とグループワーク

第1部は事前に小児リハに関する4講義を視聴し、質問を視聴後アンケートに記載。それについて講師が解説を行った。第2部は「リハに対する困り事」をテーマにグループワークを行った。第1部の参加者は22名、第2部の参加者は6名であった。

（資料Ⅱ-5 小児リハプログラムのご案内）

2. 準備

1) 開催案内 10月～実施、11月上旬締め切り

(1) 10月からホームページ上

(2) 過去の参加者にメール

(3) リハ講師に依頼し、埼玉県理学療法士会及び埼玉県作業療法士会で案内

(4) 埼玉県保健医療部医療整備課から各市町村に案内。市町村が関係各所に案内。

2) 申込

開催案内に申し込みフォームのURL及びQRコードを記載。URLはクリックすると申し込みフォームに飛ぶようハイパーリンクをつけた。申し込みはGoogleフォームで作成した。

3) 内容

医ケア児が保育園に入園するケースが増えている。実践例を紹介してもらうため、以前埼玉県小児在宅医療支援研究会で講演していただいたいちご南保育園に依頼した。災害対策は避難所のイメージをつけてから医ケア児や重心児の避難について検討する事を目的として、HUG（避難所運営ゲーム）を実施した。ZOOMでも可能だが参加者同士が対面で話をしたり名刺交換するためにも集合研修として企画した。小児リハプログラムは実技講習のニーズが

高い。しかしコロナ禍であり接触は感染のリスクを高める。そこで実技動画を講師だけで録画し、講義動画の内容補足とした。実技動画は正面と側面を録画し、1つの画面で2方向からみる事が出来るような編集を行った。

4) 講義編集

講師が ZOOM で録画したものをビデオエディターで編集した。講師から PowerPoint に音声を入れた動画が届いた場合は HD Video Converter Factory で MP4 ファイルに変換した。

5) 受講者への連絡方法

G メールは 500 人まで一斉メールが可能であるため、埼玉県小児在宅医療支援研究会の g メールにサブアドレスを作成した。講義配信前に事務連絡をし、メールアドレスの間違いないかどうか、URL がついたメールを受け取ることができるかどうかを確認した（1 通目に 2 通目で URL を添付する事、受信できない場合は連絡することを記載）。メールが届かない場合は申し込みフォームに記載された職場へ連絡し、メールアドレスの変更を依頼した。職場の記載がなく連絡がつかない方が 2 名はメーリングリストから削除した。携帯キャリアは文字数の関係なのか、エラーで戻ってくるときもあった。

6) ZOOM ミーティングへの参加練習

小児リハビリプログラムに参加する方で ZOOM ミーティングの練習希望者にむけて 3 日間、日中と夜間（11 時～18 時、21 時～0 時）に ZOOM ミーティングを開催し、第 42 回埼玉県小児在宅医療支援研究会の特別公演「循環管理の考え方—それはちっとも難しくない—」をループ再生した。この間に入退室方法、チャット入力、名前変更、手をあげるなどを練習した。

7) 視聴後アンケート

2020 年度に撮影した動画は最後の PowerPoint に視聴後アンケート用の QR コードもついている。すべてを削除し新しいアンケートの QR コードを追加するのは大変なので、前年度のアンケートはエクセル形式で保存した後、記入内容はすべて削除して同じ QR コードを使用した。共有フォルダ内の講義資料にはハイパーリンクした URL と QR コードをはりつけた。講師から送られてきた講義資料が PDF の場合、ハイパーリンクの URL を埋め込むには有料の Pro 版「作成と編集」機能が必要である。

3. 講習会の実際

1) 講義配信

(1) 配信方法

Google ドライブに共有フォルダを作成。フォルダの URL をメールに添付した。これにより携帯のメールアドレスでも講義資料を受け取ることができるようになった。講義資料には「転載禁止」の文字を付けたうえでダウンロード及び印刷を可としたが、動画はダウンロードできない設定にした。会場に参加するための移動時間や講習会に参加するための拘束時間がなく、資料を見ながら繰り返し受講できる方法はとても好評であった。職場で視聴したという

意見もきかれた。

(2) 配信スケジュール

11月上旬から週に3～4講義ずつメールでURLをお知らせした。

動画配信期間は1か月半前後とし、共有停止すると共に視聴後アンケートの受付も中止した。

配信終了1週間前の通知をすると視聴後アンケートの記載がふえたので、駆け込みで視聴する方が多いと思われる。年末に配信終了を予定したものに関して、正月休み中の視聴希望があった。週末や長期休み前に視聴を促すメールをすると良いのかもしれない。



【18 講義の中から興味ある講義を視聴する】

2) 集合研修

12月4日に埼玉医科大学総合医療センター管理棟カンファレンス室にて「医ケア児(重心児)の災害対策を考える」を開催した。事前アンケートでは参加希望者が定員の2倍を超えていたため、人数調整の協力依頼を行った。実際の参加募集では定員割れがあったため、追加募集をおこなった。会場参加者は16名、ZOOMウェビナー視聴者は29名であった。会場参加にあたっては感染対策に配慮し、事前の体温・体調チェック表記載と提出、個人で手指消毒薬持参、マスク着用、休み時間ごとの換気を徹底した。会場には各所に手指消毒剤と拭き取りの除菌ペーパーを設置し、いつでも誰でも使うことができるよう配慮した。災害対策の事を知ってもらう事と在宅支援者との顔合わせを目的に、当日運営補助は小児科病棟師長、患者支援室の看護師、新生児科病棟看護師(在宅支援)、在宅診療所の看護師に依頼した。また、HUGは各グループにカード読み上げ者が必要である。そこでHUGの経験がある防災士や災害支援ナースに依頼した。防災士は自家発電機も含め様々な情報を持っている為、名刺交換する事で今後の相談先となった。グループワークをすることで顔の見える関係ができ、

「ここにこういう人がいるよ」「ここに相談したらいいよ」とアドバイスをしあえる関係づくりになった。HUGの運営補助をしていただいた方々からも「各地でHUGを開催しているが要支援者の事はよくわからなかった、勉強になった」という感想をいただいた。災害支援の関係者に医ケア児の事を知っていただく良い機会にもなった。

(1) 内容1：HUGについて

HUGは避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、静岡県が開発した図上訓練である。次々に避難してくる人や物資や支援（カードに記載）を避難所のどこに配置するかという事を短時間で考えることで、具体的で実践的な避難所運営を疑似体験できる。これをもとに①医ケア児や要支援者は一時避難所を利用できるか。②何を準備すれば利用しやすくなるか、などを考えた。講師はHUGの開発者であり「HUGのわ」の運営者である倉野康彦氏に依頼した。ゲームに必要なカードは初回ということもあり、「HUGのわ」から無料でお借りした。A4用紙などの印刷は倉野氏からの指示に従い事務局で印刷し、体育館の見取り図など大型（A1サイズ）の印刷物はエム・ビー・エス株式会社が当日会場に設置した「かくだい君」で印刷した。実際の避難所運営は自治会が行うことになるが、要支援者や医療者に必要な配慮がわからない。医ケア児（重心児）の支援者が避難所にかけて運営側に回ることで、要支援者の避難所利用に役立つことが実感できた。



【HUGカード】

「右町の炊出さん家族が来た。3人家族。父24歳、母23歳、男児4歳。自宅全壊。車で来た。テント持参、ウサギを連れてきた」避難所内のどこの場所に案内するか。

(2) 内容2：非難所における情報伝達方法～掲示物の作成と活用～について

混乱する被災現場では、情報共有及び伝達が要になる。エム・ビー・エス株式会社の岡田英孝氏は拡大印刷機を持参して、被災地で誰もが見やすくわかりやすい掲示物を作成している。HUGで掲示物を使って情報伝達を行った参加者は岡田氏の講義で、自分たちの掲示の仕方を振り返った。①誰の為（被災者、家族、職員、ボランティアなど）の掲示物か考えて作成する②動線を考え混乱なく（密になることなく）動くことができるよう掲示する③似た内容の掲示物は色を統一する④掲示物には日付と時間を書く⑤動かすことができるように作成する、などを学ぶ事ができた。

(3) 内容3：災害看護の活動から要支援者の災害対策を考える

講師は災害支援ナースであり、埼玉県看護協会の災害看護対策委員である光の家療育センターの山口陽介氏に依頼した。山口氏からは災害対策基本法の改定について、被災地支援の経験などをお話ししていただいた。そして、被災したら起こりうるリスクを想像し、それを

一つ一つ改善していくことについて学んだ。「毎日コツコツ想像を繰り返して、災害に想定外を作らない防災を作っていきましょう！」というメッセージが印象深かった。

(4) 内容4：グループワーク「各事業所で行っている災害対策の共有と検討」

HUGは多職種でグループを作成したが、ここではなるべく同じ事業や職種でまとまるようにグループを作成した。それぞれのグループで電源確保と安否確認について話し合い発表した。他事業所の取り組みを参考にして事業所に持ち帰り、災害対策を検討するきっかけとなった。

(資料Ⅱ-6 医ケア児(重心児)の災害対策を考える～参加者内訳と会場の写真)

3) ZOOM

1月30日に小児リハビリプログラムをZOOMミーティングで開催した。参加希望者は32名であったが参加登録者は23名であった。

(1) 第1部 動画のポイントと視聴後アンケートに記載された質問への回答

紙面上で回答するよりも、詳細な資料を準備してしっかり回答しようという事で企画した。しかし、4講師にそれぞれ1問ずつしか質問がなかった。そこで、時間を短縮して開催するとともに、当日の質問も受け付けた。講師と直接会話するほうが有意義な質疑応答となった。講義動画は実技があってイメージつきやすかったとの声が多かった。2方向撮影を1画面で見ることが出来たため、実技実施者の身体の動きかたや支え方がよく分かったのだと思われる。リハ講師に編集技術があった事が幸いした。

(2) 第2部

リハに関する困り事として、重心児の姿勢や摂食に関する事が多い。また、一人の子どもに関わるリハビリセラピストは①リハビリのために通所している施設、②訪問リハ、③保育園や通所事業所に訪問支援事業として回診に来るリハビリセラピストなどがおり、アドバイスが違うという困り事も聞かれた。そこで困りごとをグループで共有してお互いアドバイスしたり、リハビリセラピストに直接聞く時間を設けた。しかし参加者は6名と少なかった。テーマが漠然としていたのかもしれない。グループはリハビリセラピストのみとそれ以外の職種に分けた。リハビリセラピストの困り事は専門的であり、他の職種とは全く違っていた。今後もグループワークをするときにはリハとそれ以外の職種は分けたほうが参加者の満足度が上がると思われる。

(資料Ⅱ-7 小児リハビリプログラム 参加者内訳とグループワークの「困り事」内容)



【リハビリプログラム第2部 講師陣】
グループワーク内容発表中

4) 視聴後アンケート

参加申し込みは218名、視聴後アンケートは平均30名前後であった。「NPO法人mamacareの取り組みと支援者へのお願い」は91名が回答したが、これは最初に配信した講義であり、動画が視聴できるかどうか、視聴後アンケートが回答できるかどうかを試す目的もあったため必ず視聴するよう促した。視聴後アンケートに回答がなかった申込者には再度案内をした。3回ほど案内をして91名であり、申込者の焼く40%程度である。職種別にみると18講義すべてにおいて看護師の回答が多いが、これは母数が多いからだと考えられる。

資料Ⅱ-8 視聴後アンケートの集計

4. 課題

1) リハビリセラピストと介護職の参加人数が少ない

今年度は各市町村から関係各所に案内が届いた。それにより放課後デイや児童発達支援事業所等の通所施設と相談支援事業所からの参加が増えた。しかしリハビリセラピストや介護職の参加は少なかった。「医ケア児のことを勉強する機会がない」という話は聞くが、開催しても参加は少ない。ニーズに合っていないのか、周知できていないのか。検討が必要である。

2) 視聴後アンケートの回答数が少ない。

WEB講義では参加の有無が把握できず、視聴後アンケートの記入だけに頼っている状況である。視聴後アンケートの記入数をどのように伸ばせばよいか、検討が必要である。

5. 次回のWEB開催にあたって

1) 申込フォーム記入にあたっての注意事項を記入する

(1) メールアドレスの重複がある。同じ名前の方が申し込んでいる場合と事業所のアドレスで別人が申し込んでいる場合があるので、講義を配信する前に必ず確認が必要である。

(2) 1つの申し込みフォームに複数人の名前が書いてある。スプレッドシートでは気づかない為、グーグルフォームの回答を必ず確認する必要がある。

(3) 申込フォームに記載しているメールアドレスが間違っている場合は職場に連絡するが、「なし」と書かれた方に連絡がつかなかった。

上記(1)～(3)より、今後は申し込むフォームは1名ずつ記載する注意書きをすること、電話番号の記載枠を作る。

2) 視聴終了がわかるようにする

1週間ごとに配信しているが、「どの講義を視聴したのかわからなくなる」という意見があった。また、同名で複数回視聴後アンケートを記載し、質問や感想が同じ方がいる。送信日が同じであれば送信確認メールが来なかったため再度試したと想定されるが、送信日が違うことのほうが多い。これは再視聴後、前回視聴後アンケートを記載したかどうかわからなくなっていると思われる。そこで視聴日及び視聴後アンケート送信有無を書き込むことができる一覧表を配布する(もしくは作成するようお知らせする)

3) 視聴後アンケートの記入数増加を目指す

- (1) ライブ配信の WEB 研修であれば視聴直後にアンケートフォームに飛ぶ。録画を視聴してもそれが可能なかどうかを検討する
- (2) 視聴後アンケート記入者のみ講義資料のダウンロードを可能にする
- (3) 視聴後アンケート記入者には、視聴修了証を出す（一覧表ではなく講義毎になる

資料Ⅱ-1 2021 年度医療的ケア児（重心児）の支援者向け講習会 お知らせ

資料Ⅱ-2 2021 年度医療的ケア児（重心児）の支援者向け講習会 受講方法

資料Ⅱ-3 申込者内訳

資料Ⅱ-4 医ケア児（重心児）の災害対策を考える 募集案内

資料Ⅱ-5 小児リハビリプログラムのご案内

資料Ⅱ-6 医ケア児（重心児）の災害対策を考える～参加者内訳と会場の写真

資料Ⅱ-7 小児リハビリプログラム 参加者内訳とグループワークの「困り事」内容

資料Ⅱ-8 視聴後アンケートの集計：アンケート回答者内訳及び感想

2021年度 医療的ケア児（重心児）支援者向け講習会 お知らせ

今年度も支援者向け講習会を開催いたします。基本的には昨年度の講義を視聴していただきますが、講習会の目的の1つでもある「顔の見える関係づくり」の為、グループワークを企画しています。昨年度に参加した方も申し込み可能です。是非多くの方の参加をお待ちしております。

対象

埼玉県で医療的ケア児（重心児）を支援している看護職・リハビリ職・介護職（相談支援専門員含む）・保育職（児童発達支援員含む）など

内容

別紙プログラム参照

参加費
無料

方法

内容によって3パターンあり

1. オンライン講義：好きな講義動画を視聴（11月中旬～1月中旬）
2. 集合研修：災害対策をテーマにしたグループワーク（12月）
（ZOOMになる可能性あり。スマホ以外のデバイスが望ましい）
3. 小児リハプログラム：リハビリ講義に関する質疑及びグループワーク（1月）（ZOOMミーティングにて。スマホ以外のデバイスが望ましい）

定員

1. 講義 定員なし
2. 集合研修 30名（看護10名、リハ10名、介護・保育10名程度）
3. 小児リハプログラム 100名

申込

上記1～3の申し込みはすべて右記のQRコード
もしくは下記及びホームページのURL

<https://forms.gle/t7CHUVm5LM3Ur3zN6>

締め切り：11月7日（日）16時



【注意点】

- ① 埼玉県の事業で行っているため、視聴者数等を県に報告しなければなりません。視聴者の実数は視聴後アンケートからしか把握できませんので、**必ず視聴後アンケートを御記入ください。**
- ② 動画の録画・スクリーンショット保存及び講義資料の転載は固く禁じます。
- ③ スマホで視聴される方は講義の文字が小さくて見えにくい場合があります。
- ④ 音声ボリュームはお使いのデバイスで調整してください。
聞き取りにくい場合はイヤホンを使うと改善することがあります。
- ⑤ 医療用語の解説はいたしません。一時停止や巻き戻しをしながら解読して下さい。
ご質問は視聴後アンケートにお書き下さい。

講習会担当

埼玉医科大学総合医療センター 小児診療看護師 小泉恵子

問い合わせ先：pedzaitaku+2021@gmail.com

- 22 - 049-228-3550（小児科医局事務室）

2021年度 医療的ケア児（重心児）の在宅支援者向け講習会 プログラム（予定）

1. 視聴（1講義30分～60分）

11月中旬から順次クラウドに挙げていく。好きな時間に分割しながら視聴可能。
内容は昨年度の講習会と同じ。

テーマ	講師
【内容修正】小児在宅医療の現状	埼玉医科大学総合医療センター小児科教授 森脇浩一
身体障害者手帳と小慢受給者証	埼玉医科大学総合医療センター小児科医師 奈倉道明
けいれん時の対応	埼玉医科大学総合医療センター小児科医師 奈倉道明
重症心身障害児・者について	医療法人財団はるたか会あおぞら診療所ほっこり仙台 院長 田中総一郎
経管栄養の基礎知識	北九州市立総合療育センター西部分所所長 奈須康子
摂食・嚥下のケア	埼玉福祉保育医療専門学校言語聴覚士科学科長 言語聴覚士 室田由美子
胃瘻について	埼玉医科大学総合医療センター小児外科医師 小高明雄
【内容修正】気管切開について	埼玉医科大学総合医療センター耳鼻科医師 二藤隆春
感染予防の基礎知識と个人防护具の着脱	埼玉医科大学総合医療センター小児診療看護師 小泉恵子
【新】クイズで学ぶ感染症予防	埼玉医科大学総合医療センター小児科医師 是松聖悟
プレイリーダーによる在宅療養の子どもへの遊び支援	NPO法人難病の子ども支援全国ネットワーク理事 荻須洋子
医療型障害児入所施設での日常生活援助と工夫	埼玉医大福祉会カルガモの家 保育士 梅津江美
NPO法人mamacareの活動と支援者へのお願い	NPO法人mamacare代表 藤川友子
【新】小児リハビリプログラム (運動発達・姿勢とポジショニング・補装具と日常生活用具・OTの取り組み・実技動画)	埼玉医科大学総合医療センター理学療法士 守岡義紀 医療財団法人はるたか会理学療法士 長島史明 埼玉医大福祉会カルガモの家 理学療法士 菅沼雄一 東大宮訪問看護ステーション作業療法士 星野暢
【新】医ケア児受け入れ保育園の取り組み	埼玉県内保育園の一施設

2. 集合研修（予定）＊ZOOMに変更する可能性あり

内容：HUG（避難所運営ゲーム）・各事業所で行っている災害対策の共有と検討など

日時：12月4日（土）9：00～17：00

場所：埼玉医科大学総合医療センター

定員：30名（ワクチン2回接種済み）、定員オーバーの場合は参加職種を調整する

方法：講義・グループワーク

＊全員に向けて11月7日以降に申込案内を連絡する

3. ZOOMミーティング（当日参加）

内容：小児リハビリプログラムの解説及び質疑応答（参加前に動画視聴が必要）

グループワーク「連携について（仮）」

日時：1月30日（日）9：00～17：30

方法：講義・グループワーク

＊全員に向けて11月7日以降に申込案内を連絡する

2021年度 医療的ケア児（重心児）の支援者向け講習会 受講方法

1. 動画視聴

- 1) 視聴方法：動画（共有）フォルダを開き、フォルダ内にある動画を好きな時間に視聴。
- 2) 講義資料：資料（共有）フォルダを開く。ダウンロードや印刷は自由。（無断の転載や配布は厳禁）
- 3) 視聴後アンケート：動画の最後に QR コード。講義資料の最後に QR コードと URL。
携帯で視聴する方は①共有フォルダから該当の講義資料をあける②講義資料最後のページにある URL をクリックするとアンケートフォームに飛ぶ。（印刷できるなら講義資料最後にある QR コードが使える）
- 4) 動画配信の予定日：フォルダに入れたらメールでお知らせする。**視聴期限：動画配信から1か月程度**

配信 予定日	テーマ	分	講師*埼玉医科大学総合医療センターは「総合医療セ」と表記
11.9	NPO 法人 mamacare の活動と支援者へのお願い	4 5	NPO 法人 mamacare 代表 藤川友子
11.15	小児在宅医療の現状	3 5	総合医療セ小児科教授 森脇浩一
	重症心身障碍児・者について	4 0	医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所ほっこり仙台 院長 田中総一郎
	身体障害者手帳・療育手帳と小児慢性特定疾病	3 5	総合医療セ小児科医師 奈倉道明
11.22	感染予防の基礎知識と個人防護具の着脱	5 0	総合医療セ小児診療看護師 小泉恵子
	クイズで学ぶ感染症予防	4 0	総合医療セ小児科医師 是松聖悟
	けいれん時の対応	7 0	総合医療セ小児科医師 奈倉道明
11.29	プレイリーダーによる在宅療養の子どもへの遊び支援	4 0	NPO 法人難病の子ども支援全国ネット ワーク理事 荻須洋子
	医療型障害児入所施設での日常生活援助と工夫	3 0	埼玉医大福祉会カルガモの家 保育士 梅津江美
12.6	経管栄養の基礎知識	5 0	北九州市立総合療育センター西部分所 所長 奈須康子
	摂食・嚥下のケア	4 5	埼玉福祉保育医療専門学校 言語聴覚士科学科長 言語聴覚士 室田由美子
	胃瘻について	3 0	総合医療セ小児外科医師 小高明雄
12.10	小児リハビリプログラム（講義+実技動画）	3 8	1. 総合医療セ PT 守岡義紀
	1. 運動発達 2. 姿勢とポジショニング	2 2	2. 医療財団法人はるたか会 PT 長島史明
	3. 補装具と日常生活用具	4 4	3. カルガモの家 PT 菅沼雄一
	4. 遊びと発達・家族の支援	4 0	4. 東大宮訪問看護 OT 星野暢
12.27	医ケア児受け入れ保育園の取り組み	4 2	いちご南保育園 園長及び看護師
2.1	気管切開について	4 5	総合医療セ耳鼻科医師 二藤隆春

2. 集合研修：医ケア児（重心児）の災害対策を考える

日時：2021年12月4日（土） 場所：埼玉医科大学総合医療センター

プログラム及び申し込みは別紙参照

3. WEB ライブ：小児リハビリプログラム

日時：2022年1月30日（日） 方法：ZOOM ミーティング

内容：「1. 動画視聴」の小児リハビリプログラムの視聴後アンケートに記載された質問に回答。

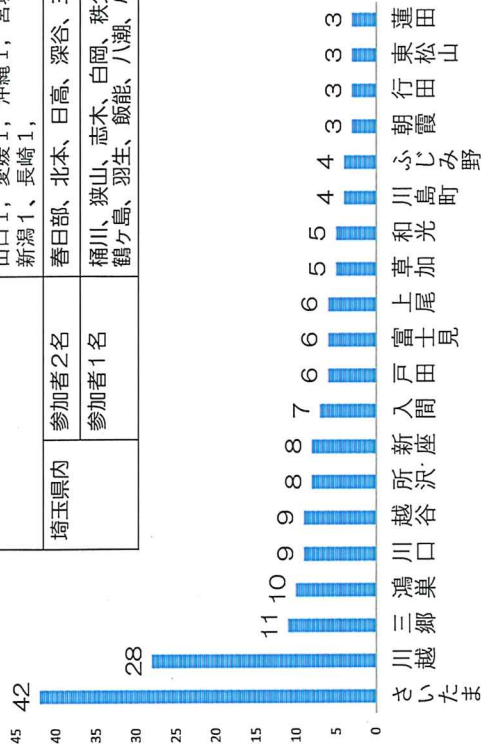
実技動画のポイント解説。グループワーク「連携（仮）」

申し込みなどは後日連絡

講習会担当：小泉恵子 連絡先：pedzaitaku+2021@gmail.com

参加者所在地 (埼玉県200名・他県18名)

他県18名	千葉5, 東京4, 広島2, 鹿児島1, 山口1, 愛媛1, 沖縄1, 宮城1, 新潟1, 長崎1,
埼玉県内	春日部、北本、日高、深谷、三芳 桶川、狭山、志木、白岡、秩父、 鶴ヶ島、羽生、飯能、八潮、小川町



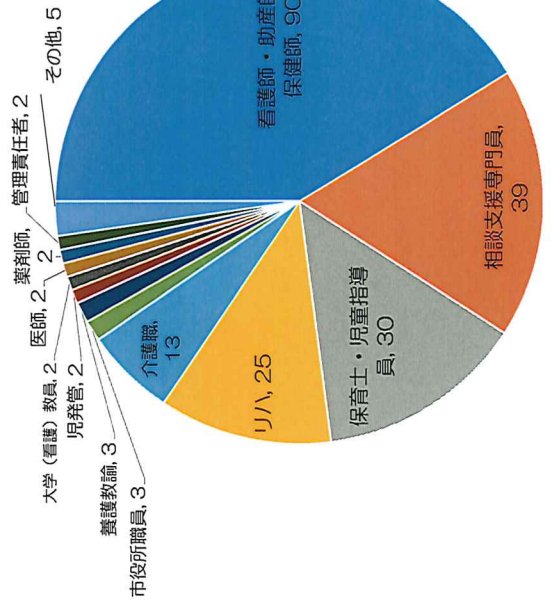
1

2021年度 医療的児（重心児）の支援者向け講習会

申し込み者内訳

総数218名

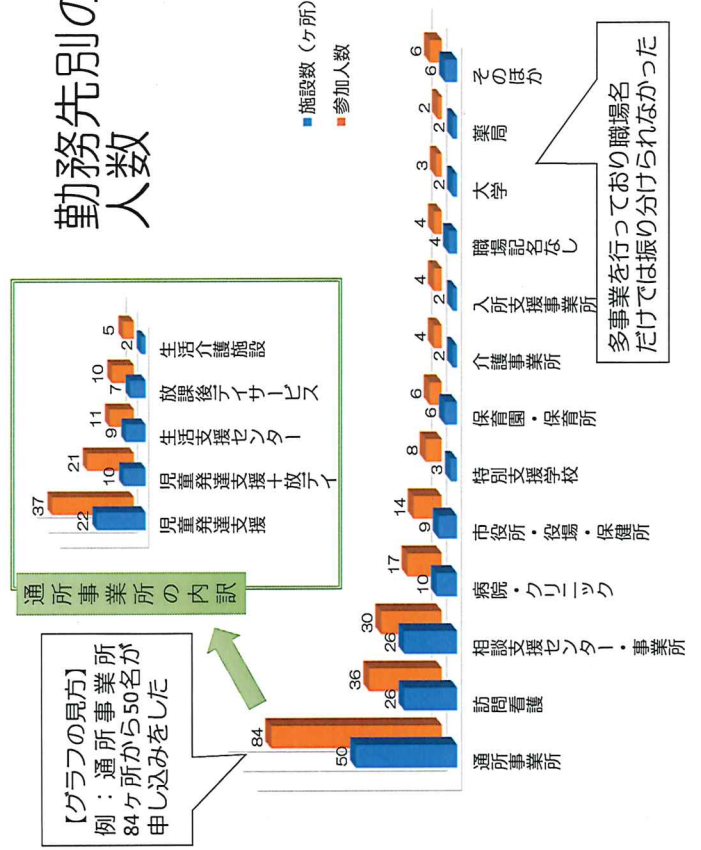
職種別の人数



＜その他＞
学校教員
支援員
事業所運営サポート
社会福祉士
療育相談員

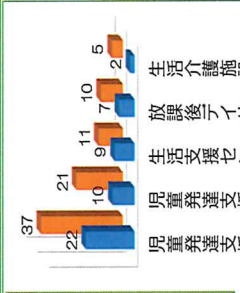
3

勤務先別の人数



【グラフの見方】
例：通所事業所が84ヶ所から50名が申し込みをした

通所事業所の内訳



多事業を行っているおのり職場名だけでは振り分けられなかった

医ケア児（重心児）の災害対策を考える 募集案内

1. 日時：12月4日（土） 9：20～17：00 開場：9：00（9：00前は準備中で対応不可）
2. 場所：埼玉医科大学総合医療センター 管理棟2階カンファレンス室1～2
3. 参加対象者：埼玉県内勤務の方、新型コロナワクチン2回接種済みの方 **30名**

会場をビデオカメラで撮影し配信します

4. プログラム

時間	分	テーマ	講師
9：20～9：45	25分	事務連絡 研究会代表挨拶	小泉恵子 森脇浩一
9：45～11：30 グループワーク	105分	HUG（避難所運営）を経験しよう！	「HUGのわ」 倉野康彦
11：30～11：45	15分	休憩・片付け	
11：45～12：30 講義	45分	避難所における情報伝達方法 ～掲示物の作成と活用～	エム・ビー・エス 企画管理本部長 岡田 英孝
12：30～13：20	50分	昼	
13：20～14：50 講義	90分	災害看護の活動から要支援者の 災害対策を考える	光の家療育センター・ 埼玉県看護協会災害看護 対策委員 山口陽介
14：50～15：00	10分	休憩	
15：00～16：15 グループワーク	75分	各事業所で行っている災害対策の 共有と検討①電源確保②安否確認	小泉恵子
16：15～16：30	15分	災害対策まとめ	会場にいる講師など
16：30～16：40	10分	事務局からの連絡	小泉恵子

すでに60名の希望者がいます。会場参加は同じ職場からお一人でお願いします。
人数調整後、参加の可否は11月18日（木）頃メールにてご連絡いたします。

動画配信は会場全体をビデオカメラで撮影したものになります。グループワークの雰囲気
及び講義のスクリーンを映します。立派な配信ではないことをご了承ください。

会場参加及び配信希望
申し込みフォーム



QRコードが読み取れない方は以下のURL
をクリック

<https://forms.gle/WeC9MYoBgkGX3efAA>

申し込み締め切り
11月16日（火）23時

小児リハプログラムのご案内

1. 日時：2022年1月30日（日）9：30 入室開始
2. 方法：ZOOM ミーティング **当日ライブ配信のみ**
 第1部：マイク OFF ビデオ ON（育児中には OFF でも構わない）
 第2部：マイク、ビデオ共に ON
3. 参加対象者：支援者向け講習会の申込者
4. **参加にあたって**
 ：事前に小児リハの講義および実技動画を視聴（講義資料が手元にあるとわかりやすい）
 ：講義を視聴するというよりは積極的に参加する

第一部のプログラム：動画のポイント説明、質問への回答

予定時間	分	テーマ	講師
9：45～10：00		事務連絡	
10：00～10：15	15分	運動発達	埼玉医科大学総合医療センター理学療法士 守岡義紀
10：15～10：30	15分	姿勢とポジショニング	医療法人はるたか会理学療法士 長島史明
10：30～10：45	15分	補装具と日常生活用具	埼玉医大福祉会理学療法士 菅沼雄一
10：45～11：00	15分	OT の取り組み	東大宮訪問看護ステーション作業療法士 星野暢

終了後第1部のみ参加する方は退室、第2部参加者は11：15から開始

7. 第2部のプログラム：グループワーク テーマ「リハに関する困りごと」

予定時間	分	内容	方法
11：00～11：15	15分	設定変更	
11：15～12：15	60分	方法説明 グループワーク 発表	ZOOM 上で運営事務がグループに振り分ける グループ内でリハに関する困りごとを共有し発表 ファシリテータは回答者ではないので注意
12：15～12：30	15分	まとめ	多かった困りごとについてファシリテータが相談 したうえで改善策を提案

- *時間は当日の状況によって前後することがあります。
- *飲食及び第1部の休憩は自由にとってかまいません。
- *グループワークは携帯電話でも参加できますが、画面が小さすぎて見えにくいようです。
- *第2部に申し込みは締め切りましたが、希望があれば当日でも参加可能です。登録フォームの「運営事務局への質問」のところに記載してください。

会場参加者 16名 (申し込み20名・欠席4名)

職種	職場	職場所在地
看護師・保健師 (6名)	川越市立大東保育園	川越市
	児童発達支援・放課後等デイ あいらんどふじみ野	ふじみ野市
	さいたま市総合療育センターひまわり学園	さいたま市
	みつばすみれ学園	志木市
	吹上訪問看護ステーション	鴻巣市
	入間市役所障害者支援課	入間市
相談支援専門員 (5名)	川越市障害者総合相談支援センター	川越市
	埼玉北基幹相談支援センタートロンコ	白岡市
	さいたま市北区障害者生活支援センターみぬま	さいたま市
	障害者相談・地域支援センターけやき	川越市
	特定非営利活動法人 結 相談支援事業所 えび	越谷市
保育士・児童指導員・児発管 (2名)	川越児童発達支援センター	川越市
	放課後等デイサービスあさひ丸リズム	さいたま市
療育相談員 医療コーディネーター	療育センターひまわり学園	さいたま市
	訪問看護ステーション シャローム	東松山
リハビリセラピスト	訪問看護ステーション シャローム	東松山
介護職員	訪問介護 桃花ヘルプサービス	川越市

2021年度 医療的ケア児(重心思)の支援者向け講習会 ～ 医的ケア児(重心思)の災害対策を伝える～

参加者内訳と会場の写真

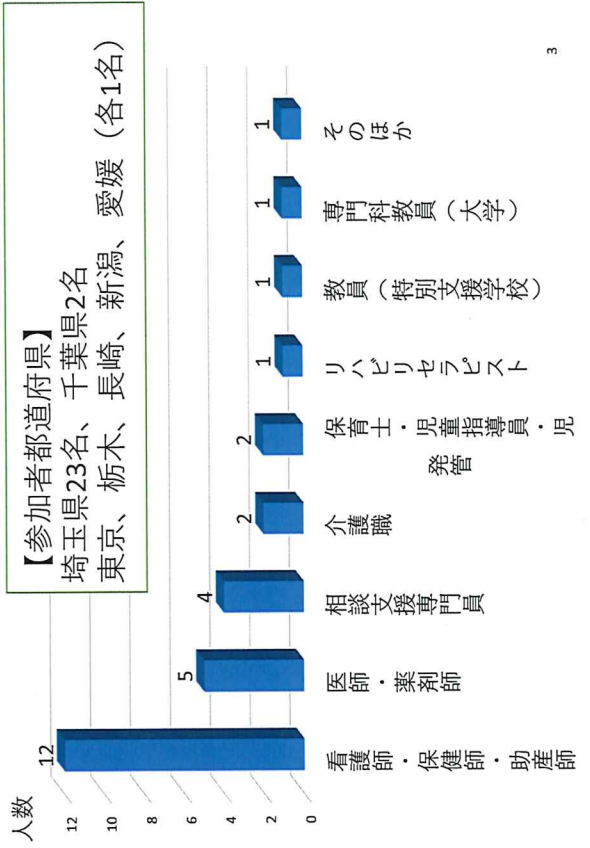
2021.12.4、埼玉医科大学総合医療センター

岡田講師作成の横断幕 (かくだい君で印刷)

2021年12月4日 (土) 9:20～16:40
埼玉医科大学総合医療センター 管理棟カンファレンス室

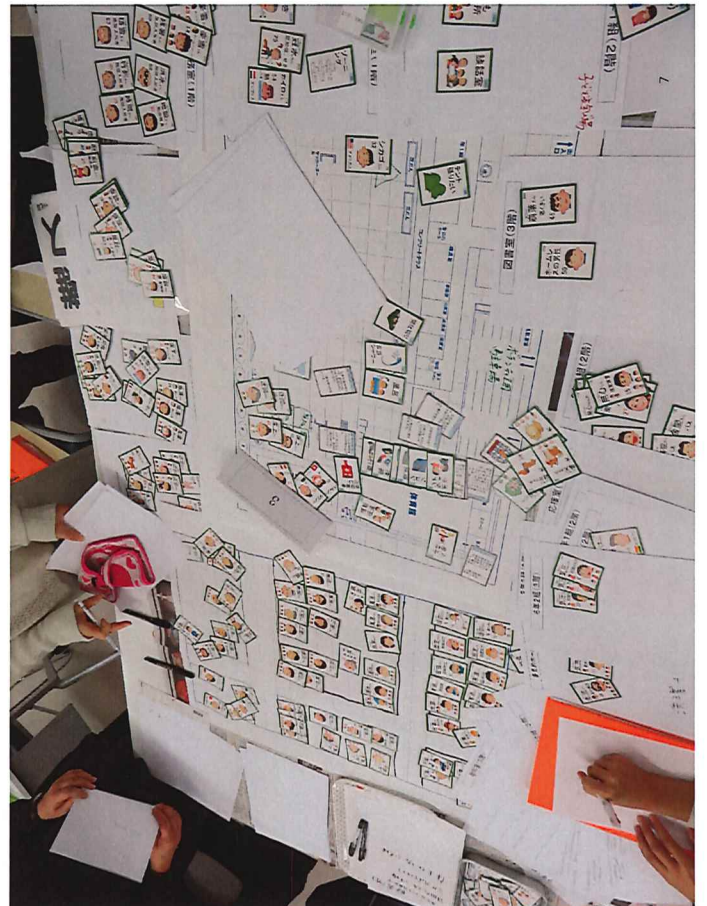
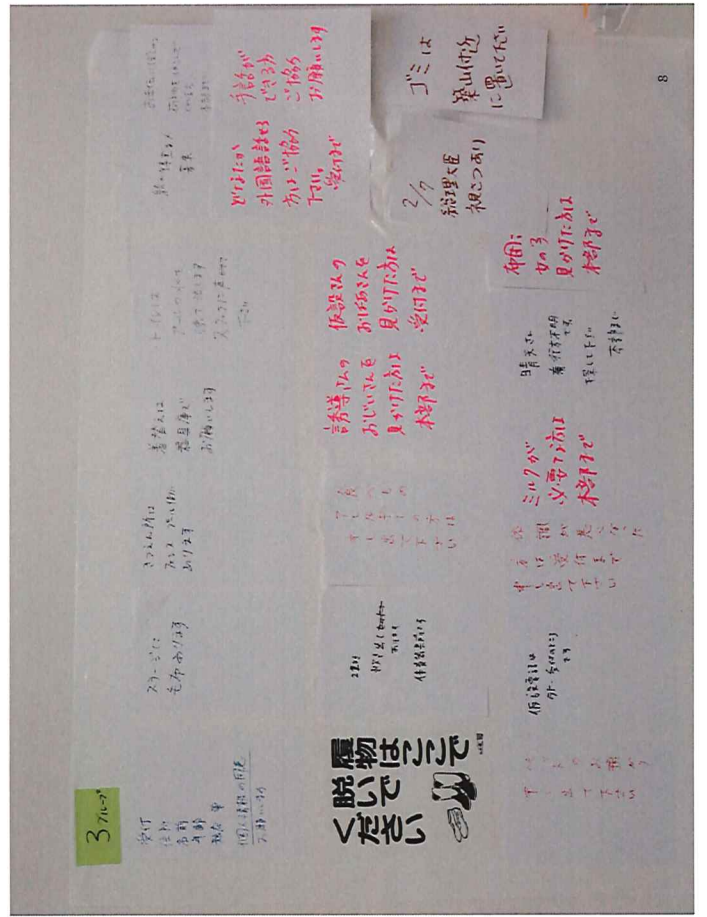
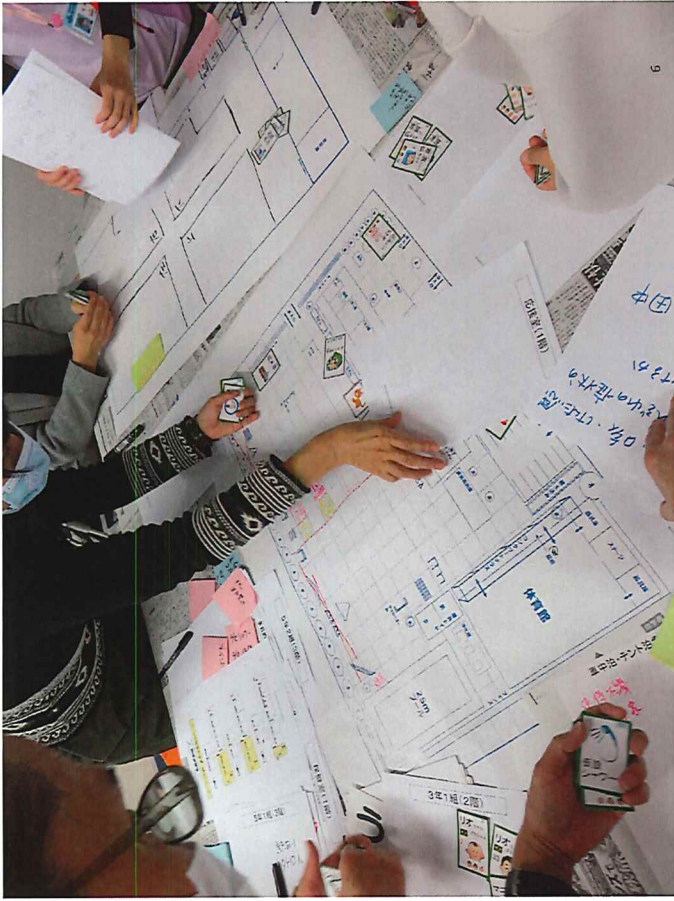
1

WEB参加者29名 (申し込み47名 不参加者8名)



講師・スタッフなど (敬称略)

当日の動き	氏名	所属・肩書
講師 (HUG)	倉野 康彦	「HUGのわ」運営
倉野様補助	中村 利孝	NPO法人首都圏防災士連絡会 事務局/日本防災士会本部 全国講師
講師 (情報伝達)	岡田 英孝	エム・ピー・エス株式会社 執行役員 企画管理本部長
かくだい君 設置・操作	畠合 敏永	エム・ピー・エス株式会社
かくだい君 設置・操作	本間	エム・ピー・エス株式会社
講師 (災害看護)	山口 陽介	光の家療育センター 主任看護師/埼玉県看護協会災害支援ナース
カード読みあげ	星野 幸恵	埼玉医大総合医療センター 看護師/埼玉県看護協会災害対策関連
	奥野 幸範	一般社団法人 危機管理推進協会
会場運営	岡崎 洋志	NPO法人日本防災士会 研修部長、全国講師/NPO法人埼玉県防災士会 理事・事務局長
	丸山 仁美	埼玉医大総合医療センター 小児科病棟副師長
	今井 ゆか	埼玉医大総合医療センター 新生児科入院調整看護師
	大竹 慎二	埼玉医大総合医療センター NICU/GUU看護師
	田村 佳子	かわごえファミリークリニック 看護師
ウェビナービデオ	菅原 未奈世	埼玉医大総合医療センター メディカルアシスタント
	小泉 恵子	埼玉医大総合医療センター 小児診療看護師



医 ケ ア 児 (重 心 児) の 災 害 対 策 を 考 え る 受 講 後 ア ン ケ ー ト 7 名

【全体の感想】

- ◎研修を開催していただきありがとうございました。職場で看護師は私一人なので、何が正解かわからず手探りで仕事をしています。今回の研修では、研修内容はとても勉強になりましたし、他事業所の運営を知ることができたり、他でも同じように仕事をしている仲間がいると感じることができたり大変励みになりました。また参加させていただきます。
- ◎このような研修が再会出来、とても嬉しいです。また、なかなか知り合えない方との交流が出きた事に感謝しております。1人職種のため、悩みは多いですが、横の繋がりをして、園児、家族が少しでも安心して安全に暮らしていけるよう、微力ながらも支える側の1人として、精進していきたいと思えます。
- ◎どの講演もグループワークもとても勉強になりました。想像をすることだけでも、パニックになる体験は、とても貴重でしたし、他の事業所の方や、違う職種のかたと話せたことは、今後の財産になると思います。この企画をしてくださってありがとうございました。
- ◎いつも、勉強になっています。ありがとうございました
- ◎災害対策というテーマに、公立園だし関係ないなと思っていました。参加にも消極的でした(←ごめんなさい)しかし、たくさんのお話やゲーム体験を通して、できることをすることの大切さや、今日知り合えた方に繋げていく(こういうひとがいるよ、ここに相談したら良いよ、みたいな情報提供など)ことができるんだな、と思いました。参加できて良かったです。他の事業所の方と、顔見知りになれて、良かったです。ありがとうございました。

【HUG (避難所運営)を経験しよう! (講師:倉野康彦)】

- ◎避難所運営のあり方について考えることができた。必要とされる支援やそれに対する対策を多職種で考える必要があると感じた。職場でもワークショップを提案してみようと思った。
- ◎HUGを初めて経験しましたが、正直とても楽しかったので、また行ってみたいです。また楽しいだけでなく避難所運営側の大変さも理解することが出来て、とても有意義な時間でした。
- ◎避難所運営ゲームはとても良い経験が出来た。実際の災害時は次々と問題が起きる、人も足りない、場所も限られている。ゲームでしたが、頭の中が混乱して、どうしよう、どうしよう、と慌てていました。ぜひ、職場内、法人内で実践したいので、提案したいと思います。もし、実現出来そうでしたら、是非!研修をお願いしたいです。
- ◎ゲームなのにとってもドキドキして、今家に帰って夕飯を食べた後も、あーすれば良かったかな、あれも必要かな、役割分担した方がよかったかななど、いろいろと浮かんできます。今後活かしていけるように、職場に持ち帰りたいと思います。リモートでもわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ◎最初は、避難所運営ってなに?私にはあまり関係ないかも…と思いました。が、ゲーム体験を通して、どんどん避難してくる人を割り振る、たくさん情報を整理する大変さを感じました。避難所運営に直接携わることはなくても、今回のゲームから学んだ視点でお手伝いできたら、と思いました。
- ◎初めて避難所の運営の立場になり、難しかったですが、とても楽しかったです。私達の班は自宅半壊の方、全壊のかたと非難された方のメンタルを重視した避難所になりました。トイレは難しい大問題だと知りました。もっといろいろな考えや他のチームの運営の仕方を見てみたいと思いました。

【避難所における情報伝達方法~掲示物の作成と活用~ (講師:岡田英孝)】

- ◎無意識にお世話になっている掲示物の重要性を知ることができた。掲示物でマンパワーを補ったり、人流もコントロールできると知り、見やすくわかりやすい掲示物という視点をいつも持ち続けたいと思った。
- ◎掲示物の位置づけがコロナによって、「人を集める」から「密を避ける」に変化したことを知れて良かったです。

- ◎混乱な中での確実な情報伝達手段の一つとしてください君は、驚きでした。災害時、命が守れたら、情報をとりたい！と思うだろうし、運営する側も情報を伝えたいけど、整理も出来ない、読みづらい、探しづらいなど課題もさらに出てしまう。また災害時だけでなく、通常の業務でも使用出来そうなので、是非、上司に交渉したいと思います。
- ◎企業の方がボランティアで、震災の現場に持って行ってくださっていたとは、全く知りませんでした。掲示板の貼り方で、わかりやすさが違うことなど、想像もしていませんでした。災害のほかでも、活かせるお話がたくさん聞くことができました。ありがとうございました。
- ◎掲示物の大切さを感じました。また、コロナ禍においては、掲示物が3密回避に役立つということに驚きました。
- ◎避難所の貼る伝言の日付けと時間の記載の大切さに驚きました

【災害看護の活動から要支援者の災害対策を考える（講師：山口陽介）】

- ◎看護師の役割は多岐にわたり、重要であると改めて感じた。日々の業務に追われて、自分ができることはなにかを見失いがちであったが、山口さんのパワーを感じ、自分もできることからやってみたいと思った。
- ◎日頃から災害対策を想像しておくことの重要性を理解することが出来ました。
- ◎毎月、避難訓練を園で行っていますが、想定が甘く、実際に起きてしまったら対応出来るのか？これで良いのか？と気付かされる研修でした。いつ起こるか分からないけど、うちは大丈夫だろうと、根拠の無い自信だったり、備蓄揃えたから大丈夫と置いていたところが、園内であったため、是非月曜から職場で投げかけて、少しずつ改善していきたいと思います。
- ◎とてもわかりやすいお話でした。自分に置き換えて想像しながら聞くことができました。そして今後も想像できるようになれたらなと思いました。職場に持って帰って、ボトルネックの確認ができたらいいなと思いました。
- ◎もしも…と、想像したことがありませんでした。また、医ケア児の受け入れしていたときも、なんとかなるだろうと、あまり深く災害について考えていませんでした。今日の講義を聞いて、もしも…と想像してみたいと思います。そして、自分にできることは何なのか、考えていきたいと思いました。
- ◎沢山の情報をありがとうございました

【各事業所で行っている災害対策の共有と検討】

- ◎災害対策はもちろん、いろいろな事業所の取り組みを知ることができ、大変参考になった。
- ◎他事業所の方と災害対策を共有することが出来てとても良かったです。今後の災害対策に活かしていきたいと思います。
- ◎さまざまな施設の状況や視点が聞けて、自分の園で何が出来るか、を知る事が出来ました。また、マニュアルや他県での動きなどを知る事が出来て良かったです。病院に避難すれば大丈夫！では無い！と言うのが一番の驚きでした。
- ◎他の事業所でやっている事を聞けて参考になりました。自分のところでもできそうなことがあったので、職場へ持って帰りたと思いました。
- ◎公立保育園なので、医ケア児の災害対策は個人的になると思います。災害が起きたらどんなことに困るのか、ご家族と一緒に考えて準備していきたいと思いました。
- ◎他がどんな対策を行っているのか知ることができました。これから私がやらなければいけない事ははっきりと見えて良かったです。

医ケア児（重心児）の災害対策を考える WEB 参加者アンケート（抜粋）

【質問】

- ◎山口さんに質問です。医ケア児の安否確認は誰が主体となって行い、どのように情報収集するのが良いとお考えですか？

【全体の感想】

- ◎実際に停電が起きたときの電源確保では呼吸器や加温器吸引器酸素など、必要な電気の使用量を非常用の発電機などで賄いつづけることは困難なことがわかった。加温器を使わない方法や他の工夫で1週間こらえる方法を各家庭でイメージし自助出来る様に準備する必要がある。
- ◎事前資料だけで無くワークショップ後の講師資料なども後からで良いので入手したいです！
- ◎発災時の過酷な状況を想像することは確かに大切ですが、それを踏まえてどのような準備をすべきが話し合うことがより大切だと思いました。そういう意味で、今回のプログラムの構成はとても良くできていたと思います。また、公助に頼る視点ではなく、共助として自分達ができることを中心に考える姿勢も良かったと思います。病院がいろいろ考えてあげることも必要ですが、地域の支援者が病院に期待することを出して整理してもらい、それに対して病院ができること、病院の限界についても我々が伝えていき、両者の相互協力できる災害対策プランを考えていけたら良いな—と思いました。どうもありがとうございました。
- ◎災害だけの講義がなかなかないので、今回参加できて良かったです。ありがとうございます。勤務の都合で途中参加になってしまったのが残念でした。医療的ケア児が在宅移行するにあたり、日頃から説明として病院としてどのような説明ができたらいいのか、他の病院施設の話もお伺いできる機会があったら聞いてみたいです。今回は貴重な講義をありがとうございました。
- ◎講義ありがとうございました。お疲れ様でした。先の災害時には重心の子達のうち動ける重心の子たちがかなり行き場をなくした話を、友人たちの実体験として何件か聞きましたが受け入れ側のお話は聞いたことがなかったので皆で色々考えていく様子を聞いてよかったです。
- ◎途中からしか受講できませんでしたがとてもわかりやすい内容で、そばで聞いていた中学生の娘も面白いと言っていました。停電に備えてる方もいれば、まったく備えがなくて台風19号の時にパニックの方もいました。この研修を参考にして備えを促していきたいと思いました。ありがとうございます！
- ◎講義を受けたり、グループワークで現状を認識で確認できたことで、次への準備になった。実際に小児の利用者さんに関わる方達との話し合いが有意義だった感じる。このような機会を定期的に持ってもらえると非常に良い。必要とかがえる
- ◎どの講義も興味深く拝見させていただきました。また講師の方々にとりましては、現在や今後必要となる内容を取り上げて頂きました。ありがとうございました。有意義な時間となりました。参加された関係機関の方たちの熱心な姿も見て感じ取る事ができました。

プログラム

【参加にあたって】

*事前に動画を視聴する *手元に講義資料を置くと良い

2021年度医療的ケア児 (重心児)の支援者向け講習会 ～小児リハビリプログラム～

2022年1月30日(日)

9:30~12:30

第1部 動画のポイント説明、質問への回答

第2部 グループワーク「リハに関する困り事」

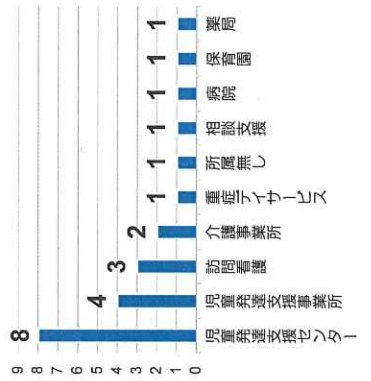
ZOOMミーティング

申込者・参加者

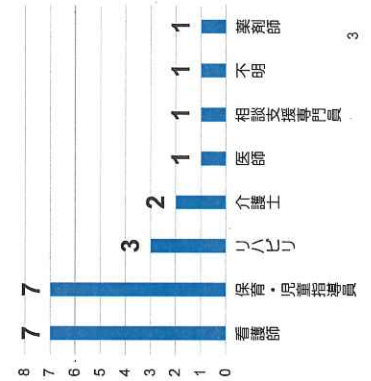
12月13日締め切りの時点 32名

ミーティング登録 23名

勤務先別



職種別



第一部のプログラム：動画のポイント説明、質問への回答

予定時間	分	テーマ	講師
9:45~10:00	15分	出席連絡	
10:00~10:15	15分	運動発達	埼玉医科大学総合医療センター理学療法士 守岡義紀
10:15~10:30	15分	姿勢とボジショニング	医療法人はるかか会理学療法士 長島史明
10:30~10:45	15分	補装具と日常生活用具	埼玉医大福祉社会学療法士 菅沼雄一
10:45~11:00	15分	OTの取り組み	東大前期看護学ステーション作業療法士 星野暢

終了後第一部のみ参加する方は退室、第二部参加者は11:15から開始

7. 第二部のプログラム：グループワーク テーマ「リハに関する困りごと」

予定時間	分	内容	方法
11:00~11:15	15分	設定変更	
11:15~12:15	60分	方法説明 グループワーク	ZOOM上で運営事務がグループに振り分ける グループ内でリハに関する困りごとを共有し発表 ファシリテータは回答者ではないので注意
12:15~12:30	15分	発表 まとめ	多かつた困りごとについてファシリテータが相談 したうえで改善策を提案

ミーティング登録者 内訳

全員 川越

勤務先	職種	人数	合計
児童発達支援センター	保育・児童指導員	6	8
	看護師	1	
	不明	1	
児童発達支援事業所	リハビリ	2	4
	保育・児童指導員	1	
	看護師	1	
訪問看護	看護師	2	3
	リハビリ	1	
介護事業所	介護士	2	2
	看護師	1	
重症サービス	看護師	1	1
	相談支援専門員	1	
病院	看護師	1	1
	看護師	1	
保育園	看護師	1	1
	薬剤師	1	
薬局	薬剤師	1	1
	医師	1	
所属無し	医師	1	1

登録者23名の内、第一部参加者22名 第二部参加者6名

グループワーク「リハに関する困り事」

1G (リハビリセラピスト)

- 複数のリハビリに通っている為、指導の一貫性やアプローチ方法、家族指導で親御さんを困らせる事態になっていないかと思う。
 - 個人情報・時間など課題。方向性の合わせ方など情報交換できたらよい。
 - 体位交換でのリスク管理が大変。寝たきりの方下肢の変形が強い。足が長くなってきていて支えも大変。
 - 体幹装具で悩んでいる。座った時の崩れ方が強くなってきて、いる気がする。サイズ的にはまかなえる。体重増えてくる頃に側弯強くなりそう。どうしたらよいか。
 - 県をまたいでおり担当のセラピストがいない児への支援。
 - 呼吸が大変な方は、変形が強い子が多い。車いすや自家用車などにどう乗せるか、何を伝えていったらよいか。
- ⇒MCSなど医療介護の連携ツールの活用。
- ⇒ライフサポートノートはなかなか続かないのが課題
- ⇒例えば体幹装具について伝える内容としては静的装具と動的装具がある事使う目的や使い方など。

5

2G (看護師・相談支援専門員・保育士)

- 感覚の過敏があって衣服を着られない方がいて、どうしたらよいか。
 - リハの時子どもがイヤイヤする姿をみて保護者が(子どもに)怒る
- ⇒感覚過敏な子への支援方法
- ⇒専門的な視点で母と話しクールダウンを目指す

最後のまとめ【課題】

1. 連携について
 - 1) 個人情報(壁、2)セラピスト同士の目標や手技の違い、擦り合わせの仕方
 - 3) 困りごとなどを連携できる方法
- あまり考え方が違くと人への不信感にも繋がってしまう。
2. 装具の目的や方針について
 - 1) 考え方 2) これからのリスクについて。関節変形が強い方の対応が大変。肺炎、骨折、などリスクの管理の仕方。

6

資料Ⅱ-8

視聴後アンケートの集計：アンケート回答者内訳及び感想

「mamacare の活動と支援者へのお願い」

「小児在宅医療の現状」

「重心児者」

「手帳」

「感染予防」

「クイズで学ぶ」

「けいれん時」

「遊び支援」

「日常生活援助と工夫」

「経管栄養の基礎知識」

「摂食嚥下のケア」

「胃ろうについて」

「気管切開について」

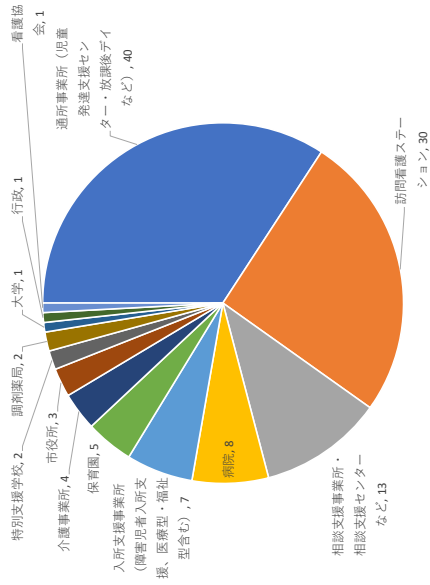
「保育園」

「運動発達」「姿勢」「補装具」「遊び」

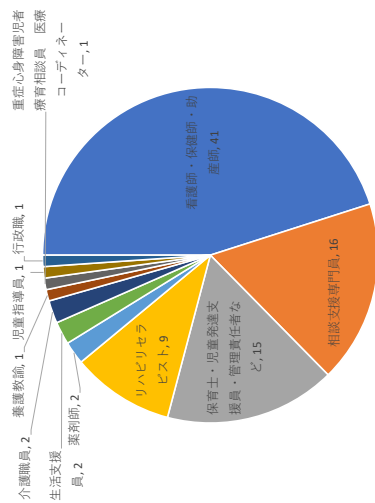
NPO法人mamacreの活動と支援者へ のお願い（アンケート記載者91人）

勤務先	職種	人数	合計人数
通所事業所（児童発達支援センター、放課後デイなど）	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	15	30
	看護師・保健師・助産師	9	
	リハビリセラピスト	3	
	相談支援専門員	2	
	児童指導員	1	
訪問看護ステーション	看護師・保健師・助産師	17	23
	リハビリセラピスト	5	
	相談支援専門員	1	
相談支援事業所、相談支援センターなど	重症心身障害児者療育相談員 医師コーディネーター	1	14
	相談支援専門員	13	
入所支援事業所（障害児者入所支援、医療型、医療型・福祉型含む）	看護師・保健師・助産師	3	5
	生活支援員	2	
病院	看護師・保健師・助産師	4	5
	リハビリセラピスト	1	
施設	看護師・保健師・助産師	3	3
	保健師・保健師・助産師	3	
保育園	看護師・保健師・助産師	2	2
	保育職員	2	
介護事業所	医師	2	2
	薬剤師	2	
特別支援学校	看護師・保健師・助産師	1	2
	養護教諭	1	
看護協会	看護師・保健師・助産師	1	1
	行政	1	

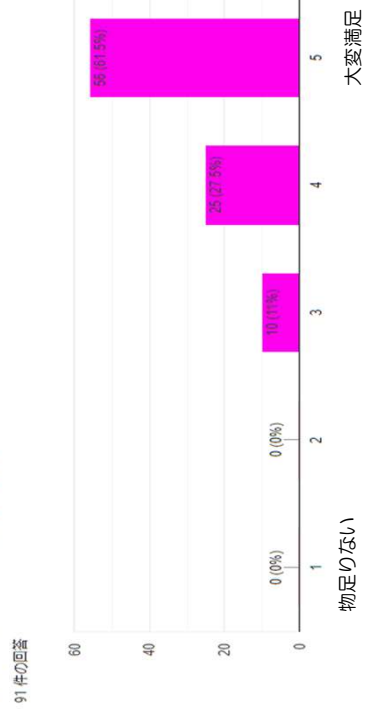
職場内訳（人数）



職種別（人数）



講義の内容について一番近い感想を教えてください。



「mamacareの活動と支援者へのお願い」視聴後の感想

当事者の母の話のを伺え大変勉強になりました。今までの自分の関わりを振り返り、改めてできる事を考える機会となりました。ありがとうございました。

本人家族の思いや現状を知ることができ、これから自分に出来ること、やるべきことは何かを考えていこうと思いました。ありがとうございました。

お母さんの気持ちを考えずかけていた言葉が、お母さんを傷つけていた事に気づきました。本当の意味で子供に寄り添えるよう頑張りたいです。

言葉選びの大切さを再確認しました。“頑張ろう”はがんばっている人たちに対して言うのはよくないとわかっていても、変わりの表現方法がわかりませんでした。“一緒に”や何か一つでも具体的に伝えられるようになりたいと思います。医ケア児のご家族だけでなく、保育園児のご家族とお話する際にも共通する点があると感じました。貴重なお話をもう一度聞くことができ良かったです。ありがとうございました。

現在訪問看護ステーションに所属している看護師ですが、来年1月より相談支援専門員として活動する予定です。今回の動画を視聴させて頂き大変勉強になりました。看護師と相談支援専門員では仕事内容は変わりますが、利用者様に寄り添い想う気持ちは変わらないと思っているので、この学びを実践に活かしていければと考えております。ありがとうございました。

医療的ケア児の母親が言って欲しい言葉とってもらっても嬉しくない言葉の話を聞いて、母親の本音を知ることが出来て良かったです。今後の支援に是非活かしたいと思いました。

今日はmamacareの講義を受けました。私も医療的ケア児のママと援助を通して関わる中、言葉掛けに神経質になってしまいます。ママ側からの率直なお話が聞いて大変参考になりました。

ミキサー食についての体験談が参考になりました。

医ケア児のママ達のどんな事を思っているかを聞いて大変良かった。

多くの人に知らなければ、ならないことだと思いました。保護者の方の置かれてる環境、思いがとてもわかりやすかったです。そして、改善していかないといけないと、心から思いました。

保護者の率直な思いだと思いました。公、学校でのケアについての個別的な対応や看護教員の人数等沢山のハードルがあり、人工呼吸器の児童生徒さんの保護者負担軽減、給食注入についてがなかなか難しい問題だと思いました。

日々、重度心身障害児とその家族と関わる施設で働いているので、なかなか普段聞くことの出来ないリアルなママ思いを聞くことが出来て参考になりました。ありがとうございました。

現在、相談員として就学間近の医ケアのお子さんを担当していますが、「前例がない」というセリフであらゆる可能性を閉ざされ、打ちのめされる日々です。今回、ご家族の気持ちや医ケア児の学校生活の実際を改めて知ることができ、お母さんに寄り添い、一緒に道を切り開いていけたら…と今後の支援のエネルギーになりました。貴重な講演をありがとうございました。

医ケア児童のお母様の大変さを改めて知りました。

実状が伝わる内容でした。こうした思いを理解して支援が進んでいくようにと思いを新たにしました。

家族と一緒に考える、家族と一緒に行動、家族と一緒に進んでいくことを大切にする医療者でいたいと思いました。医療用語の部分は衝撃を受けました。ご家族を混乱させていたのだな、と反省です。明日から気を付けようと心に誓いました。

一人のお母さんとしての言葉であり、経験を踏まえてこれまでの困りごとや、希望を自然な形でお話ししてくださり、とても身近に感じられた。また、支援のあり方について振り返る機会にもなった。

講義の中で、率直な意見を伺いながら、相談支援専門員としてのあり方を再確認致しました。気持ちとしては、医療的ケア児やご家族を理解し、寄り添った支援になるようにしてきたつもりでいたしましたが、本当にご本人ご家族に伝わっていたのか、良かったのかと感じました。心の声も感じながら、遠慮されることなく一緒に歩み考え行動出来たら良いと改めて思いました。

24時間のケアと緊張感に保護者の努力には頭が下がる思いです。法律の縛りが、かえってやりにくさを生み、ジレンマを持ちながら働く看護師の気持ちもあることを知っていただけたら、幸いです。

当事者の方の率直な声を聴くことができ、大変勉強になりました。どうもありがとうございました。

実際にご経験されている方のお話をお聞きすることができ、学ばせていただきました。ありがとうございました。

現場でお母さんたちに励ましているつもりが、実は傷つけてしまっていたんだなあと改めて反省です。お話しを聞かせて頂いて考えさせられました。もっと他の保護者の声も聞いて見たくくなりました。ママケアのサークル、とっても素敵ですね。ママたちの立ち上げた力凄いです。

医療的ケア児のママの話はとても勉強になりました。なかなか本音で話すことができないので気持ちを理解する材料となりました。ありがとうございます。

お母様の気持ちがよくわかりました。貴重なお話をありがとうございました。

ケアがいいから調子がいいとか、どこか他人事の褒め言葉を言われた時の複雑な気持ち、首がちぎれるほど画面の前で頷きました。出来るだけ自立を促すような世の流れの中、付き添い必須など法律が追いついていませんよね。限られた自由時間の中ここまで活動してらっしゃる事を尊敬いたします

大変興味深いお話しでした。特別支援学校でも勤務しており、ご家族の思いなど今まで感じていた以上に勉強になり自己の関わりなど振り返る事ができました。

大変わかりやすく理解できました。学校での実際、食事の工夫、ママ達の気持ち、どれもこれも知らなかったことばかりで勉強になりました。自分の言葉でママ達を追い詰めてしまったことがあったのかもしれない…と過去も含めて不安にもなりました。子供達とご家族を支える一助になればと思います、働いていますが、まだまだ未熟で微力なのを通感します。今後も勉強していきます、ありがとうございました。

母親への言葉掛けなど自分自身を振り返る機会をもらいました。聞き取り易く、わかりやすかった。

現実の具体的な困り事や率直な気持ち、要望と活動など全て勉強になりました。また自分も障害児の親として共感する気持ちと発信力と行動力をとても尊敬いたしました。

保護者様の本音が聞けました。ありがとうございました。

動画を見るまでママケアの存在を知りませんでした。今担当している医ケア児ママにさっそく教えてあげてたいと思います。大人ですがミキサー食を胃ろうから食べ続けている方がいて、同じ疾病の方と比較してとてもお元気にお過ごしなので、食事を摂ることの有用性を実感しています。今は仕事があつて無理ですが、そのうち現役引退したら子供やママ達の笑顔のためにボランティア活動に参加してみたいです。

医療的ケアがある方が学校へ通うことがこんなに大変のだと知ることができました。また、ご家族がどのように学校で過ごしているのかも知ることができました。お母さま方の努力があって少しずつ改善しているのだと思いますが、まだまだ課題はたくさんあるのだと思いました。福祉サービスで何ができるか考えていました。ありがとうございました。

お母さん方の気持ちが分かりました。有難うございました。自分に出来る事から始めたいと思います。

医療的ケア児の家族の生活についての貴重なお話ありがとうございました。訪問看護では、ごく一部の生活のお手伝いをさせて頂いているくらいで、実際の学校の付き添いの様子、ミキサー食の工夫など、知らなかった事を教えていただき、もっと児や家族の生活の実際を理解できるようになりたいと思いました。自分の児や家族への声かけもふりかえり、今後どのように声かけしたら良いか考えました。また、声かけ以前に、ともに考え、歩む姿勢を忘れないようにしたいと思います。

ママケアさんの取り組みや児・保護者の実際の気持ちを聞くことができ良かったです。ありがとうございました。

大変勉強になりました。医療者として、その子のプロであるお母様を支える日々は、悩むこともたくさんあり、必要な看護ができていないのか不安になることもあります。医療的な書籍などではまったく不十分であり、ほかのお母様からの経験談などから得られるものの方が、ご利用者様の求めている答えに結びつくことが多いです。ぜひこのような知識をもっと知っていきたく強く思いました。楽しみながら、工夫しながらお子様と毎日を過ごされており、感銘を受けました。これからも穏やかな日々を過ごされますことを祈っております。

前回の講習を思い出しながら、視聴させていただきました。前回は感じましたが、何かできることがあるといいなと、何ができるかわかりませんが感じました。

お子さんのケアだけで忙しい日々なのにも関わらず、このような活動をしていて素晴らしいと思いました。

講義ありがとうございます ご家族の思いや対応の工夫など愛が感じられ参考になりました。

医療的ケア児のご両親の思いを丁寧にまとめられていて、とても参考になりました。お子さんとご両親に対し、支援者として何ができるのかお一人お一人に沿って改めて考えていかなければいけないと思いました。また、お子さんは成長に応じて学校から社会へと参加する場所が広がっていきます。時代によって、また地域によってニーズに応じた制度やサービスが少しずつですが変わってきているように感じます。更に、お子さんやご両親が安心・満足ができるよう、それぞれリスク対応など問題はありますが改善していけるようになればいいと思います。

親の生の声が聞けて良かった。子供の笑顔が視聴している私も自然に微笑んでいました。有難うございました。

現在、障害者施設で働いています。入所されているご家族がこれまで自宅でどのようにケアしてきたのか、ご家族に対してどのような声かけが良いかなど、考え、振り返る機会となりました。ありがとうございました。

学校での医療的ケアの範囲が国が行っているように早く埼玉県でも広がることを切に願います。給食も教育の一環だと思うので、お腹と体質が許すお子さんは、皆、友だちと同じ内容で栄養の保証された状態のミキサー食を食べられるようになってほしいと思います。

なかなかデイサービス利用者のお母さんと長い時間お話をすることができて良かった。本やテキストで読むのと実際に聞くのとは全然違うなと改めて思いました。また、藤川さんのお話が面白く、分かりやすく表現されていてお母さんが病院で手技を習って、退院することを、離島の医療責任者という例えにしているのが、なるほど言い得て妙と思えました。

ご両親の学校で過ごす様子は、訪問時に聞いたことはありますが、現状を見るのは初めてで、待機室の様子には驚きました。また「声かけ」もかなり考えさせられました。今後、関わっていく上で、声かけも意識していこうと思います。

母の視点というのはあまり学ぶ機会がなかったので大変勉強になりました。また、こういうお母様の意見は大変貴重なのでたくさん発信してもらいたいと思います。お忙しい中大変貴重な機会を頂きありがとうございました。

実際のお母様の声が聞けて大変勉強になりました。自分自身の普段の関わりを振り返り、講義の内容を活かしたいとおもいます。

保育士の立場からすると保護者がいない中での受け入れは何かあったらと思うと怖いのが正直な気持ちでした。しかし講義の中で実技だけを覚えて…という話を聞いて不安な気持ちは保護者も同じだと思います。社会が変わっていくなかでお子さんにとって、保護者にとっての環境を考えていきたいと改めて思いました。

公立の医療型児童発達支援センターに勤務しています。利用されるお子さんはもちろん、保護者の支援にもつながればと思い日々業務にあたっていますが、いろいろな場面で柔軟な対応ができず心苦しいです。こうしたらお子さんも保護者も無理せず少し力を抜いて過ごせるのではと考えられることが多々あるのですが、加算にならない、人員が不足等の理由で実現できないのが現状のようです。また、保護者への対応については、どのようにして声をかければよいのか戸惑うこともあったので、率直に保護者の立場でのお考えを聞くことができよかったです。ありがとうございました。

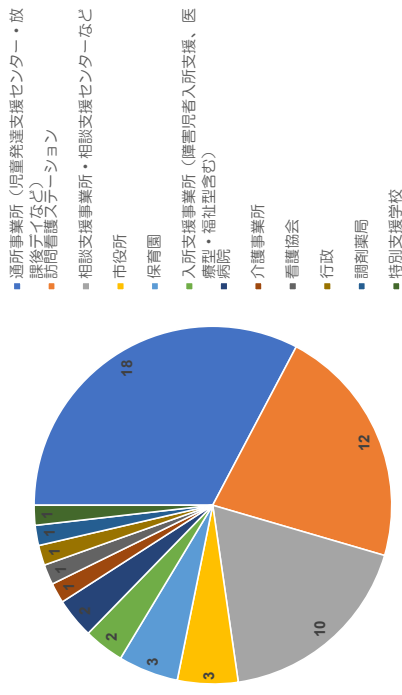
私は新卒で重症心身障害児施設で働いた経験があり、現在はNICUで在宅支援をしています。施設では、新人だった私よりもママ達の方がケアの手技も子どもの気持ちを汲み取るのも圧倒的に上手く、当時は何もわかっていなかったのに「すごい…」としか思っていませんでした。が、病棟での経験を重ねた時、今回の講義でもあったように「ママ(パパ)は医療者でもなんでもない、ただ親なだけ」という心の声がかかるようになってきたのです…。NICUに異動してからは医療ケアを指導する側になり、そんな思いをしていそうだと医ケア児のご家族からひしひしと感じています。時々医療者という場合もありますがほとんど関わる方は一般の方で、医療用語は極力使わず、内容は噛み砕いて伝える、それが私のモットーとなりました。しかし病棟スタッフが全員その様に指導できてはいないのが現状です。「家族に寄り添う」「わかりやすい内容で指導する」なんて、言葉で言うのは簡単な事が実は一番難しいと思います。後輩たちに、私の経験やこの講義にあった内容などを教え、“本当に”家族に寄り添った医療ケアの指導を出来る様にしたいと思いました。また、私のいた施設には特別支援学校の訪問部が来ていたこともあり、訪問の授業については知っていましたが、登校に付き添う家族の実際は今回初めて知りました。毎日の事ですし大変という言葉では済まないと思います。すぐに行政の決まりを変えるのは難しいと思いますが、何かできる事があれば幸いです。ママたちと子どもたち、学校の先生たちみんなにとって生きやすい社会に近づけばいいなと思います。日本の新生児や小児の救命率が上がり医ケア児が増えている現状で、医ケア児と家族に対するサポートが足りていないとも感じています。この講義を聴いて、子どもも支える家族も孤独にならないよう繋がりを意識して、今後も在宅支援に携わっていきたいと思いました。

他、感謝の言葉と保護者の正直な気持ちが分かったという感想多数あり。

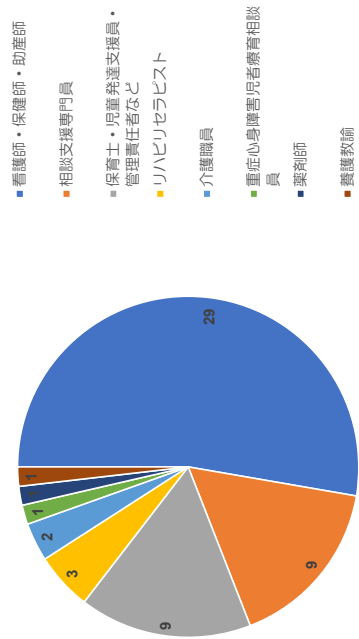
小児在宅医療の現状 (アンケート回答者55名)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	看護師・保健師・助産師	9	18
	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	8	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	1	12
	看護師・保健師	10	
相談支援センターなど	リハビリセラピスト	2	10
	相談支援専門員	9	
保育園	重症心身障害児者療育相談員	1	3
	看護師・保健師	2	
市役所	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	1	3
	看護師・助産師	3	
病院	看護師・保健師	2	2
	看護師・助産師	1	
入所支援事業所 (障害児者入所支援、医療型・福祉型含む)	看護師・保健師	1	2
	介護職員	1	
特別支援学校	養護教諭	1	1
	薬剤師	1	
調剤薬局	看護師・保健師	1	1
	看護師・助産師	1	
看護協会	看護師・保健師	1	1
	看護師	1	
介護事業所	看護師	1	1
	介護職員	1	

職場内訳 (人数)

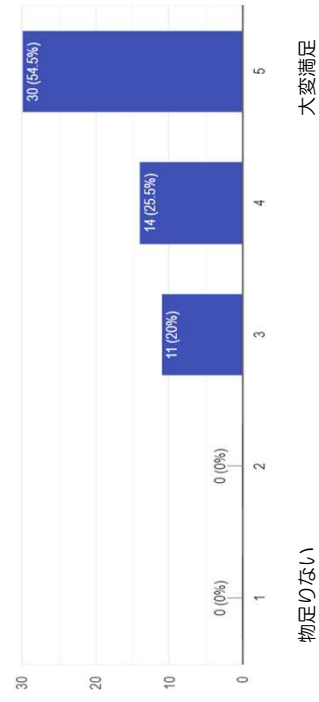


職種別 (人数)



講義の内容について一番近い感想を教えてください。

55件の回答



「小児在宅医療の現状」視聴後の感想

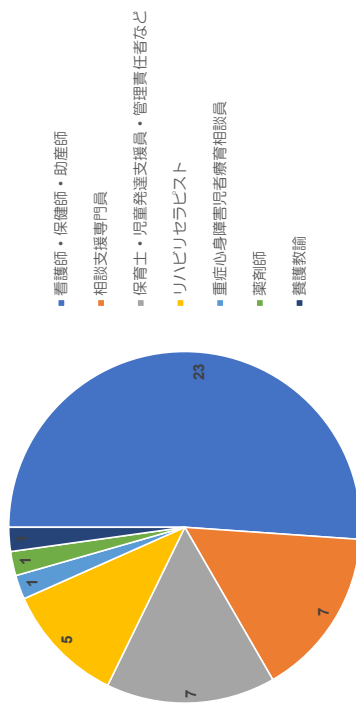
制度の事などが分かりやすく説明されていてとても良かったです。
10年以上前の医療的ケア児の社会における支援内容に比べると、年々ニーズに合ったサービスや施設などが増えてきている事は感じていました。その為に、様々な法律が改正されたり支援体制の整備が進められてきた事や、医療的ケア児支援センターの設置により更に包括的に医療的ケア児を支えていく社会になっていく事を知ることができました。現在在宅でこれからの就学や成長とともに卒業した後の問題や困りごとが生じてきているケースに対し、何ができれば解決するのかなど多くの関係者と情報共有や連携を図り支援していきたいと思います。
資料プレゼンターからのコメントがあって、講義のポイントが分かりやすく良かったです。医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が出来ていた事を知る事が出来て良かったです。昨年度と違う内容の講義があり、何回受講しても勉強になります。資料を自分のタイミングでプリントアウトする事が出来る事も使い勝手が良くて助かります。ありがとうございました
小児の在宅医療の部分というのは急速に発展した事もあり、さまざまな法律が関わっているのは体感していましたが、想像を超える多さでした。そこがもっとシンプルになっていけばいいなと思います。全ての子どもには成長発達する権利と力があると感じているので、私に関われるのは限られていますが、小さな部分でもいいから子どもとその家族を少しでも支えたいと思いました。
盛りだくさんですが、じっくりと資料を見て学びたいと思います
まだ、十分でない部分もありますが、制度面の整理をする事が出来ました。
保育所、学校、特別支援学校等の設置者の責務が、子どもたちに寄りそった形で早期に果たされていくことを期待しています。
なぜ在宅医療が推進されているのか、法整備等分かりやすくまとめられていたと思う。
色々な資料ごあり分かりやすかったです。ありがとうございました。
医療的ケア児支援センターができて運用されれば、対象となる児や家族が頼りにできるのではと感じた。医ケアのない肢体不自由児の支援についても拡充してほしいと感じた。（注入以外はお弁当持参や食事介助はできないと言われたという声を聞くので）
地域支援の掘り起こし、拡充、発展よく分かります。医ケア児や動く重症児は、障害の中でも地域生活での支援の無さに直面しています。ただ支援してくれる方がいるのも事実。拡充、発展実感しました。
専門用語の説明が詳しくされており、知識を増やすことができました。福祉系の知識が乏しかったので、とても勉強になりました。
法律も整備されたので、動ける医ケア児に対する社会的支援がよりスムーズになることを願います。
医ケア児数の推移などの具体的な表や、法などわかりやすかったです。地域での対応がこれからは大切になることがよく分かりました。専門的な知識も保育士も必要だと思いました。
これまで、急性期病院におり、在宅のことをなにも知りませんでした。大変勉強になりました。
知識の再確認、情報の整理ができました。ありがとうございました。

関係のある法律など私自身勉強不足のところを学ぶことができました。
制度など改めて勉強できて、とてもよかったです！！
専門のお話をわかりやすく説明がありました。有難うございました。
近年障害児や医療的ケア児に関わる法律や政策は大きな動きがありました。流れを理解するとともに今後必要となる支援について考えられるよう、制度の理解を深めていきたいと思いました。
ちょうど自分が卒業する年から法律が変わり始めていて座学で学ぶ機会がなかったので全体の流れを確認できて良かったです。調剤薬局の薬剤師は現状なかなか医療的ケア児の方や重心の方に直接関わっていないと思いさらに歯がゆく感じました。
近年の流れや具体的な関連法律について学ぶことができました。ありがとうございました。
今回の研修を受け、自分ができること等、色々と考える機会を頂きました。お子さんやご家族の方々が支援を受けて安心して地域で暮らしていけるお手伝いをしていきたいと思います。ありがとうございました。
関わる法律の表がとても分かりやすかったです。
相談員も根拠法を知っておく必要があり、分かりやすく解説されていてとても参考になりました。
とても詳しく教えていただき、分かりやすく勉強になりました。
重度心身障害児と医療的ケア児の違いがとても分かりやすく、理解が深まりました。
基礎的な知識から今後の予測まで深く学びました。自分でももっと知識を深められるよう勉強したいと思います。ありがとうございました。
とてもわかり易く、医療と福祉の関係性や法律の理解を改めて確認できました。ありがとうございました。

重症心身障害児・者について (アンケート記載者45人)

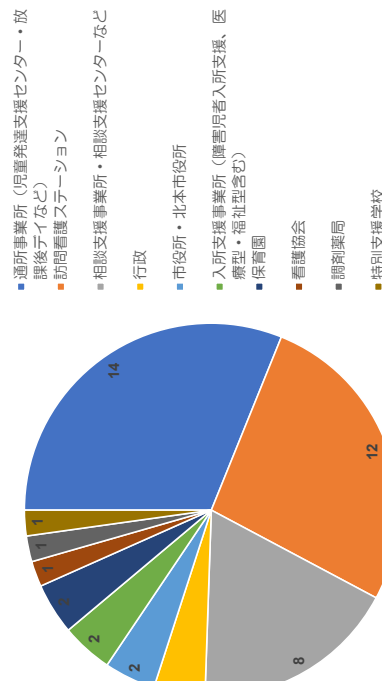
勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	看護師・保健師・助産師	6	14
	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	6	
	リハビリセラピスト	2	
訪問看護ステーション	看護師・保健師・助産師	9	12
	リハビリセラピスト	3	
相談支援事業所・相談支援センターなど	相談支援専門員	7	8
	重症心身障害児者療育相談員	1	
行政	看護師・保健師・助産師	2	2
	看護師・保健師	2	
入所支援事業所 (障害児者入所支援、医療型、福祉型含む)	看護師・保健師・助産師	2	2
	看護師・保健師	2	
保育園	看護師・保健師・助産師	1	2
	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	1	
看護協会	看護師・保健師	1	1
調剤薬局	薬剤師	1	1
特別支援学校	養護教諭	1	1

職種別 (人数)



3

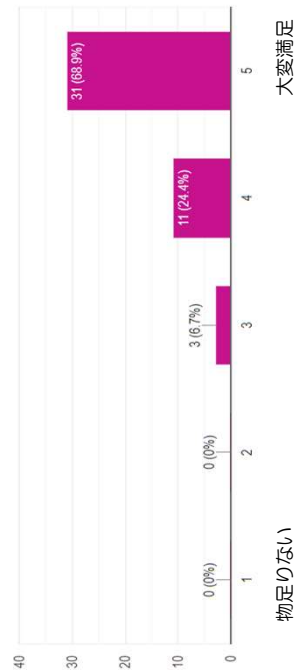
職場内訳 (人数)



2

講義の内容について一番近い感想を教えてください。

45件の回答



4

「重症心身障害児・者について」視聴後の感想

在宅で高度な医療知識を必要とする場面が多々ありますが、基本的なことから最新の事まで詰まったよい講義でした。もっと知識を深められるよう学習していきたいと思えた時間でした。ありがとうございました。

唾液の落ち込みについて、スピーチバルブを使用する方法は勉強になりました。また、栄養剤の特徴、特に吸収する能力について、再確認できました。

先生の話し方がとてもわかりやすく、実際のボトックスの注射前後の画像などあったのでとてもよかった。気管切開の管理等もとてもわかりやすくまとめられていて聴講してとても良かった。

とても分かり易く聴きやすい講義でした。側弯は年齢とともに進んで、多くの児に呼吸や排便等影響をもたらしていますが、私が関わっている児にも拘縮が進む前にボトックス治療ができると良いなと思いました。また、3点固定のプレーリーくんも初めて見たので参考になりました。気管の肉芽については、Yガーゼの厚みで挿入長さを変えたり、カニューレの長さが違うものを1週間ごとに入れ替えている児はいますが、ネジを緩めて角度を変える方法が詳しく知れてよかったです。気管支ファイバーで医師が定期的に確認はされていますが、看護師としてどこに肉芽があってカニューレがどう挿入されているのか再確認するきっかけとなりました。栄養剤は、訪問している児によって様々ですが、微量栄養素を補う為ママたちが工夫をして色々なものを注入したり、私達も経腸栄養剤を試飲したりしています。おはぎは胃瘻が詰まらないか心配でなかなか挑戦できそうにないですが、栄養士さんが訪問し一緒に関わってくださるととても力になると思いました。ありがとうございました。

一つ一つの項目がとても勉強になりました！実際の排痰方法について、動画で見れたら嬉しいです。

ボトックス療法を検討されているご利用者様がいますが、実際に見たことがありません。治療についての流れや利点を理解することができて勉強になりました。経管栄養についての工夫は、実際の内容を参考に今後生かしたいと思いました。

医療職以外でもわかりやすい言葉でお話し下さったので、とても聞きやすかったです。これまで「ボトックスする」「スピーチバルブが～」等と言われても、実際にはどのようなものなのかをきちんと理解することができていませんでしたが、動画や写真を見ながら説明を下さったので具体的にイメージすることができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。

経管栄養について、子育ての喜びが料理によって感じられる大切さがよくわかりました。ありがとうございました。

講義ありがとうございます。実際の映像や実技が見れて相談支援の参考になりました。

以前、気切の医ケア児を受け入れていたのですが、スピーチバルブ装着すると分泌物が極端に少なくなり、原因が不明でした(恥ずかしいはなしですが)。今回、唾液の垂れ込みを防ぐ話をきいて、そういうことか、とスッキリしました。ありがとうございました。

筋緊張のある方に対して、様々な治療法があることを学べてとても良かったです

日頃、なかなか聞くことができない内容のお話を聞いて、大変勉強になりました。ありがとうございました。

相談員なので医療的知識が乏しく、難しい面もありましたがケースを思いながら聞いているとそういう事かと納得する場面がありました。最低限の知識は必要とつくづく感じました。

パワーポイントも見やすく、内容もわかりやすかったです。特に、動画があるものはとてもわかりやすかったです。

画像や気管支ファイバー時の実際の映像など、普段訪問看護の際に確認できない内容が多くあり大変勉強になりました。思春期を過ぎ、側弯進行してボトックス注射が開始になるかもしれない対象の方もおられ、資料ではよくわからなかったことについて想像することができました。排痰ケアは側弯の強い方には必須で、訪問時もうつ伏せや吸引を行い、呼吸状態やSpO2の値で効果を確認していましたが、排痰の効果や必要性が理解でき、また肉芽や腕頭動脈ろうのリスクについても更に意識してケア予防ができるようになるための情報が得られたと思います。小児から思春期に向けての問題や起こりうるリスクを具体的に学べ、今後の指標としていきたいと思いました。ありがとうございました。

福祉職なので嚙下等の映像は見られないため、貴重でした。また、治療状況等もしっかり見てわかりました。医療で出来ることを福祉でつなぎ在宅支援をしっかり行っていかれたらと改めて思いました。

現在、事業所を利用して頂いている子ども達が成長していくにあたって体にどんな変化がおきて、どんな対処法があるのかを知ることができ、とても貴重な時間でした。

学校検診で「経過観察、側わんは仕方ない」といわれていた生徒が、専門医を受診したところ『何でもここまで何もしなかったのか』と言われました。このお話を数年前に聞いていたら・・・。今後に生かしていきたいです。

動画を交えご講義いただき理解しやすかったです。

何度お聞きしてもその時々自分の状況で興味深いところが変わってきました。注入食をまだあまり進められていなかったのも、頑張りたいと思います。有り難うございました。

画像やイラストがあり分かりやすかったです。ありがとうございました。

とても分かりやすい内容でした。講師の田中先生の話し方も診療所のほっこりとマッチしていて、先生の他の内容の講義もきいてみたいと思いました。何度も視聴させて頂きました。ありがとうございました。

保育所で医療児ケアを受け入れる場合、看護師が対応することになるが、知識としてカニューレの扱い方等、映像とともにわかりやすく説明していただき素人としては、とても勉強になりました。ありがとうございました。

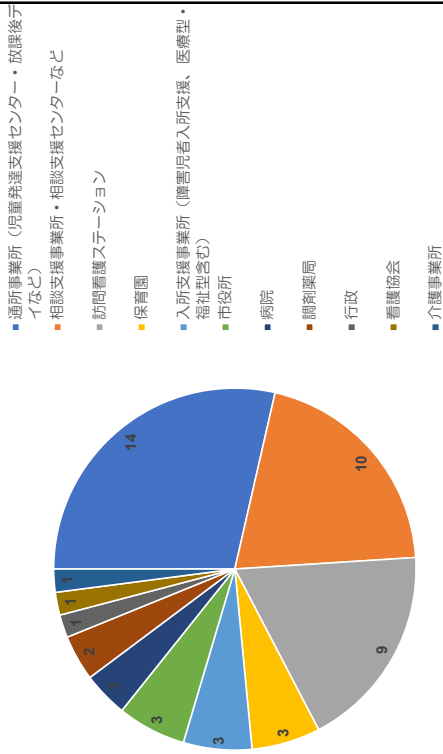
ありがとうございました、とてもわかりやすかったです。

重心児の医療的ケアや使用する薬や資材、食事について知れて良かったです。薬剤師はどうしてもケアや長期在宅療養の現状について疎いと感じました。たまたま検査値を持参してくださった方でセレン欠乏で爪が白い方にお会いする機会があり、この講義の内容が早速お話のきっかけになりました。ありがとうございました。

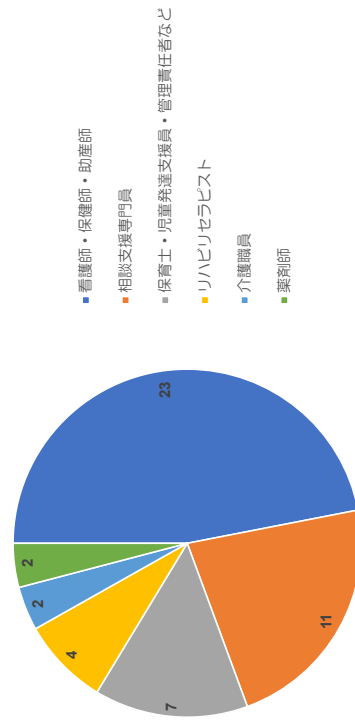
身体障害者手帳・療育手帳と小児慢性 特定疾病 (アンケート記載者49人)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	リハビリセラピスト	1	14
	看護師・保健師・助産師	6	
	相談支援専門員	1	
相談支援事業所・相談支援センターなど	保育士・児童発達支援職員・管理責任者など	6	10
	相談支援専門員	10	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	2	9
	看護師・保健師・助産師	7	
保育園	看護師・保健師・助産師	2	3
	保育士・児童発達支援職員・管理責任者など	1	
入所支援事業所 (障害児者入所支援、医療型、医療型・福祉型含む)	看護師・保健師・助産師	2	3
	介護職員	1	
市役所	看護師・助産師	3	3
	リハビリセラピスト	1	
病院	看護師・保健師・助産師	1	2
	看護師・助産師	2	
調剤薬局	薬剤師	1	1
	看護師・助産師	1	
看護協会	看護師・保健師・助産師	1	1
	介護職員	1	

職場内訳 (人数)

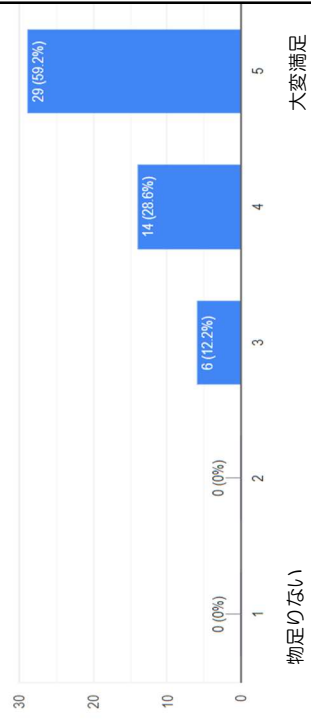


職種別 (人数)



講義の内容について一番近い感想を教えてください。

49件の回答



物足りない

大変満足

「身体障害者手帳・療育手帳と小児慢性特定疾患」視聴後の感想

相談支援専門員さんと共に情報交換や相談していく機会が増え、法律や制度が理解できていないことと感じていました。今回の「障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの体系」は、資料で目にしていましたが、一つ一つ説明していただくことで漠然としていた内容が整理できました。小児から成人になることでサービスが変わったり、費用の出所がそれぞれ違うことなど知らなかった内容が多く、またそれぞれの内容はわからないことが多いのでご利用者さんを通して確認していきたいと思います。

私自身は児発の立ち上げから携わり、今は利用者への見学、説明、契約そして請求業務等を行っている為、このような手帳の知識はある程度学んでいたが、日頃現場の保育士や看護師は知らない情報でもあると思うので、この動画は他のスタッフと共有させて頂きたいと思いました。

保育園にも医ケア児でなくても身障者手帳を持っている児、療育手帳持っている児がいます。各手帳について、再確認できて良かったです。

相談員が正しく、インフォメーションしてあげる事の大切さを改めて感じました。総合的にその方を見る事ができるといいと思いました。

障害福祉サービスの全般に渡り、詳しくそして分かりやすい説明で、とても良かったです。永久保存をして何度でもみたい内容でした。

とてもわかりやすく勉強になりました。

改めて整理が出来ました。ありがとうございました。

手帳を取得していくことも重要なことで、そうして視点から話が伺えて良かったです。

手帳のことは、よくわからなかったので、勉強になりました。

手帳についてはよく知らなかったので学べたため、今後保護者支援をする上で理解が深まったと感じました。ありがとうございました。

現在の職場で、初めて手帳の有無に接しましたが、内容的には違いがよく理解出来ていませんでした。その種類と程度、サービスについてわかりやすかったです。

普段は現場で関わっているため、その裏側の事務的な内容について学ぶことができました。

日々、担当している業務を改めて確認することができました。ありがとうございました。

手帳を持つと受けられるサービスが沢山あることがわかりました。川越市で受けられるサービスの相談窓口なども詳しく知れると嬉しいです。

障害福祉サービスを受けるための相談場所として、「相談支援事業所のほうが親切です」と紹介頂きました。この言葉の通り、初めての福祉サービスを利用希望者される御本人とご家族にとって安心して相談できるよう日々心がけていきたいと思いました。手帳や助成制度の再確認ができました。ありがとうございました。

知識の整理が出来ました。ありがとうございました。

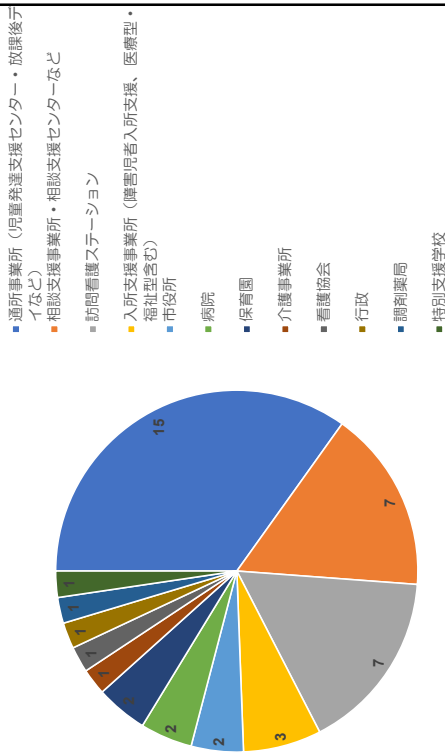
医療的ケア児の生活面を支える制度について学ぶことができました。

やや避けがちな分野でしたが、大変わかりやすく参考になりました。
手帳や法律、制度について大変参考になりました。ありがとうございました。
とても分かりやすくまとめてあって良く理解できました。
制度面の大まかな整理が出来ました。
重心児の訪問看護の他、相談支援でもプラン作成で携わっているため、とても分かり易かったです。
自分が働いている事業所がどのような法に基づいて運営されているのか、利用者はどのようなステップで事業所を利用しているのかが理解できた。（職場では教えてもらえないものである）
講義ありがとうございます。医療と福祉の連動の大切さを改めて感じます。
わかりやすくありがとうございます！改めてご家族にも説明や、勧めたりすることができそうです。
制度の確認や、具体的な支援の内容を知ることができました。食事のことなど初めて知ることもありました。ありがとうございました。
難しい制度をととても解りやすくご説明いただきありがとうございました
手帳取得・公費により受けられる支援がとてもたくさんある事が分かりました。ありがとうございます。制度を維持していくためにも、きちんと理解を深めて薬剤師として啓発していけるようになりたいと思いました。
多くのサービス、支援が必要と思われるのに手帳を持っていないお子さんの件や、18歳になり児童から障害福祉に移行するにあたり、病院や訓練等探して苦労している保護者の件等、節目節目ごとに、相談支援のついていないお子さんもいるので、情報提供していけるように勉強していきたいと思えます。

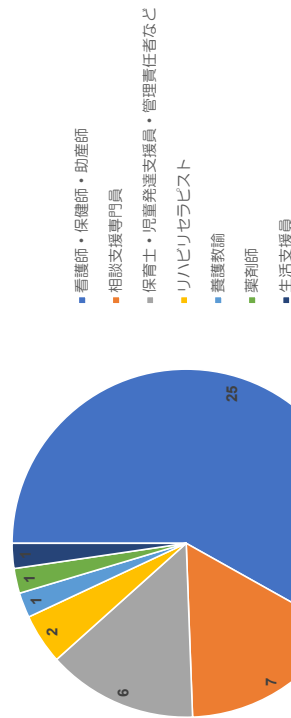
感染予防の基礎知識と個人防護具の着脱 (アンケート記載者43人)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	看護師・保健師・助産師	9	15
	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	6	
相談支援事業所・相談支援センターなど	相談支援専門員	7	7
	看護師・保健師・助産師	6	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	1	7
	看護師・保健師・助産師	6	
入所支援事業所 (障害児者入所支援、医療型・福祉型含む)	看護師・保健師・助産師	2	3
	生活支援員	1	
市役所	看護師・保健師・助産師	2	2
	リハビリセラピスト	1	
病院	看護師・保健師・助産師	1	2
	看護師・保健師・助産師	1	
保育園	看護師・保健師・助産師	2	2
	看護師・保健師・助産師	1	
介護事業所	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師・保健師・助産師	1	
看護協会	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師・保健師・助産師	1	
行政	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師・保健師・助産師	1	
調剤薬局	薬剤師	1	1
	看護師	1	
特別支援学校	看護教諭	1	1
	看護教諭	1	

職場内訳 (人数)

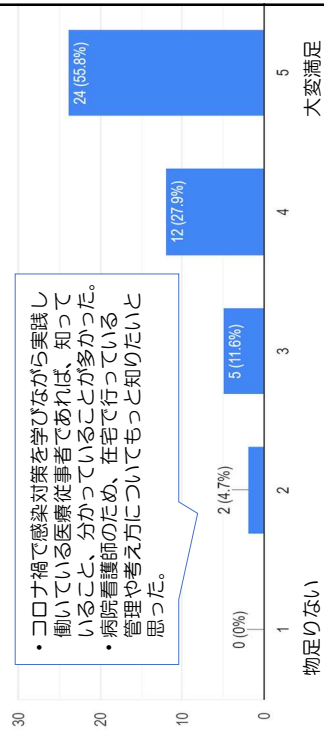


職種別 (人数)



講義の内容について一番近い感想を教えてください。

43件の回答



・コロナ禍で感染対策を学びながら実践している医療従事者であれば、知っていること、分かっていることが多い。
 ・病院看護師のため、在宅で行っている管理や考え方についても知りたいと思った。

「感染予防の基礎知識と個人防護具の着脱」視聴後の感想

感染について、復習ができました。また、新しい情報取得方法を知ることができました。

お忙しいなか、有難うございます。学生時代に勉強した事は、意外と忘れていた事を認識しました。

感染について正しい知識の開発とソース、更に具体例についてわかりやすく纏めてくださりありがとうございました。医薬品や消毒薬や資材を売るところに勤めているのでとても参考になりました。

仕事をしている中で感染対策について情報が色々出回って、何が正しいのか、確信が持てなくなる時がありましたが、動画を見て参考になりました。通所生活介護施設の職員向けの勉強会を開く予定です。参考にさせていただきます。

正しい感染症対策について確認することができ、講義の中で「消毒したつもりが一番ダメ」との言葉は、自身がそうではなかったかと省みる良い機会になりました。また、先生のお話は共感できるものばかりで、PC前で深く頷きながら拝聴しました。どうもありがとうございました。

とても分かりやすく、何度もうなずいてしまう場面がありました。恐れず正しく予防していく！基本しっかり抑えていこうと思います。

身近にあるコロナからの感染予防。しっかり予防、正しい予防の必要性を改めて感じた。また、情報に惑わされない確かな情報を得る事の重要性がわかった。

日頃行なっている感染対策の行為ですが、どうしてそれを行なっているか再確認できました。明日からは、もっと丁寧に行い、自分もご利用者様も安全に過ごせるようにしたいと思います。

手袋を外すときの水はねの実験が分かりやすかったです。

コロナだけでなく、全ての感染症の基本、予防策、ここが感染を広げないポイントであることは十分理解しているつもりですが、意識も常に持っていないと手洗いが疎かになっていたりしていたかもと反省しました。新ためて仕事での立場も再認識し、媒介者にならない存在であることを意識していきたいと思いました。

環境消毒について、薬剤の浸透時間が必要である事は知らなかったなので、勉強になりました。

感染予防の基礎は、コロナ禍において、再確認できて良かったです。

第六波が来ると言われている中で、改めて感染予防対策について学ぶことができ良かったと感じています。ありがとうございました。

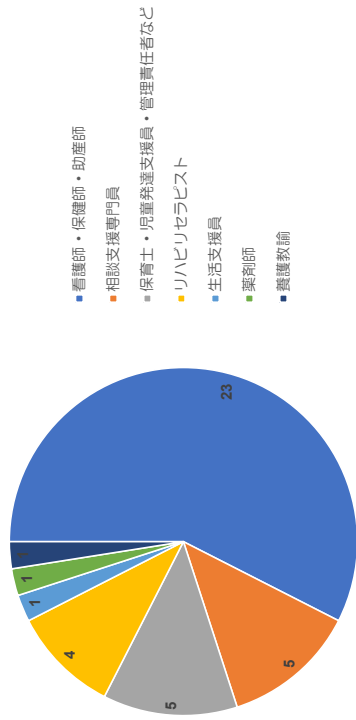
職場で感染症対策を伝える立場になってしまっているのが、大変参考になりました。感染症対策については委員会に入っていたわけでもなく、病棟での経験や学生時代の知識から伝えていました。なので、一般的なことをさらりとしか伝えられていなかったなーと感じています。伝えていた内容は感染予防の三原則とスタンダードプリコーション、PPEの使用方法などだったので、方向性としてはまちがっていなかったかなと安心もできました。今回の講義を参考に、より詳細に感染予防対策を伝えられるよう勉強していきたいと思いました。ありがとうございました。

改めて、個人防護用具の使い方など知ることができ、このご時世ですので注意して行ってきたいと思いました。ありがとうございます
基礎の再確認になりました
コロナ禍から1年半以上、危機感の増減はあるものの感染予防への意識は以前に比べかなり高くなっています。「コロナが早く落ち着いてほしい・今頑張れば」と日々取り組んでいましたが、今回の研修で感染予防はコロナ時だけのものでなく、日頃から自身に対しても全ての対象者に対しても正しいポイントで実施していくべきことであると改めて確認できました。保菌者、感染者と診断されていなくても、自然なスタンダードプリコーションを身に着け、かつ第6波は国の方針で在宅療養者は訪問していくこととなると思って、慌てず的確な感染予防対策ができるよう準備しておこうと思います。
基本的な部分は知識・技術の再確認が出来ました。病院看護師のため、在宅で行っている管理や考え方についてもっと知りたいと思いました。
消毒薬は、用途に応じて最適な方法を選ぶことを学ぶことが出来てとても良かったです。今後は「表9-1」を参考に適切な対応をとっていきたいと思います。
今まさに重要なことで、日々注意していますが、間違ったこともあり良い研修でした。
あらためて、感染予防について再確認できました。保育園勤務しています…もし、保育園内でコロナ陽性者が出た場合、消毒作業を職員がやることになります。正しい防護具を使って正しく着脱できて、消毒もどこを何でやるのか、知識と技術の提供ができるようにしたいと思います。ありがとうございました。
分かりやすくとても勉強になりました。現場で活かせる内容でした。
コロナ禍で感染対策を学びながら実践し働いている医療従事者であれば、知っていること、分かっていることが多かった。
色々な情報がある中、最新の情報をありがとうございました。

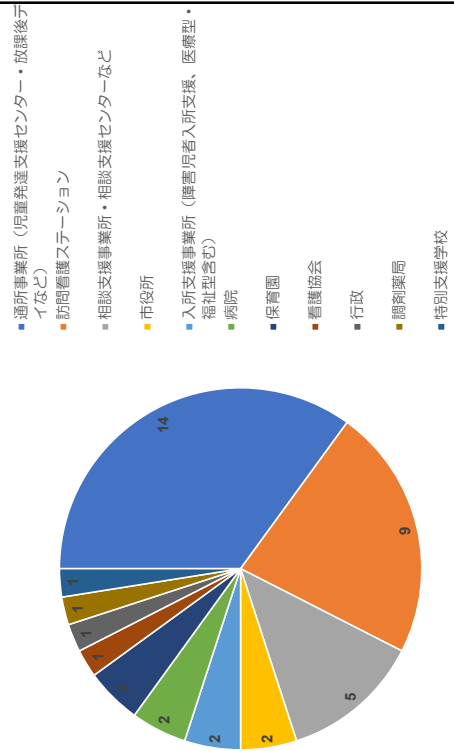
クイズで学ぶ感染予防 (アンケート記載者40人)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	看護師・保健師・助産師	8	14
	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	5	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	1	9
	看護師・保健師・助産師	7	
相談支援事業所・相談支援センターなど	リハビリセラピスト	2	5
	相談支援専門員	5	
市役所	看護師・保健師・助産師	2	2
	生活支援員	2	
入所支援事業所 (障害児者入所支援、医療型・福祉型含む)	看護師・保健師・助産師	1	2
	看護師・保健師・助産師	1	
病院	リハビリセラピスト	1	2
	看護師・保健師・助産師	1	
保育園	看護師・保健師・助産師	1	2
	看護師・保健師・助産師	2	
看護協会	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師・保健師・助産師	1	
行政	看護師・保健師・助産師	1	1
	薬剤師	1	
調剤薬局	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師	1	
特別支援学校	養護教諭	1	1

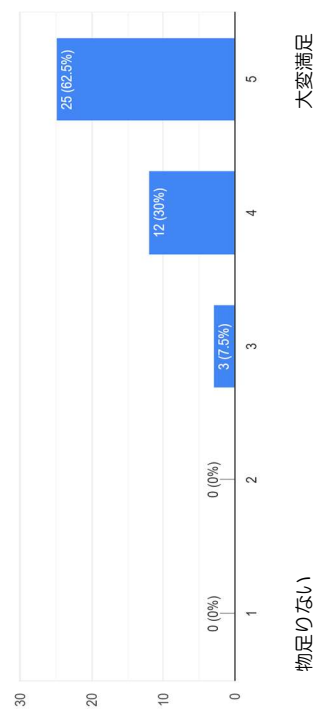
職種別 (人数)



職場内訳 (人数)



講義の内容について一番近い感想を教えてください。
40件の回答



「クイズで学ぶ感染予防（新型コロナウイルス感染症の情報を含む）」視聴後の感想

【わかりやすかった】
とても分かりやすく、簡潔に資料も明瞭で良かった。コロナ禍における喘息の子どもの研究もとても興味深いものでした。
検査の精度や信頼性について基礎知識がなかったのでとてもわかりやすい説明をして頂けて助かりました。日々の業務に役立ってます。ありがとうございました。
非常にわかりやすく内容もついて行きやすく、また現場で活かせる内容でした。
データを含め具体的でわかりやすかった。
解りやすいこと、現場ですぐに実践できる事となど、必要な情報が沢山あり、職場での感染予防確認に応用しました。
【クイズ形式で楽しかった】
改めて、感染症予防の知識を習得することができました。クイズなので、気負わず情報が入ってきました。ありがとうございました。
クイズ形式で楽しかったです。お忙しい中、有難うございました。
クイズだったので、参加型で良かったです。ありがとうございました。
講義内容がクイズ形式だった為、楽しく学ぶことが出来ました。
クイズ形式で感染症対策についてご講義いただき、非常にわかりやすく、感染させないようにするポイントを容易に覚えることができました。私から周囲の人達に情報提供をする際にも興味を持って聞いてもらえると思いました。どうもありがとうございました。
クイズ形式で、楽しく聴講させていただきました。保育園勤務しています。保育園児を守るためにも、職員に改めてマスクと手指衛生についての大切さを伝えていきたいと思えます。(余談ですが…公立園で予算無いとかで、消費量減らしたく、おむつ交換の手袋は下痢便のときしか使えません。尿のみは素手、便はビニール手袋使いまわしが現状です。おむつ交換時のおしりの下は個人持ちタオル。声を大にしてお願いしていますがなかなか難しいです。)
クイズ形式なので読みやすく、職場でのちょっとした余興的にも使えそうです。ありがとうございました
感染症予防しっかり行っていきたいと思えました。クイズ形式でわかりやすかったです。ありがとうございました
正しい感染予防。知ってるようでそうで無い事がわかった。身近のコロナ感染症のクイズが良かった。
タイムリーなテーマ、かつ分かりやすい説明で面白かった。クイズ形式良かったです。
【そのほか】
埼玉県的全教員と養護教諭に見てもらいたい！根拠のない校長の不安に、いたずらに振り回されています。
喘息の治療をしている子供は、新型コロナにかかりにくいかもしれないという、新たな知見と光明があったことは、ありがたかったです。
それぞれのテーマで、受講させて頂けてとても貴重なお時間を頂きありがとうございました。

小児の感染症は多く、感染予防対策は小児看護には必要であり、更に今の世の中訪問者が感染源になる可能性を常に考え予防していかなければならないと感じています。訪問先のご利用者様やご家族も敏感なので、原理原則にのっとった対応をしていきたいと思えます。

普通の感染症でも、長期間の経過観察が必要である事は意外でした。また、小児については、コロナウイルスの受容体が少ない事、ぜんそくのステロイド吸入剤で、受容体が減少する事については、勉強になりました。

感染対策に対する誤った認識を持っていたことに気づかされました。

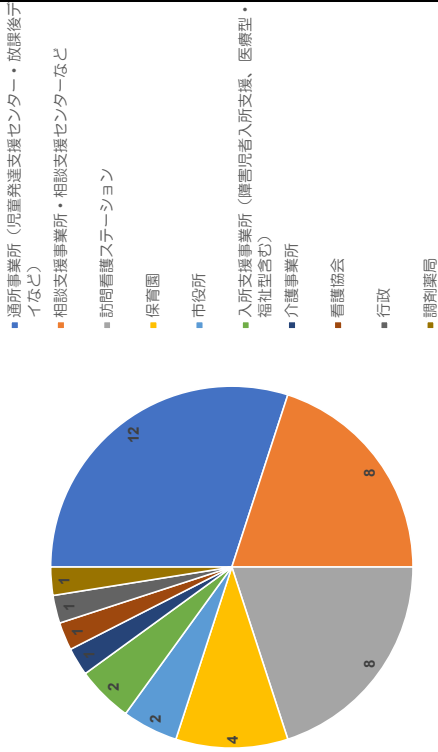
職場で感染対策について伝える立場になっているので、参考にさせていただきます。

人工呼吸器装着児と養育者が濃厚接触または陽性者になったときの対応の、考え方が、参考になりました。

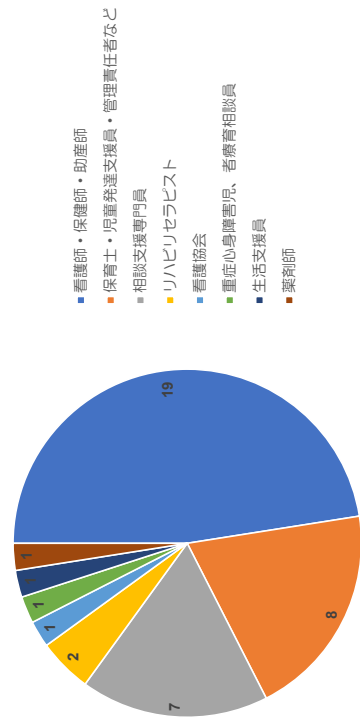
けいれん時の対応 (アンケート記載者40人)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後ア イなど)	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	6	12
	看護師・保健師・助産師	5	
	リハビリセラピスト	1	
相談支援事業所・相談支援センターなど	相談支援専門員	1	8
	看護師・保健師・助産師	7	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	1	8
	看護師・保健師・助産師	7	
保育園	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	2	4
	看護師・保健師・助産師	2	
市役所	看護師・保健師・助産師	2	2
	生活支援員	2	
入所支援事業所 (障害児者入所支援、医療型・ 福祉型含む)	看護師・保健師・助産師	1	2
	生活支援員	1	
介護事業所	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師・保健師	1	
看護協会	看護師・保健師	1	1
	看護師・保健師	1	
行政	看護師・保健師	1	1
	薬剤師	1	
調剤薬局	看護師・保健師	1	1
	薬剤師	1	

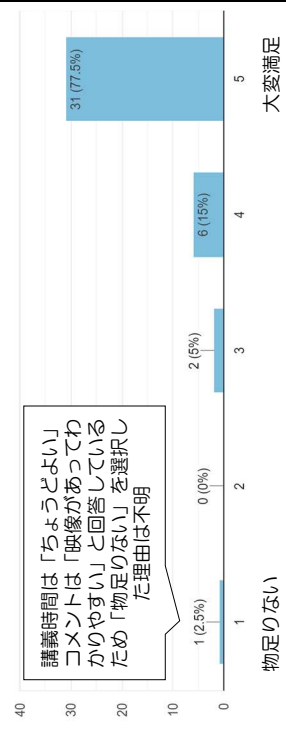
職場内訳 (人数)



職種別 (人数)



講義の内容について一番近い感想を教えてください
40件の回答



講義時間は「ちょうどよい」
コメントは「映像があつてわ
かりやすい」と回答している
ため「物足りない」を選択し
た理由は不明

「けいれん時の対応」視聴後の感想

【わかりやすかった】
映像もあってとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。
講義ありがとうございます けいれんとてんかんの違いや状況がわかりやすく勉強になりました。アセスメントで家族からの聞き取りで参考になると思いました。
とてもわかりやすく、参考になりました。職場でてんかん発作の対応をすることが多く、多職種で対応を共有しておく必要がありますが、根拠を示して自信を持って伝えることが難しかったのが正直なところでした。講義を聴いて、てんかんの病態や対応など理解できたので、今後の仕事に活かしたいと思います。ありがとうございました。
分かりやすく勉強になりました。現場で活かせる内容でした。
映像がありわかりやすかったです。
映像でてんかんの症状や対応を見られた点がとてもわかりやすく良かったです。
資料、動画、解説ともとてもわかりやすく勉強になりました。
発作について、動画で見れたことがわかりやすくて良かったです。
映像もありわかりやすく。対応など参考になった。
実際に対応することがないと難しい事ですが、詳しく具体的なお話にて分かりやすかったです。
理解しやすかったです。日々の看護に参考にさせていただきます。
【勉強になった】
てんかんをお持ちの相談者の方はたくさんいらっしゃるのですが、実際に発作の様子を目にする機会は少ないので、いろいろな発作の様子を見ながら、対応の仕方を詳しく説明していただき、とても勉強になりました。どうもありがとうございました。
けいれん、てんかんは重心の方に多いので、とても勉強になりました。
動画を用いた説明でイメージしやすく、とても勉強になりました。ありがとうございました。
ダイアップの話が勉強になりました。
【そのほか】
けいれんとてんかんの違いなど、あいまいな解釈があったことを改めて学ぶ機会を頂きありがとうございました。
てんかんと発作、けいれん。確かに理解していたか?と改めて考えました。親や施設、学校等の方と接しての仕事なので、その個人が何を思ってその言葉を使用しているのか、受け手の私含め理解していなかったのでは。良い機会でした。
色々な発作のビデオで実際がイメージできました。
てんかんについて理解が深まった。職場でも多職種で共有しておきたい内容だった。

SpO2低下及び心拍亢進し全身性強直性発作の際は、呼吸器装着気管切開されていても呼吸確保の確認とともに（慌てて）すぐダイアップ使用へと対応していました。また、緊張やピクツキが強くなると、介護される母のケア困難があり薬を増やしたいという意見を聞くことがあります。薬のメリットデメリットで薬は調整処方されていることや、薬は増えてよかったですだけでなくデメリットの評価もしていかなければならないことがわかりました。通所先での発作時は、特にご家族がいない状況での対応であり、どこまで様子を見ていいのかわからず救急搬送ということも生じてきています。発作時の対応を改めて主治医と相談し 発作の状況に応じ対応策を明確にしておかなければならないと思いました。

改めて知識としての確に理解することができました。仕事の中で、てんかんを持つ児童もいるので、正確な知識と理解のもと、支援（検討）を行いたいと思いました。

知りたいテーマの一つでした。ありがとうございました。

実際に発作を起こしている方の動画を観て、どの様な症状になるか理解することができました。DVD「てんかん発作症状Library」の動画であったとのことで、とても良いDVDだと思いました。発作には、あんなにもたくさんの種類があることを初めて知りました。また、発作時の対応を学ぶことが出来たので、焦ることなく落ち着いて、適切な対応をしていきたいと思えます。

けいれん発作のビデオはとても参考になりました。親御さんは発作では無いと言われていた時も、明らかに発作が起きていた事実があったことも確信出来ました。別の子供では、救急車を呼んだ事も、適切な判断だったと、納得出来ました。

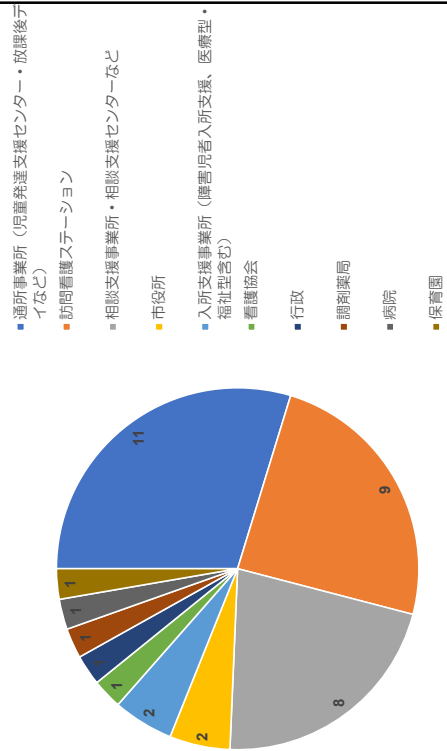
発作があるお子さんを担当したことがあります。施設では発作が起きた時の対応が中心で他にどのような症状があるか等深くは知りませんでした。今回動画を見ながら学ぶことができ、今までの知識を整理することができました。また、発作があると薬を預かることを前提に考えてしまい、処方されていないと言われると不安に感じていました。しかし薬のメリット・デメリットを聞き、過度に心配になるのではなく、保護者がどのように考えているのか、お子さんにとって何を大切にすることがよいかを考えることが大切だと思いました。

けいれんとてんかんについて講義して頂きましてありがとうございました。2013年以降薬やガイドラインの変更が多く更新が追いつかず、また分かりやすい資料がなく困っておりました。外来でお会いする重心の子は脳の器質的に難治性てんかんの方が多いと感じており、もっと勉強していきたいので今後ともご教授いただけますと幸いです。

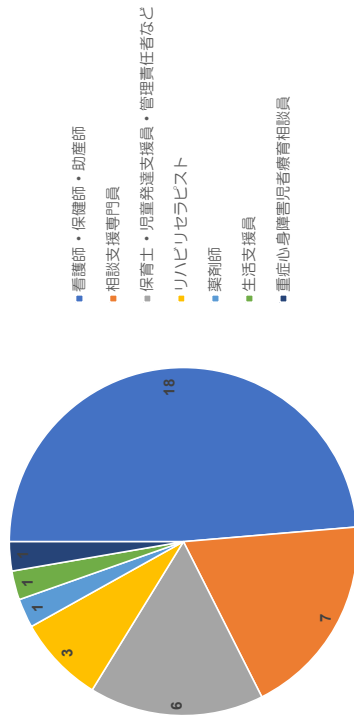
プレイリーダーによる在宅療養の子どもへの遊び支援（アンケート記載者37人）

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所（児童発達支援センター・放課後デイなど）	リハビリセラピスト	1	11
	看護師・保健師・助産師	4	
	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	6	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	1	9
	看護師・保健師・助産師	8	
相談支援事業所・相談支援センターなど	重症心身障害児者療育相談員	1	8
	相談支援専門員	7	
入所支援事業所（障害児者入所支援、医療型、福祉型含む）	看護師・保健師・助産師	1	2
	生活支援員	1	
市役所	看護師・保健師・助産師	2	2
	リハビリセラピスト	1	
病院	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護協会	1	
行政	看護師・保健師・助産師	1	1
	調剤薬局	1	
保育園	看護師・保健師・助産師	1	1
	保育園	1	

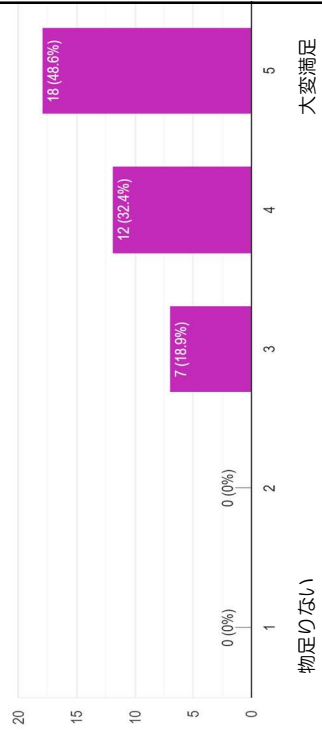
職場内訳（人数）



職種別（人数）



講義の内容について一番近い感想を教えてください。
37件の回答



「プレイリーダーによる在宅療養の子どもへの遊び支援」視聴後の感想

<p>講義の中にあつた声は出ないけど歌が好きな子について、もう少し具体的な話が聞きたいと思いました。</p>
<p>遊びは現在勤めている施設では必須のアイデアだったのでぜひ参考にさせていただきたいと思っています。ありがとうございました。</p>
<p>改めて遊びの重要性がわかりました。</p>
<p>医療面や制度等について理解を深める研修ではなく、今回のような「遊び」についての研修を初めて受講しました。医療的ケア児の担当をさせていただいていますが、つい医療面に目が行ってしまい、「できないこと」ではなく「できること」の視点がぶれてしまいがちだと省みる良い機会になりました。大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
<p>大事な事は遊びの中に入っている。遊びで成長する。とても心に響きました。ありがとうございました。</p>
<p>講義ありがとうございます 改めて、児童の時に楽しい刺激に接して家族のケアにもつながることと思いました。</p>
<p>遊びにより成長、社会との繋がり、親支援にもなる。実感しています。訪問型の児発を導入して、入院中抜管していた子が在宅で遊びによりその行為が無くなり親もきょうだいも一緒に笑顔になる場面を体感しています。参考になる遊びの工夫参考になりました。</p>
<p>たくさんの遊びを紹介してもらい、参考になりました。紙コップと懐中電灯を用いた遊びはすぐにでも実践できそうなので、取り入れてみたいと思います。</p>
<p>遊びについては、訪問中になかなかできないことなのでとても参考になりました。遊んでいる様子を動画で見れたら嬉しいなと思いました</p>
<p>簡単ですぐにお家で実践できそうな遊びがあったり、障害の種類によって遊びが工夫され、とても参考になりました。</p>
<p>成長発達の支援に遊びを取り入れながら…と思いつつも、児の要求するタブレットを観る時間が多くなっていたことに気が付きました。今年は特に、危険予防、清潔に、感染に気を付けるため、傍で声掛けすることも児によっては減っていました。安全には配慮しつつ、児が楽しんで新たな発見ができるような遊びを意識していきたいと思っています。</p>
<p>日頃の保育のためになるアイデアがたくさんつまっておりました。今後の遊びに活かさせて頂きたいと思っています。ありがとうございました。</p>
<p>遊びのもつ力を再確認しました。保育園でも、つい主導的に子どもたちと遊んでしまいましたが、今後は、子どもたちがどう遊ぶのか、どうおもちゃを使うのか、など見守っていきたいと思いました。</p>
<p>このボランティア活動があることを初めての知りました。子ども一人一人に寄り添い、個性性を重視しながら遊びを通じて子どもは楽しみや達成感、充実感など味わえているのだと思えました。相談で関わる子どもたちに相談支援だけではなく、私ができること（遊びの視点を入れた関わり方など）もあるとヒントを頂きました。また、コロナ禍ではありますが、遊びを通じて交流が途切れないようにあればとおもいました。ありがとうございました。</p>
<p>在宅の子どもたちにも良い経験をと考えた時には、良い取り組みと思いました。こうしたことも含め、在宅介護の家族良い時間になると良いと思います。</p>

遊びの具体例をたくさん提示、説明して頂きとても参考になりました。子ども達にとっての遊びの重要性を再確認できました。訪問でも取り入れていきたいと思います。ありがとうございました。

【プレイリーダーについて】

プレイリーダーさん達の思いや工夫、とても感銘を受け勉強になりました。自分も創意工夫をして子供達がより楽しく活動できるように努力していきたいと思います。

プレイリーダーに興味を持ちました。資料は、動画と同じものがあると良かったです。

プレイリーダーの存在を初めて知りました。在宅療養の子ども達は一人一人遊びが違うので、その子に合わせる事が大事であることを学ぶことができました。講義で紹介されたシーツブランコは、私も生活介護事業所で行ったことを思い出しました。

プレイリーダーの存在を初めて知りました。重い病気や障害のある子供達にとっても遊びはとても大切なことですね。素晴らしいお仕事だと思いました。

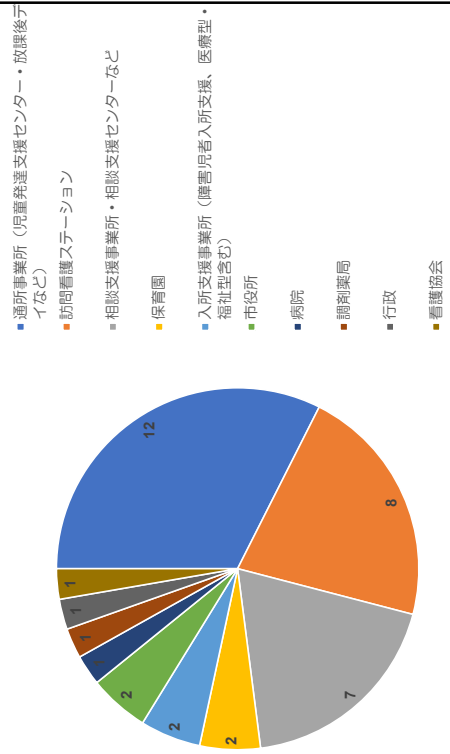
こどもの反応やプレイリーダーさんがどのように関わっているのか実際に遊んでいる映像がみてみたいと思いました

プレイリーダーの講習の存在を初めて知りました。障害のある子供たちと家族に寄り添う尊いお仕事をありがとうございます。自分の子が反応のない自閉症児であった時に、この子は幸せなんだろうか？私たちはなんて不運なんだとどん底の気持ちに陥った時がありました。子供達の小さな感情の動きに親よりも理解を示してくださったり何度も救われたことを思い出しました。

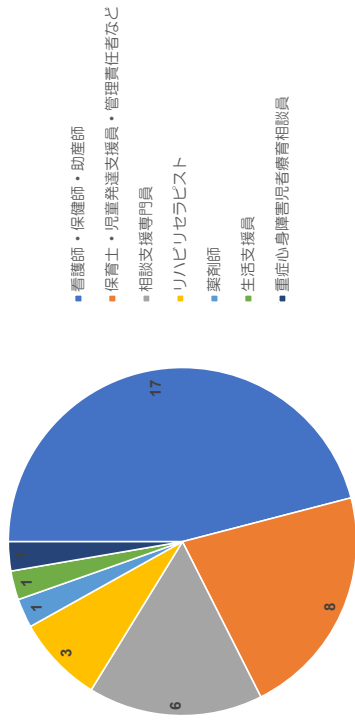
医療型障害児入所施設での日常生活援助と工夫（アンケート記載者37人）

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所（児童発達支援センター・放課後デイなど）	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	8	12
	看護師・保健師・助産師	3	
	リハビリセラピスト	1	
訪問看護ステーション	看護師・保健師・助産師	7	8
	リハビリセラピスト	1	
相談支援事業所・相談センターなど	相談支援専門員	6	7
	重症心身障害児者療育相談員	1	
入所支援事業所（障害児者入所支援、医療型、福祉型含む）	看護師・保健師・助産師	1	2
	生活支援員	1	
保育園	看護師・保健師・助産師	2	2
	看護師・保健師	2	
市役所	リハビリセラピスト	1	1
病院	看護師・保健師・助産師	1	1
看護協会	看護師	1	1
調剤薬局	薬剤師	1	1
行政	看護師・保健師・助産師	1	1

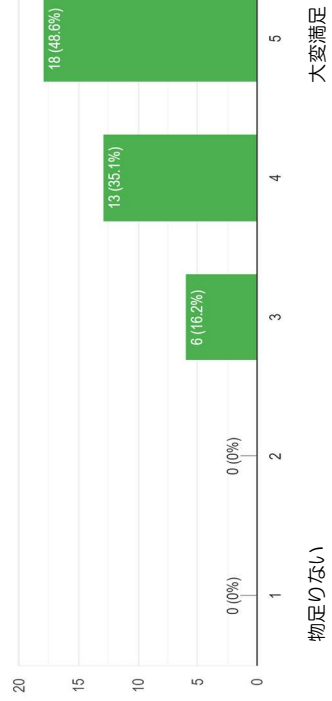
職場内訳（人数）



職種別（人数）



講義の内容について一番近い感想を教えてください。
37件の回答



物足りない

大変満足

「医療型障害児入所施設での日常生活援助と工夫」視聴後の感想

以前カルガモの家の見学をさせていただいたため、広くて明るい環境を思い浮かべながらお話をうかがいました。重度心身障害児の方が多く、ケアすべてに注意を要す状況が想像できます。その中で、お子様のための活動を大事にされ、個別支援も深めている様子は勉強になりました。訪問看護でもレスパイトで日常の一部の時間のケアに当たることがありますが、安全が二の次になるためなかなか活動部分は十分といえません。それぞれのお子さんにとって、楽しめる活動を考えて提案できるキャパシティーも持っていきたいと思いました。

講義ありがとうございます。相談員として、療育の視点が弱いことを学びました。五感を使って、愛着形成、四季など今後、児童に関わるときに意識しながら関わりたいと思いました。

職員さん達の思いや大切にしていることを知り、素晴らしいと感銘を受けました。自分も現場で考え方、活動を計画する上での大切にしていることを取り入れて行って行きたいと思いました。

講義の中の「できないと考えるのではなく、どうしたらできるようになるのか」という言葉は、相談員としても大切にしなければならない視点だと思っています。講義を拝聴し、子供たちの支援に携わらせていただく一人として、大事なことを改めて考える良い機会となりました。どうもありがとうございました。

私だけでなく職場全体で認識を深めていきたい内容だと思いました。ありがとうございました。

多職種との連携、意思疎通は重要だと思いました。今後は、お互いに話すことや情報共有することで、歩み寄れるようになりたい…と思いました。

支援の経験がないので、お顔を隠して良いので、ケアの様子の写真か、イラストなどあるとイメージしやすかったと思いました。

我が子は埼玉医大には通院しているものの、カルガモの家は利用者に該当しない障害児なのでどのような取り組みをしておられるのか教えて頂けてよかったです。このご時世難しいと存じますがいつか見学などさせていただいたら嬉しいです。いつも他職種連携に薬剤師がなくて寂しいです。

カルガモの開設から現在までの取組みを聴けて良かったです。医療型入所施設はどうしても医療度の高い子どもが占めているため、活動より医療が優先され、ベットで過ごす事が多い中「生活している」と考え方を変える事で全スタッフとの連携を図る。多職種との道のり時間がかかるが出来ないことではない。良かったです！

遊びを工夫して、子供達の反応を大切に頑張って行けたらと思いました。いつも子ども達をありがとうございます。

レスパイトなどで利用している子もおり、どのようなケアや療育活動が行われているのかがわかり参考になった。ご家族が安心して預ける事ができる場だと動画を見てさらに実感した。

援助の注意点、ありがとうございました。

療育としての活動で大事にしていることの項目で、「野球なんて難しくて遊べない」と思うのではなく、「どうしたら野球が出来るのか？」という視点を持つことがとても勉強になりました。

多職種で連携を取り、障害の部分ではなくお子さんの成長にも目を向けた取り組み、大変勉強になりました。ありがとうございました。

様々な状態の児がいる中で、遊びを工夫し、それぞれが遊びに参加できることが重要だと思った。野球の例が大変参考になった。ありがとうございました。

多職種連携を図る際の情報共有や伝え方など、参考になりました。各専門職が子どもたちとの関わり方で共有する大切さや職域を越えての支援の意味、簡単なようで難しい時もありますので参考になりました。支援の中心には子供がいること、とても大切です。また、家族の存在も。ありがとうございました。

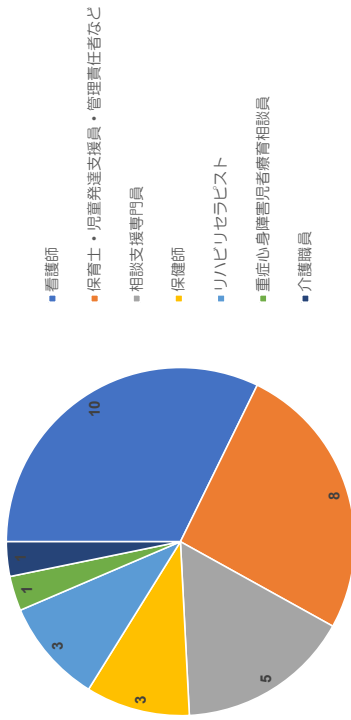
重症児で反応がわかりづらい児に対して、自分の接し方に自信がありません。講義内にあったポイントに沿って、(特に、子供の立場になって気持ちを想像して代弁する)ケアにあたりたいと思いました。

通所施設として、様々な活動をしています。和紙の感覚遊びはしたことなかったので取り入れてみたいと思いました。当事業所ができて4年目です。「1. 2年は業務で1日が終わった」という話をうかがって、これから当事業所もスタッフが定着してくれるとちょっと有意義な時間を過ごせるようになるのかなと期待できるような言葉を聞くことができました。

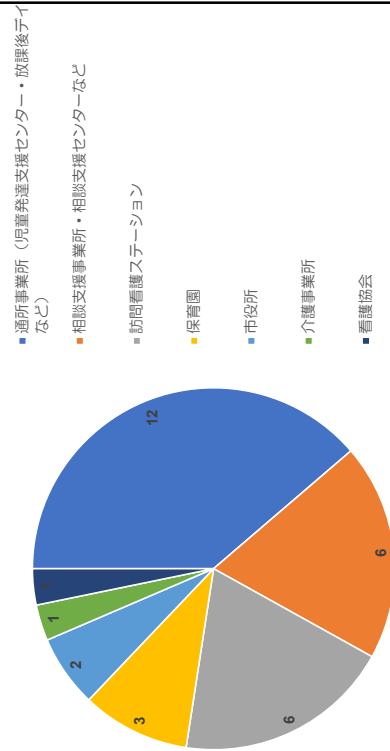
経管栄養の基礎知識 (アンケート記載者31人)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	7	12
	看護師	3	
相談支援センターなど	リハビリセラピスト	2	5
	相談支援専門員	5	
	重症心身障害児者療育相談員	1	
訪問看護ステーション	看護師	5	6
	リハビリセラピスト	1	
保育園	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	1	3
	保健師	1	
	看護師	1	
市役所	保健師	2	2
	介護職員	1	
通所事業所 看護協会	介護職員	1	1
	看護師	1	

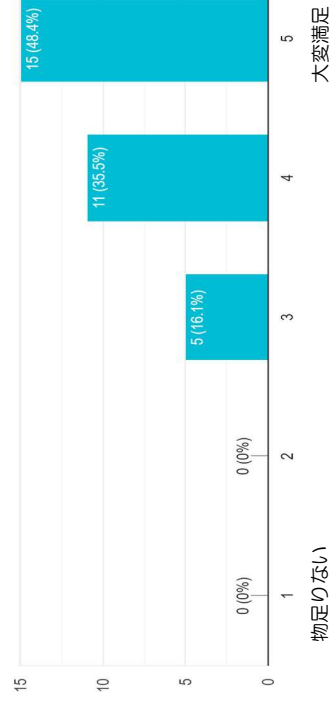
職種別 (人数)



職場内訳 (人数)



講義の内容について一番近い感想を教えてください。
31件の回答



「経管栄養の基礎知識」視聴後の感想

これまで経管栄養のお子さんの相談支援を行った際、お子さんがご家族と一緒に食事をされているかの視点が欠けていたことに、奈須先生の「孤食にしないで」のお言葉で気付くことができました。大変勉強になりました。どうもありがとうございました。

胃ろうトラブルのケアに追われてなかなかミキサー食に踏み切れない親御さんに「楽しい食事」についてまた伝えていきたいと思います。有り難うございました。

奈須先生ありがとうございます 経管栄養の生活で家族の支援が必要で大変さを感じました もっと家族の苦労を労ろうとおもいます

資料も細かく記載して頂き、講義も大変わかりやすく理解できました。経管栄養のお子様や大人の方、とかく施設では、雰囲気味わって感じでもらう配慮を下さるところもありますが、最後の「孤食」、今一度相談員として、施設利用時など訪問時等に確認したいと思いました。御本人の配慮として対応して下さってる場合もありますが、食事の目的を見極めかつその他の支援も仕事（業務）的になってないかなど確認したいと思いました。ありがとうございました。

孤食にしないで一緒に食べよう！ 全くその通りです。ほとんどの経管、胃瘻の児者は、一人で注入されている状況です。家庭訪問にて、伝えていかなければと実感しました。

基礎知識から細かい具体的なお話しまで聞けて大変勉強になりました。ありがとうございます。

最後の楽しく食事を 孤食にしないで。というフレーズが印象に残ってます。どの子にとっても大切なことに思いました。

経口摂取と経管栄養の併用では、嚥下障害の程度によって、摂取方法が異なることを学びました。また、口から食べることは「人生の楽しみ」「機能の維持向上」などの意味があることを再認識することが出来ました。栄養を摂るのは身体と心の健康の為に、「評価される・労をねぎらう・成功する」などもエネルギー源になるとのことで、その通りだと思いました。「孤食にしないで！一緒に食べよう！」を忘れない様にしたいです。

具体的な資料と説明で参考になりました。

エンシェアなどの経管栄養での 長期単剤使用によるかたよりの話しには驚きました。栄養でもそれぞれこんなに違いがあるということが、細かく栄養素の名前、その栄養素の役割まで説明があり、勉強になりました。胃残はヘルパーは引けないのですが、大変勉強になりました。

なかなか機会がなかったので、学ぶことができました。ありがとうございました。

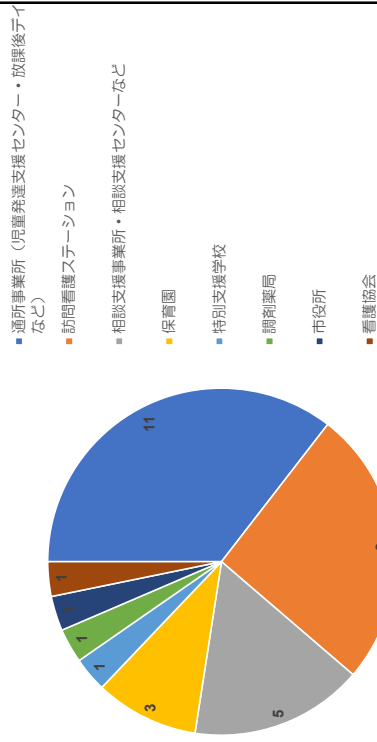
専門的な内容が多かったですが参考になりました。ありがとうございました。

とてもわかりやすく解説していただきました。経管や胃ろうであっても、楽しく摂取できるように声掛けや雰囲気工夫を、心がけたいと思いました。

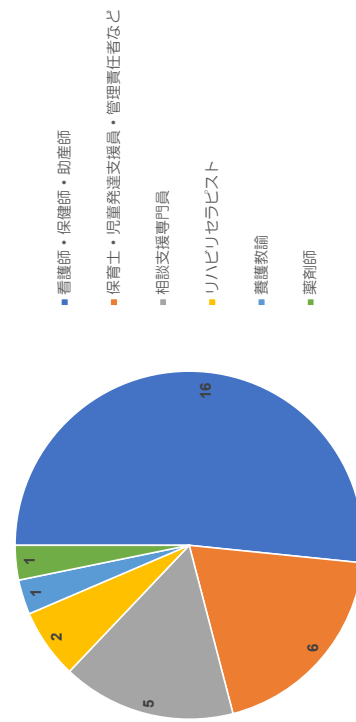
摂食・嚥下のケア (アンケート記載者31人)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	5	11
	看護師・保健師・助産師	5	
	リハビリセラピスト	1	
訪問看護ステーション	看護師・保健師・助産師	7	8
	リハビリセラピスト	1	
相談支援事業所・相談支援センターなど	相談支援専門員	5	5
	看護師・保健師・助産師	2	
保育園	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	1	3
	看護師	2	
特別支援学校	養護教諭	1	1
認知症ケアセンター	薬剤師	1	1
市役所	看護師・保健師・助産師	1	1
看護協会	看護師・保健師・助産師	1	1

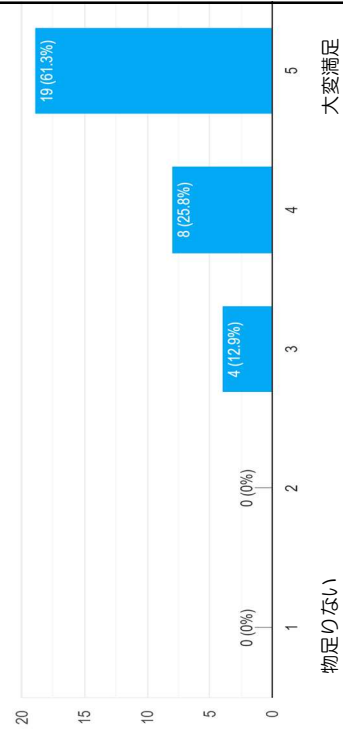
職場内訳 (人数)



職種別 (人数)



講義の内容について一番近い感想を教えてください。
31件の回答



物足りない

大変満足

「摂食・嚥下のケア」視聴後の感想

【わかりやすかった】
「在宅での摂食嚥下のリスク管理」の説明で、経口摂取をする際に留意しないといけないことについて、クイズ方式でとても分かりやすかったです。
音声がよく聞こえました。分かりやすかったです。
言語聴覚士の講師の研修は初めてで、大変分かりやすく勉強になりました。
食事の段階や誤嚥について目安をわかりやすく示してくださり、わかりにくいところをQ & Aのような形で説明してくださったのも大変分かりやすかったです。薬局でとろみ剤を売ることがありますが、説得力を持っておすすめできるなと感じました。ありがとうございました。
わかりやすい講義でした。ありがとうございました。
【その他】
特別支援学校の職員にも見てもらいたいと思いました。
摂食に悩みのあるお子さんを持つ親御さんがいるため、とても参考になりました。ありがとうございました。
今まで便秘には下剤や浣腸での対応、貧血は内服薬での治療にと頼っていましたが、栄養剤以外の不足したものの修正で改善することもあるのではと考えて対応していませんでした。改めて評価しなおしたいと思います。また、知的に障害があったり自閉症のお子さんでも摂食障害が生じると、何故食べないのかと考えてしまいがちでしたが、「育ちには栄養は必要である、よって経口摂取と経管栄養の併用でも」と認識し直しました。「胃ろうだから、経管栄養だから学校では対応できません」、という環境が社会的不利です、という言葉に今現在困っている母たちの言葉が重なりました。今はかなり社会が変わってきているのではと思います。それでも、経管から胃ろうになった時は付き添いが必要であったり、また活発なお子さんですが経管栄養のみが必要であると保育所や普通学級では対応が検討されているなどお母さん方は困惑されています。双方が安心して応じてもらえるにはどうすればいいのか、意見するのみでなく実際を知っていかなければならないと感じています。栄養と食事について改めて考えることができ大変勉強になりました。
大変参考になりました。ありがとうございました。
その子の様々な状態を配慮しながらのケアの重要性を学ぶことができました。ありがとうございました
はじめの内容は、難しい内容でしたが、経管栄養について知ることができました。ご本人やご家族がこうして日々生活していることも知ることができました。これからは今回の研修で学んだことを忘れずにどのような生活を送っていて、どのような生活を望まれているかを、丁寧にお話しを伺いたいと思います。ありがとうございました。

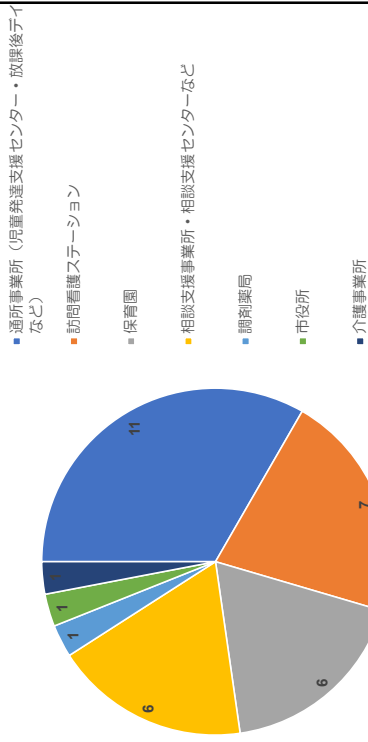
高齢者看護の感覚で、咽る＝誤嚥リスクがあるので嚥下は困難と考えがちですが、小児の方々は小さいころから継続して経口摂取をしていることも多く、リスクばかりにとらわれずに正しい評価と経口摂取の継続のための工夫（姿勢や形態）をしていかなければならないと思いました。ご両親は、経口摂取ができることや召し上がる様子に対し喜ばれています。安全に継続できるよう、地域の歯科医の先生方とも連携していきたいと思います。また、具体的なご利用者のお母さんからの質問内容については、わかりやすく勉強になりました。

嚥下等に関して、基礎知識を改めて学べかつ保護者の方への質問が出た時、的確に説明する際のヒントを沢山頂きました。ありがとうございました。

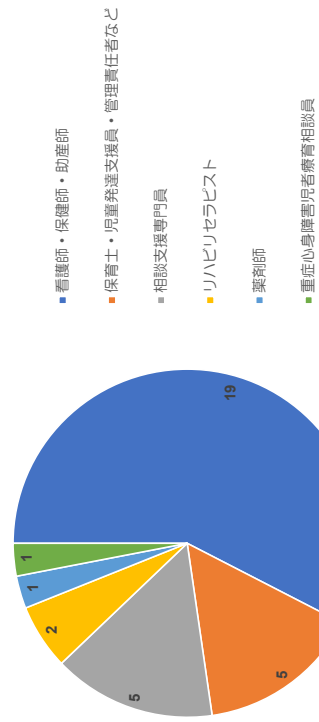
胃痙について (アンケート記載者33人)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	4	11
	看護師・保健師・助産師	6	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	1	7
	看護師・保健師・助産師	6	
相談支援事業所・相談支援センターなど	リハビリセラピスト	1	6
	相談支援専門員	5	
保育園	重症心身障害児者療育相談員	1	5
	看護師・保健師・助産師	4	
保健所	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	1	1
	看護師・保健師・助産師	1	
調剤薬局	薬剤師	1	1
市役所	看護師・保健師・助産師	1	1
介護事業所	看護師・保健師・助産師	1	1

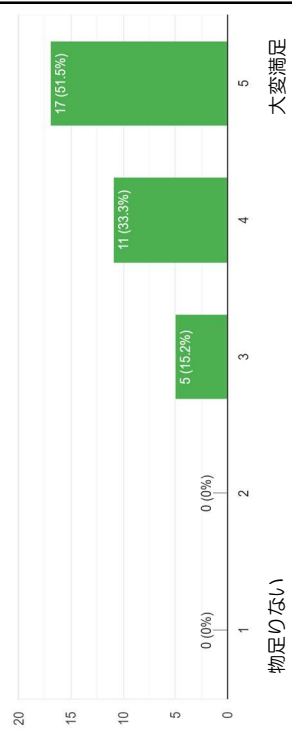
職場内訳 (人数)



職種別 (人数)



講義の内容について一番近い感想を教えてください。
33件の回答



「胃ろうについて」視聴後の感想

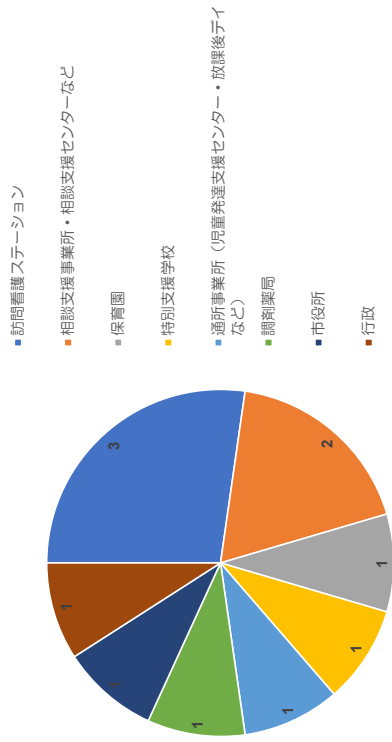
【映像があってよかった】
映像があり素人（保育士）なのでイメージがつかえました。
胃瘻造設の動画を初めて視聴することが出来て、造設される迄の過程がとても良く分かりました。手術の様子はなかなか見ることは出来ないもので、とても勉強になりました。また、胃瘻を日常管理するには、日々、留意しないといけないことが様々あり、とても大変だと思いました。
動画による説明があり、理解が深まりました。ありがとうございました。
胃ろう増設までの流れや、ニッセン法が絵のみで今までどうなっているのだろうと疑問だったことが、映像があることでよく理解できました。小児の場合、鼻胃チューブから胃ろうへ変更する要件についても先生のご意見を伺いたいと思いました。
どのように胃ろうが作られるかは全くわからなかったので手術の動画まで拝見できて勉強になりました。逆流の定義も初めて知りました。薬剤師としては肉芽のケアや軟膏の使い分けなどご教授頂く機会があったら嬉しいです。
【その他】
専門的な知識が多かったですが、胃瘻のお子さんがクラスにいるため、とても参考になりました。ありがとうございました。
胃ろうのトラブルについて勉強になりました。又、肉芽の写真も参考になりました。
今回 福祉職で、普段胃瘻等のお子様も担当させて頂いてますが、改めて貴重な映像を拝見することができました。トラブルのポイントなども理解できました。早期発見者は、保護者や介護職だと思いますので、直ぐに医療と連携できればと思います。ありがとうございました。
病院勤務時にしか胃ろう患者を見たことがありません。保育園で胃ろう患者が入園してきたときには、今回の講義の内容を思い出し、医療的ケアをしていけたら、と思いました。
胃瘻の方への直接支援をしたことがないので知らないことばかりでした。ゆっくりと講義していただき良かったです。ありがとうございました。

気切について (アンケート記載者11人)

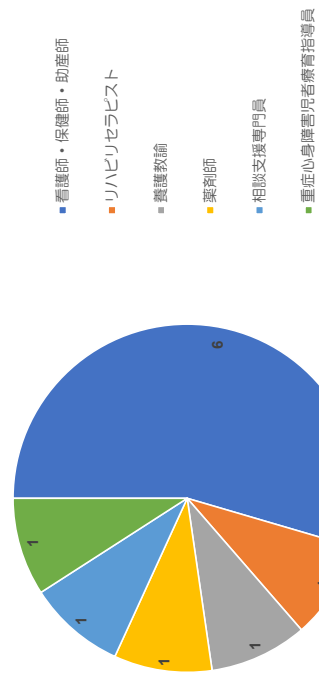
勤務先	職種	人数	合計
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	1	3
	看護師・保健師・助産師	2	
相談支援事業所・相談支援センターなど	重症心身障害児者療育指導員	1	2
	相談支援専門員	1	
通所事業所（児童発達支援センター・放課後デイなど）	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師・保健師・助産師	1	
保育園	看護師・保健師	1	1
	養護教諭	1	
特別支援学校	看護師・保健師	1	1
	看護師・保健師	1	
市役所	看護師・保健師	1	1
	看護師・保健師	1	
行政	看護師・保健師	1	1
	薬剤師	1	
調剤薬局	薬剤師	1	1

【視聴人数が少ない原因について】
視聴期間は他の講義と同様1か月あったが、事前開催の小児実技講習会でも同じ動画を配信したため、そちらを視聴した人が多いと思われる。

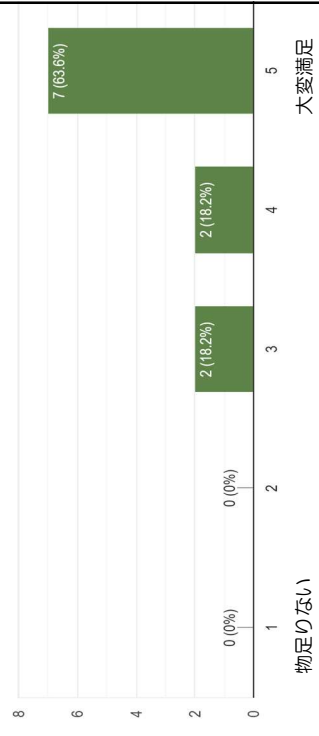
職場内訳（人数）



職種別（人数）



講義の内容について一番近い感想を教えてください。
11件の回答



「気管切開について」視聴後の感想

養護教諭の立場では、学ぶことがありません。資料もとても分かりやすかったです。特別支援学校養護教諭皆さんに学んでほしいです。

気管カニューレは、カフや吸引チューブの部品毎に役割がそれぞれあることを理解することが出来ました。呼吸をする際、乾いた空気が鼻を通らず、直接気管に入ることによって、適度に加湿されない為、内腔が乾燥してしまうことを知り、とても勉強になりました。

解剖から説明してくださり、肉芽などのトラブル対処まで、とても参考になりました。

相談支援として医ケア児や重症心身障害児者と接しているので、基礎を分かりやすく説明して頂きました。なかなか医療の基礎を知る機会がなかったので、良かったです。

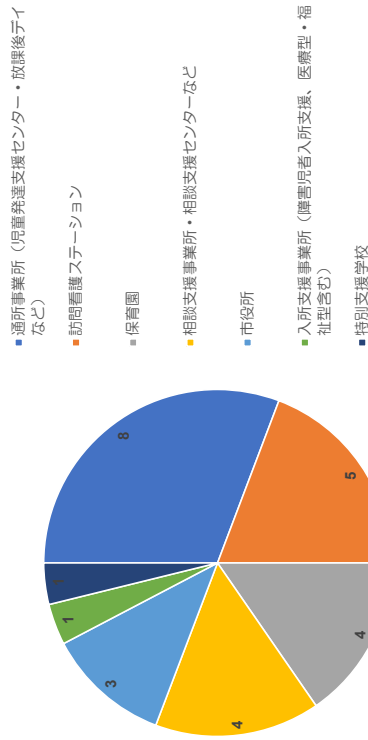
以前担当していた女兒の、気管切開の詳しい状態や注意点がよくわかりました。もっと早く知りたかったです。

気管切開やカニューレのことを解剖と機能形態、術式やカニューレそのもののメリット・デメリットや実情など分かりやすく解説して頂き勉強になりました。あらゆる構造について詳しく載っている資料もなく、勉強の仕方も分からなかったので、今後自学することにも役立てさせていただきます。ありがとうございました。

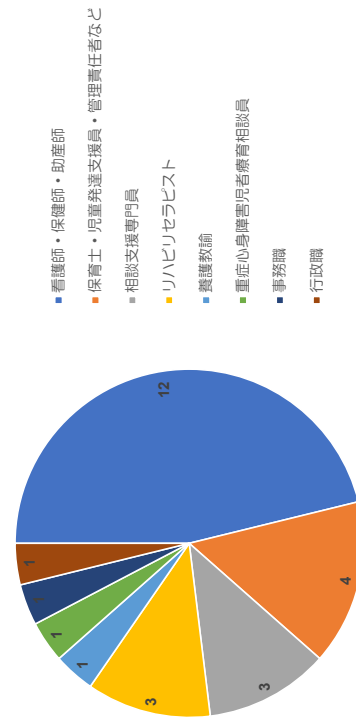
医ケア児受け入れ保育園の取り組み (アンケート記載者26人)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	3	8
	看護師・保健師・助産師	3	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	2	5
	看護師・保健師・助産師	4	
保育園	リハビリセラピスト	1	4
	看護師・保健師・助産師	3	
相談支援事業所・相談支援センターなど	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	1	4
	相談支援専門員	3	
市役所	重症心身障害児者療育相談員	1	1
	看護師・保健師・助産師	1	
入所支援事業所 (障害児者入所支援、医療型・福祉型含む)	事務職	1	1
	行政職	1	
特別支援学校	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護教諭	1	

職場内訳 (人数)

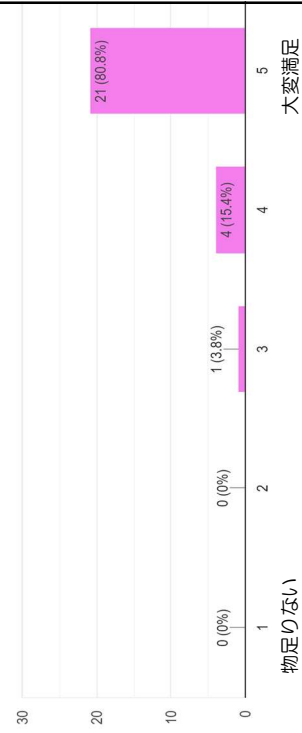


職種別 (人数)



講義の内容について一番近い感想を教えてください。

26件の回答



「医ケア児受け入れ保育園の取り組み」

保育士として、医ケアのお子さんを受け入れる保育体制が整っていない難しさもあり、とても考えさせられました。

完全に母子分離で預けることが出来なくでも、親子で通える場所が増えて欲しいです。

貴重なお話をありがとうございました。医ケア児の受け入れには、ものすごい厚い壁があります。私のところは、公立園だからか、医ケア児の入園決定には看護師介入はありません。ちょっと様子見る機会があれば良い方です。入園決定に際して意見などできません。園長や事務方さんたちが抱く漠然とした不安や心配だけで入園できていないのが現状です。貴園の取り組みを、ぜひ園長たちや事務方さんにきいてもらいたいです。

医療的ケア児が保育園に行けるのはとても素敵なことと思いました。また保育中に看護師が気をつけていることや、保育スタッフが感じていることの実感が詳しくわかりました。地域にもこのような保育園ができることを願います。

とても興味深い内容でした。ありがとうございました。

さいたま市ではまだ少ない医ケア児受け入れの保育園で大変参考になりました。他の園児と一緒に生活し、行事にも参加できとても素晴らしいと感じました。ありがとうございました。

保育園側から、市へ相談され受け入れを始められたとのこと。素晴らしいなと思いました。医ケアが終了後のことは、知らないことでしたので、地域でも考えていきたいと思えます。ありがとうございましたありがとうございます

今回の講義は、これから地域で医療的ケア児にどう向き合うかという姿勢の参考になりました。気持ちの中ではインクルーシブ教育（保育）は賛成していながらも、地域課題として提案していくと、人、金、物（環境）、そして知識など様々な条件を提示され進まない、理解はしてくれても実践できない状況です。志のある人がいるから出来るというような感じです。今回の実践事例を参考に、相談支援として考えられることなど引き続き地域課題として捉え、提案していきたいと思えます。ありがとうございました。

医療的ケア児の受け入れの際、保育士にとって不安や戸惑いは必然なことかと思えます。現場の保育士さんが何度も研修を重ねることで知識も広がり、不安も和らいでいく様子が感じ取れました。行政・他機関・保護者・現場の看護師・保育士の連携により、医療的ケア児が集団の中で成長していくことの大切さを実践から感じ取れました。色々と学ぶ点が多かったです。ありがとうございました。

ありがとうございました。職場は保育園ではありませんが、医療的ケア児を受け入れ、半日ではありますが保育をしているので、保育の中での看護師の役割や立ち位置など大変参考になりました。また、必要書類や保護者との確認事項など参考にさせていただきます。現在の職場に異動してから、手探りでやってきましたが、足りないところはあるにせよ、受け入れの方向性はだいたい同じだったので安心できた部分もありました。今回の動画を参考に、医療的ケア児や保護者の力に少しでもなれるよう、がんばっていこうと思いました。

障害や医療的ケアの有無に関わらず、子ども中心の支援を行っていく必要があるという理念にまず共感しました。保育士がどの様にして医療的ケア児を受け入れていったのがとても良く分かりました。安全管理マニュアルには、予測される危険とその対応策が簡潔にまとめてあり、保育士にとってなくてはならない物ではないかと思いました。事例紹介では、Aちゃんが保育園を利用することにより、本人だけでなく他児の成長にも繋がったのはとても素晴らしい相乗効果だと思います。

医療的ケア児受け入れを目的にした保育園の開設は、前例少ない中多大なご苦労だったのだろうと思います。看護師視点でとらえがちな見方のみでなく保育の専門の方々と一緒に関われる事の広がりもあり、通園するお子さんにとってとても素晴らしい環境だなと思いました。支援する側も、保育・看護と連携や、お互いが研修を重ねている実績は勉強になりました。実際、経口摂取が進まなかったお子さんが保育所に通うようになり、他の児とともに「おかわり」をするようになったり、言葉が出なくてもお友達と遊んだり子どもの可能性は環境で更に大きくなることをお子さんから教えてもらったことがあります。医療的ケア児の法律ができて、環境が整わないと受け入れてもらえない状況の中、素晴らしい保育園の実際を見せていただきありがとうございました。

私も一緒に働かせて下さい！と思いました。自宅近くに、医ケアを受け入れられる保育園はありません。子供達にとって色々な経験が出来る場所がもっと増えて欲しいです。そして、私も20年の小児看護経験をいかして、働きたいです。

丁寧な準備と対応をお聞きし、当事業所でもいろいろ書類等も整えていきたいと思います。ありがとうございました。

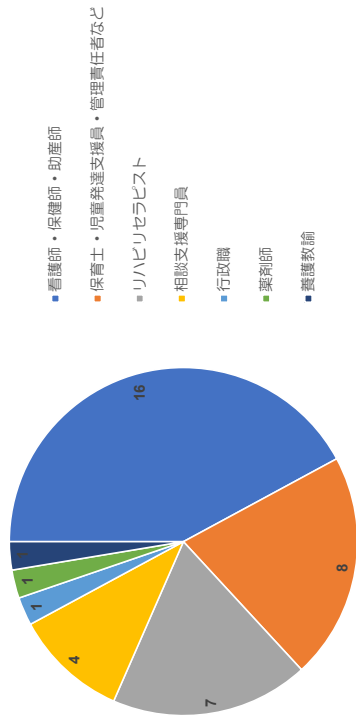
今年度から、医療的ケア児の受け入れをしている公立保育所のある自治体の保育園看護師をしています。様々な書式が参考になりました。個々の安全管理マニュアルというものが、自分の自治体にはないので取り入れた方が良いなと思いました。実際の年齢ではなく、発達段階に合ったクラスで過ごすなど柔軟な対応だと思いました。危険などを考えると、その方が良いと思うのでそうしたいですが、公立保育所だと加配保育士の兼ね合いで難しそうだなと感じました。

運動発達 (アンケート記載者38人)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	7	15
	看護師・保健師・助産師	4	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	4	8
	看護師・保健師・助産師	6	
相談支援事業所・相談支援センターなど	リハビリセラピスト	2	4
	相談支援専門員	4	
保育園	看護師・保健師・助産師	2	3
	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	1	
病院	リハビリセラピスト	1	2
	看護師・保健師・助産師	1	
行政	看護師・保健師・助産師	1	2
	行政職	1	
特別支援学校	養護教諭	1	1
調剤薬局	薬剤師	1	1
市役所	看護師・保健師・助産師	1	1
看護協会	看護師・保健師・助産師	1	1

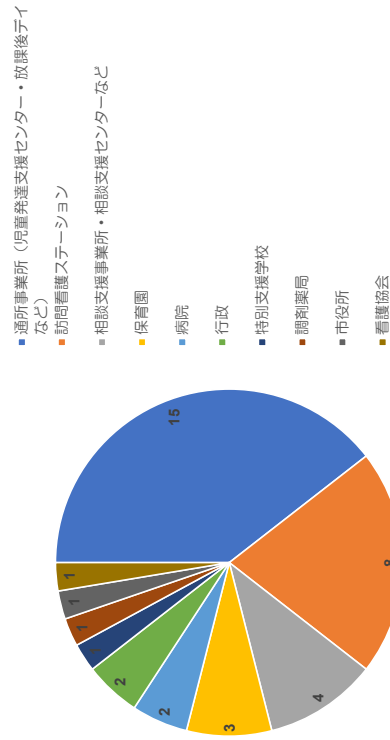
1

職種別 (人数)



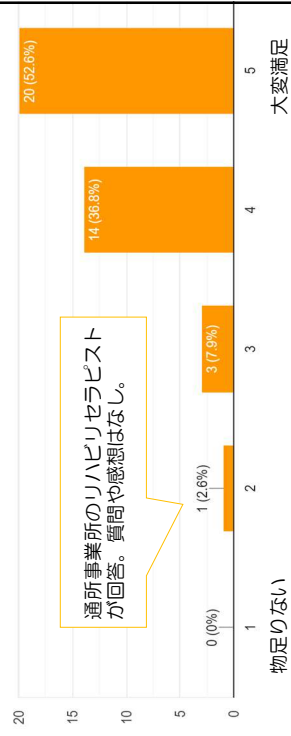
3

職場内訳 (人数)



2

講義の内容について一番近い感想を教えてください。
38件の回答



4

小児リハビリプログラム「運動発達」視聴後の感想

丁寧にお話し頂きありがとうございました。機会があれば、低出生体重児の発達について具体的にお話を聞きたいです。

定型発達の土台が分かりやすく、促しについても改めて学びました。

動画がわかりやすかったのですが、かなり重くて止まってしまい、見づらくなってしまいました。とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。

小児の成長発達は、成長過程を理解し順序だてた促しが必要と理解することができました。児が発達に対し、すごいね・良かったねと結果のみを見ていましたが、今がどのキーエイジなのか・粗大運動発達・巧緻運動発達・精神言語発達はそれぞれどうか、ばらつきはないのかなどの視点で確認していきたいと思います。また、特に印象に残っているのは、家族と一緒に声掛けや表現することで、子供は喜怒哀楽を表現できるようになり、感情の豊かさや人の表情から読み解く力を持つことができるようになるという内容です。子供の成長発達は児によってはあつという間ですが、大事な時期に意識して関わっていききたいと思いました。

職場の通所児のことを想定しながら視聴しました。乳児期のお子さんはいないのですが、肢体不自由児や重心児がいるので、発達段階としては乳児期程度の児が多いです。講義を参考に、遊びの中に発達を促す関わりを取り入れていきたいと思いました。

子育てでの振り返りや日頃のお子様との関わりの中で特に意識しないで理解していたつもりでしたが、改めて講義をしっかりと受けると子どもの発達の中での促し方や方法を理解することができました。また、保護者と話す時のヒントを頂くことが出来ました。実践の動画も良かったです。ありがとうございました。

発達に関しての概要を簡潔にまとめていただき、改めて整理できました。基本的な発達を把握した上で支援をしていくことが大切だと思いました。

重心児の子供達がPT受診をし、こんな風にリハビリしてきましたと母より話は聴いていましたが、実際に病院でどの様に受けているのかよく分かりました。

0歳児の保育に入ることが多いのでとても参考になった。次年度に向けて、保育士にも共有していきたい。

ちょうど自分の子が扁平足で、つかまり立ちから進まず困っていたので発達過程と立たせ方など分かりやすく実例と交えて考案してくださり分かりやすかったです。

発達の要素から各時期の発達のめやす・発達を促す関わり方がとてもわかりやすかったです。

健康な発達を知ることで発達の障害のある児への支援につなげることができると思いました。

実技の動画があつて良く理解できました。

とても分かりやすくまた現場で活かせる内容でした。最後のリハビリ訓練動画は特に分かりやすく勉強になったので、あのような内容を色々な身体の動きの訓練動画をもっと沢山見たいです。

映像を交えてのハイハイやつかまり立ちの補助の仕方はわかりやすくとても参考になりました。ありがとうございました

内容がコンパクトにしっかりまとまっていたのと実技編もあって良かったです。

実技動画、参考になりました。

「粗大運動発達」「巧緻運動発達」「精神言語発達」それぞれの発達は、促す方法が時期によって異なることを学びました。また実技編では、赤ちゃんの人形を使って、実際のやり方を実践してくれたので、前半の講義の理解度を更に高めることが出来ました。

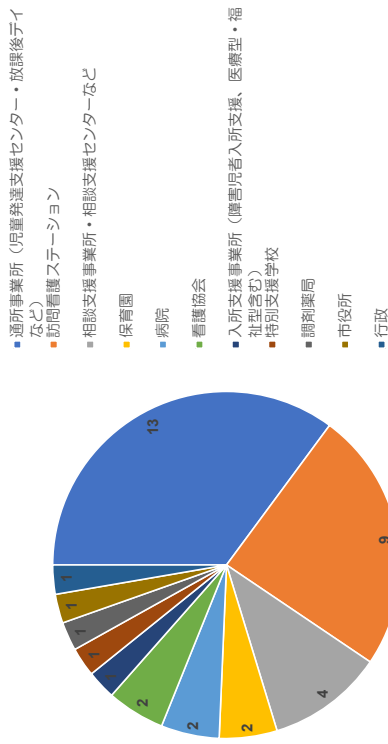
理論的でとても分かりやすかった。満足です。

わかりやすかったです。できればもう少し実技を増やしてほしい。

姿勢とポジショニング (アンケート記載者37人)

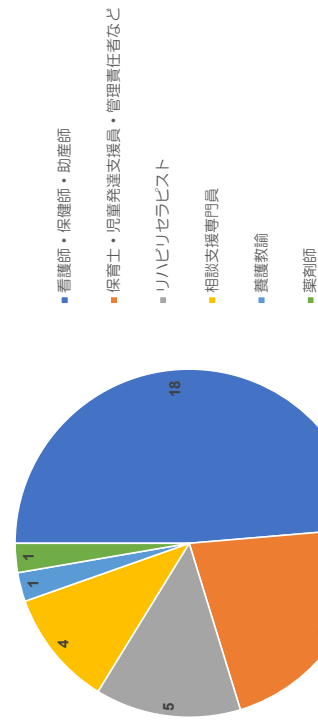
勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	医士・児童発達支援員・管理責任者など	8	13
	看護師・保健師・助産師	4	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	1	9
	看護師・保健師・助産師	6	
相談支援事業所・相談支援センターなど	リハビリセラピスト	3	4
	相談支援専門員	4	
保育園	看護師・保健師・助産師	2	2
	リハビリセラピスト	1	
看護協会	看護師・保健師・助産師	1	2
	看護師・保健師	1	
入所支援事業所 (障害児入所支援、医療型・福祉型含む)	看護師・保健師・助産師	2	2
	看護師・保健師	2	
特別支援学校	看護師・保健師・助産師	1	1
	養護教諭	1	
調剤薬局	薬剤師	1	1
	看護師・保健師・助産師	1	
市役所	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師・保健師	1	
行政	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師・保健師	1	

職場内訳 (人数)



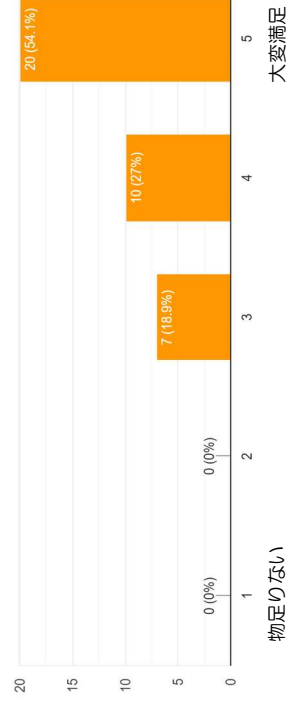
2

職種別 (人数)



3

講義の内容について一番近い感想を教えてください。
37件の回答



大変満足

4

小児リハビリプログラム「姿勢とポジショニング」視聴後の感想

姿勢について、職場で実践しながら学んでいたが、机上で動画や説明をしっかりと聞くことで納得できたことが多かったのでとても活用できる講義だと思いました。ありがとうございました。

非常にわかりやすい内容で勉強になりました。動画の部分は特に分かりやすかったので、動画での実践動画を増やしてほしいと思いました。

知的障害特別支援学校の職員にも見てほしいです。

姿勢保持の実際が分かりやすかったです。

人や人形を使いとてもわかりやすかったです。ありがとうございました

実技動画が参考になりました。

実際のポジショニングや姿勢変換の際のポイントがまとまっていて良かったです。

聞き逃しや見逃した時に何度も繰り返し聞いたり見たりできてよかったです。

話し方もわかりやすく、講義の長さも短かったが、**しっかりと要点がまとまっており**非常に分かりやすかったです。

ぴったりはまる、落ち着くポジショニングを見つけるのに、すごく苦労した覚えがあります。今回の講義のポイントを参考に、今後実践してみたいと思います。

脳性まひのお子様の訪問時のポジショニングはいつも難しいと感じています。母たちのように確実な安定したポジショニングができずに、いつも謝りながらという状況です。ひとつ、つっぱり君はでっぱり側からという鉄則は勉強になりました。抱き上げも、誤嚥予防と発達の理にかなっている横向きを経由して、ということも確認できてよかったです。

つっぱり君とゆるゆる君の解説がとてもわかりやすかったです。

圧のかかり方を数字で見ること、イメージしやすかったです。ただ支えるだけでなく、ご本人が動きやすい姿勢であることも考えご本人にあったポジショニングを行うことが大切であることもわかりました。ありがとうございました。

日頃からお子様の介護や関わりの中で、当たり前に行っている動作に対して、お子様の状況により適切なポイントを捉え、アドバイス出来る学びになりました。保護者の方の大半は理解していると認識していますが、稀に自己流や自己感覚で行う介護者もいます。適切に伝えられるよう今後も知識高めていきたいです。ありがとうございました。

資料もとてもわかりやすかったです。

各姿勢のメリットとデメリットを再確認できました。また、身体の各部位ごとの体重比率は介助する上でとても参考になりました。各姿勢ごとに、どの様にクッションを入れれば良いか理解することが出来たので、今後の支援に活かしたいと思います。

図が多くてわかりやすかったです。実技をもう少し増やしてほしいです。

ポジショニングについて基本も何も分かっていなかったので動画で分かりやすく解説していただけてありがたかったです。薬剤師なのでなかなか直接患者さんに触れることは出来ませんが、自分の息子が低緊張なのでサポートしてあげたいと思います。

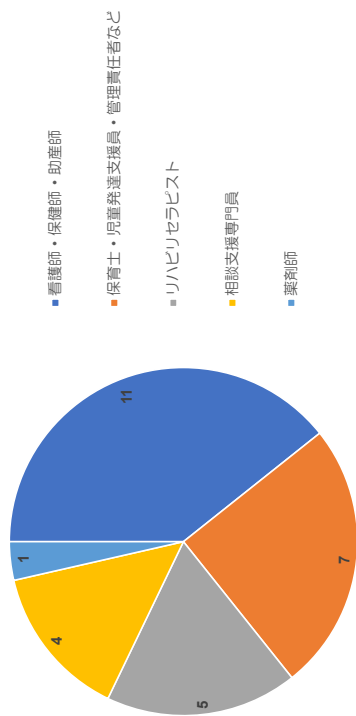
とても具体的で分かりやすかったです。一つ一つ理由が明確に説明されていたので、すんなり理解できました。

補装具と日常生活用具 (アンケート記載者28人)

勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	7	12
	看護師・保健師・助産師	3	
訪問看護ステーション	リハビリセラピスト	2	7
	看護師・保健師・助産師	4	
相談支援専門員・相談支援センターなど	リハビリセラピスト	3	4
	相談支援専門員	4	
保育園	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師・保健師・助産師	1	
入所支援事業所 (障害児者入所支援、医療型・福祉型含む)	看護師・保健師・助産師	1	1
	薬剤師	1	
市役所	看護師・保健師・助産師	1	1
	看護師・保健師・助産師	1	
看護協会	看護師・保健師・助産師	1	1

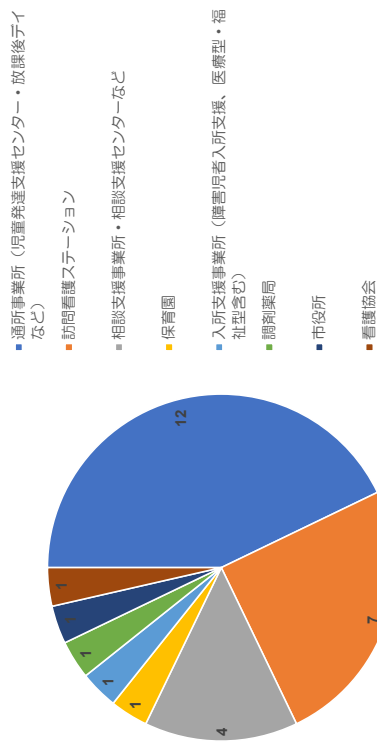
1

職種別 (人数)



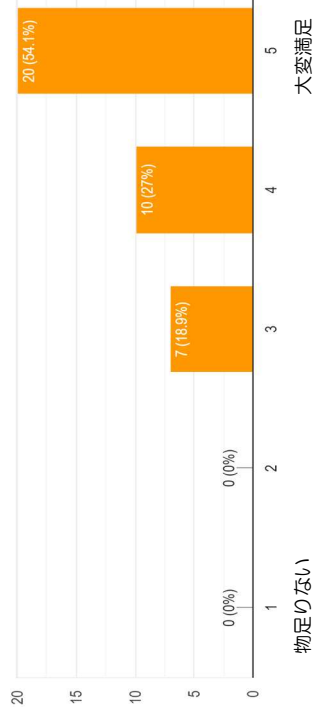
3

職場内訳 (人数)



2

講義の内容について一番近い感想を教えてください。
37件の回答



4

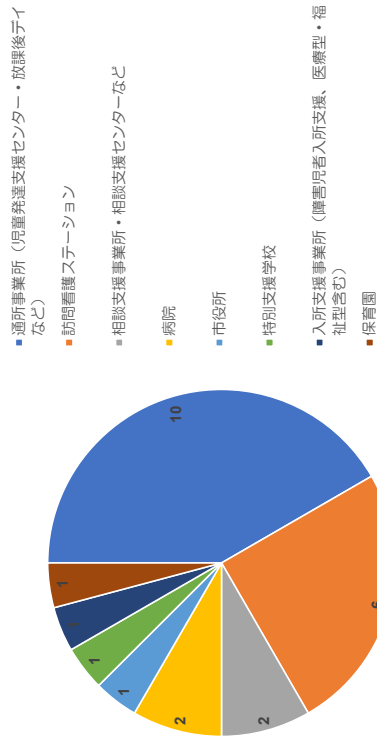
「補装具と日常生活用具」視聴後の感想

実際の画像で見ることで理解が深まりました。
知識が増えました。ありがとうございました。
車いすを使うお子さんと会う機会が少ないので大変勉強になりました。
用語などの説明からしていただけたので、ありがたかったです。ありがとうございました。
補装具と日常生活用具については知識がなく、療育のリハビリの指示を確認する程度でした。もう少し踏み込んで、日常生活にあっているのか、他により良い方法が必要かという視点で観察していきたいと思いました。補助金についての情報先や、情報収集おすすめサイトの情報ありがとうございます。
講義と実技でより詳しく理解することができました。なんの為に必要なのか?!という視点をご家族と共有し、情報提供や検討出来ればと思いました。また、専門職との連携も重要で出来ればと思いました。ありがとうございました。
治療用装具と補装具の違いを理解することが出来ました。補装具を利用することにより、ADLが拡大し、QOLの向上に繋がっていることを再確認しました。ケーススタディでは、自分が当事者として、どの様な補装具が必要か考えることが出来てとても良かったです。
職場にPTがいるので、補装具等はお任せであったが、知識として知っておかなければと感じていた。制度や使用方法など知ることができよかった。
動画があってわかりやすかったです。
自分の子がつっぱってなかなか歩けないため装具は興味がありましたが、繋がる先がないためなかなか身近でありませんでしたのでとても勉強になりました。薬局にきてくださる患者さんの装具やバギーに注目してみたいと思います。
とても分かり易かったです。表や写真も見やすかったです。
実践の映像わかりやすかったです。
分かりやすかったです。
確認すべきポイントがわかりやすかったです。

遊びと発達・家族の支援 (アンケート記載者24人)

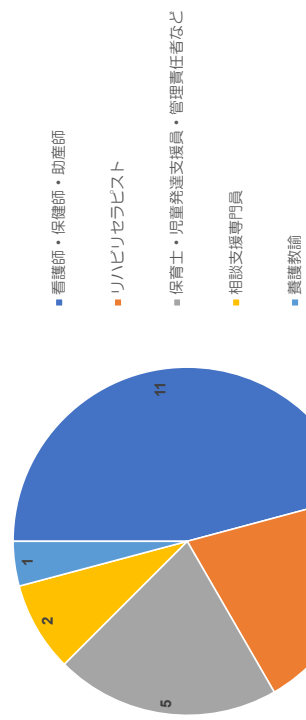
勤務先	職種	人数	合計
通所事業所 (児童発達支援センター・放課後デイなど)	保育士・児童発達支援員・管理責任者など	5	10
	看護師・保健師・助産師	3	
	リハビリセラピスト	2	
訪問看護ステーション	看護師・保健師・助産師	4	6
	リハビリセラピスト	2	
病院	リハビリセラピスト	1	2
	看護師・保健師・助産師	1	
相談支援事業所・相談支援センターなど	相談支援専門員	2	2
特別支援学校	養護教諭	1	1
入所支援事業所 (障害児者入所支援、医療型、医療型・福祉型含む)	看護師・保健師・助産師	1	1
保育園	看護師・保健師・助産師	1	1
市役所	看護師・保健師・助産師	1	1

職場内訳 (人数)



2

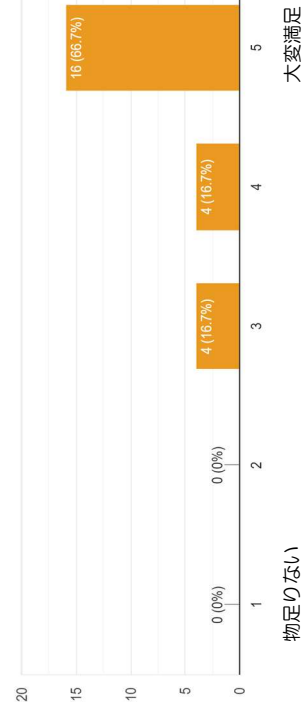
職種別 (人数)



3

講義の内容について一番近い感想を教えてください。

24件の回答



物足りない

大変満足

4

遊びと発達・家族支援：講師 星野先生

質問数	質問内容	回答
1	支援センターや病院など色んな施設で指導を受けている利用者さんがいると思います。情報共有はできていますか？方向性の違いに保護者が悩むケースなどはありませんか。あった場合は、どう対応されていますか？	

「遊びと発達・家族支援」視聴後の感想

<p>感覚統合理論についてとてもわかりやすかったです。</p>
<p>運動発達がゆっくりなお子さんにとって、丸いオモチャに手を乗せるということだけでも、色々な感覚を使うということがわかりました。無意識に行っている行動も感覚を同時に処理しているということがわかりました。</p>
<p>感覚は発達の上でとても大切なことだとわかりました。ありがとうございました。</p>
<p>センソリーニーズを充足させる要素のあるあそびを提供できるよう努めていきたいと思えます。</p>
<p>子どもは玩具で遊ぶことによって、色々なことを覚えていて、遊び自体が発達を促していることを学びました。触覚防衛反応のところでは、皮膚は目の役割もしていることを知らされ、感覚の大切さを理解出来ました。医療的ケアのある子どもの両親は、「24時間体制」「心身の不調」「活動の制限」等々、負担がとても大きく、両親を支える重要性を再認識することが出来ました。</p>
<p>小児の成長発達してから、成長した部分を知ることはありますが、その根拠について内容はまだ難しいのですが「そういうことだったんだ」と勉強になりました。遊びも成長に重要なことであること、必要な時期に適した遊びを提供すること、また感覚統合障害という視点でそれぞれ注意することも違う事など改めて理解しないと思いません。何十年前、小児ケアの際にお母さんが「この子はこっち向きが好きで、向こう向きは嫌いなんです」と生まれた時から同じ向きばかりにされていました。その時は、緊張もあるのでリラックスできる体位がいいのかなと思いつつ、固まってしまわないかと気になっていたのですが、今のようにOTさんやPTさんや知識のある方との早めの関りができていれば、母に対しても根拠に基づいたケアができ、お子さんにとって過ごしやすい成長に関わられたのかもしれないと省みる機会となりました。</p>
<p>専門職からのお話にとっても理解が深まりました。発達段階と障害による特性また感覚遊びの重要性など改めてわかり、お子様一人一人の状況も確認し直しながら必要に応じた提案など再検討出来ればと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>感覚統合については本や専門職から聞いていますが、識別系,原始系の話や例があつてとても分かりやすかったです。固有と前庭がどちらがどっちか混乱することもあったので話を聞いてよかったです。またぜひお話を聞いてみたいです。</p>
<p>感覚統合をわかりやすく説明していただきありがとうございました。</p>
<p>普段の訪問時に接する時でもできそうなポイントがありました。参考になりました。</p>
<p>とても分かりやすい講義でした。</p>

Ⅲ. 小児在宅医療実技講習会

1. 開催概要

埼玉県で小児在宅医療に係る医師、看護師、医療関係者を対象に講習会を行った。小児在宅医療実技講習会は、埼玉県の開催としては、8回目となる。2019年度は企画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、やむなく中止とした。2020年は、コロナ禍のため企画もしなかった。今年もコロナ禍ではあるが、実技講習の要望は強いので、半日の集合研修として開催することにした。募集人数は先着順の30名で参加費は無料とした。プログラムは、講習日までにオンライン講義を聞いてきてもらい、集合研修は、まあちゃん人形を用いて実技のみで行う予定とした。感染対策に十分配慮し、マスクとフェイスマスクの着用、換気とアルコール消毒をまめに行い開催した。

資料Ⅲ-1 に参加者募集ポスターを示す

資料Ⅲ-2 にプログラムを示す。

2. 研修会の実際

当日は、新型コロナウイルス感染症が急拡大してきたこともあり、当初予定していた排痰補助装置と肺内パーカッション換気療法体験は中止とし、見学のみとした。

1) 参加者

参加者は30名の申し込みがあったが、当日の参加者は23名であった。

申込者の内訳と参加理由は資料Ⅲ-3に示す。

看護師が22名と最も多かったが、医師、リハビリセラピスト、薬剤師のほかに、保育士、臨床工学技士、児童指導員もいた。実際に医療的ケア児を経験している人が大半で、そのうち10人は医療的ケア児を10人以上経験している人たちであった。

2) 実技講習の実際

参加者を6グループ(A-F)に分け、各グループのリーダーとして当科医師を配置した。実習1として、カルガモの家のリハビリセラピストによる呼吸リハ体験のグループとマスク&バッグ体験のグループの2つ(A-CとD-F)に分けて各25分ずつ交代で行った。実習2でも同様に、まあちゃん人形を用いて胃瘻交換するグループと在宅人工呼吸器並びに在宅酸素療法を見学するグループに分け30分交代で行った。今回は、在宅人工呼吸器の業者はフィリップス・レスピロニクスとチェストとコヴィディエンの3社にお願いし、在宅酸素の業者は、サイサンとテイジンにお願いした。胃瘻チューブは、富士システムズのGBとハリヤードヘルスケアインクのMic-Keyの提供を受けて行った。実習3は、まあちゃん人形を用いた気管カニ

チューレ交換を行うグループと排痰補助装置／肺内パーカッション換気療法を見学するグループに分け 30 分交代で行った。排痰補助装置はフィリップス・レスピロニクス、肺内パーカッション換気療法パーカッションエアジアパンにお願いした。気管カニューレは、シャイリーのカフありとカフなし、ビボナのカフありとカフなし、ボーカレードを使用し、参加者がやってみようカニューレで交換実習を行った。コーケンシリコンと GB アジャストフィットは展示のみ行った。最後に質問コーナーを設け、オンライン講義も含めて質疑応答を行った。

資料Ⅲ-3 にアンケート結果を示す。

アンケートでは、職種と所属、参加満足度のほかに、講習会の感想や意見と今後の講習会などの希望を自由記載の方式で尋ねた。

3. まとめ

コロナ禍ではあったが、実技講習会の要望が強かったので、例年とは違った方法で開催した。実習に関する講義をオンラインで予習してくる方式についての意見は特になかったが、繰り返し勉強できる点が良かったのではないと思う。講義での疑問点については当日の質疑応答で質問してもらった。実際の集合研修は、短時間で密にならず、使用したものをアルコールで清拭するなど感染に十分気をつけて行ったので、後日新型コロナウイルス感染症に罹患したという報告はなく安全に行えたのではないと思う。

アンケートからは、集合研修でよかったという感想が多く、勉強になったという意見が多かった。

今後の小児在宅医療に関してどのような講習会や研修会、ワークショップなどを希望するかという質問に対しては、障害を持つ子の親向け講習会、事例を含めた研修会、困難事例のワークショップなどの多彩な要望が出された。今後このような研修会も企画していきたいと考えている。



胃瘻交換体験



呼吸リハ体験

2021 年度

小児在宅医療実技講習会

日時 2022年1月15日(土) 13:00~17:00

場所 埼玉医科大学総合医療センター 管理棟 2階

対象者 埼玉県で小児在宅医療に係る医師、看護師、医療関係者

定員/参加費 30名(先着順) / 参加無料

申し込み方法

右記 QR コードまたは URL

申込 URL : <https://forms.gle/9RcQD1BwuZbrYofU6>

※URL は当研究会 (<http://www.happy-at-home.org/>) にも掲載しております

・ 申込締切 : 2021 年 12 月 25 日 (土)

お申し込み QR コード



プログラム

① オンライン講義 講義動画を各自で予め視聴 (12月27日~1月15日)

- 1) 小児在宅医療の現状 (埼玉医科大学総合医療センター小児科 森脇浩一)
- 2) 胃瘻について (埼玉医科大学総合医療センター小児外科 小高明雄)
- 3) 気管切開について (埼玉医科大学総合医療センター耳鼻咽喉科 二藤隆春)
- 4) 姿勢とポジショニング (医療財団法人はるたか会 理学療法士 長島史明)
- 5) 人工呼吸器について (埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学士 須賀里香)

② 集合研修 まあちゃん人形を用いた実習 13時~17時

胃瘻交換、気管カニューレ交換、排痰補助装置体験、肺内パーカッション換気療法体験、人工呼吸器見学、在宅酸素療法見学、呼吸理学療法体験、マスク&バッグ体験

主催 埼玉県小児在宅医療支援研究会 ・ 埼玉医科大学総合医療センター小児科

講習会担当 : 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 高田栄子
問い合わせ先 : zaitaku@saitama-med.ac.jp 049-228-3550 (小児科医局事務室)
<http://www.happy-at-home.org/> <http://shounizaitakusien.kenkyukai.jp/>



埼玉県小児在宅医療推進事業 埼玉県小児在宅医療支援研究会主催

2021 年度小児在宅医療実技講習会

日時：2022 年 1 月 15 日土曜日 午後 1 時—5 時

場所：埼玉医科大学総合医療センター 管理棟 2 階

主催：埼玉医科大学総合医療センター 小児科

対象：埼玉県で小児在宅医療に係る医師、看護師、医療関係者

定員：30 名 5 名×6 グループ

締め切り：12 月 25 日（先着順）

方法：

① オンライン講義 講義動画を各自で予め視聴（12 月 27 日～1 月 15 日）

- 1) 小児在宅医療の現状 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 森脇浩一
- 2) 胃瘻について 埼玉医科大学総合医療センター 小児外科 小高明雄
- 3) 気管切開について 埼玉医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉科 二藤隆春
- 4) 姿勢とポジショニング 医療財団法人 はるたか会 理学療法士 長島史明
- 5) 人工呼吸器について 埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学士 須賀里香

② 集合研修 まあちゃん人形を用いた実習 午後 1-5 時

開始時刻	時間	内容	担当	
午後 1 時	10 分	挨拶	埼玉医科大学総合医療センター 小児科	森脇浩一
午後 1 時 10 分	50 分	実習 1	呼吸リハ体験 マスク&バッグ体験	
午後 2 時	15 分	休憩		
午後 2 時 15 分	60 分	実習 2	胃瘻交換と在宅人工呼吸器+在宅酸素療法見学実習	30 分毎交代
午後 3 時 15 分	15 分	休憩		
午後 3 時 30 分	60 分	実習 3	気管カニューレ交換実習と排痰補助装置/IPV 体験	30 分毎交代
午後 4 時 30 分	30 分		質問コーナー	
午後 5 時			終了	

講習会担当：埼玉医科大学総合医療センター 小児科 高田 栄子

問い合わせ先：zaitaku@saitama-med.ac.jp 049-228-3550（小児科医局事務室）

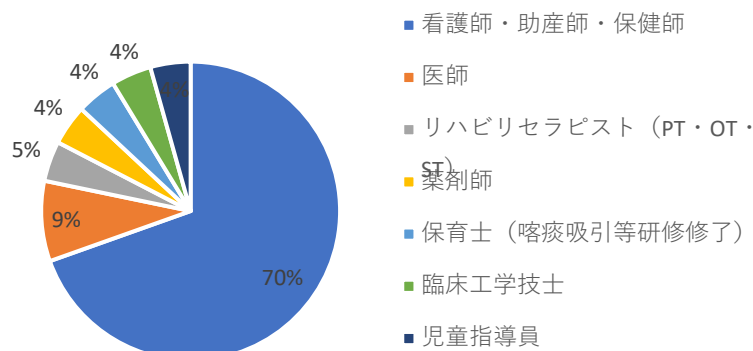
<http://www.happy-at-home.org/> <http://shounizaitakusien.kenkyuukai.jp/>

参加者23名

【職種】

看護師・助産師・保健師	16
医師	2
リハビリセラピスト(PT・OT・ST)	1
薬剤師	1
保育士(喀痰吸引等研修修了)	1
臨床工学技士	1
児童指導員	1

職種



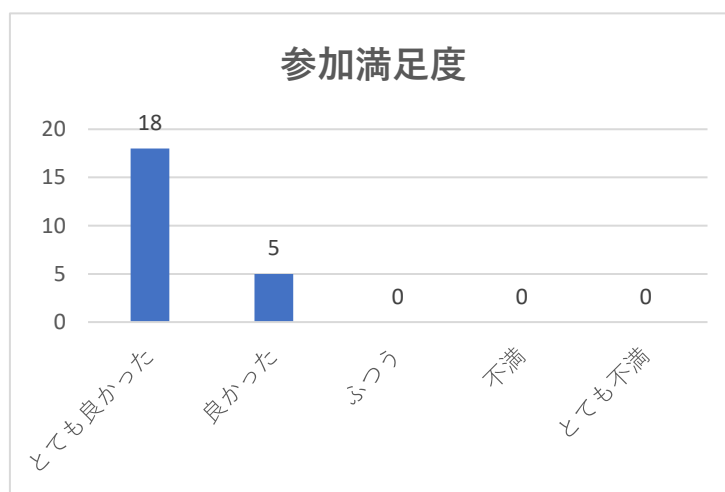
【所属】

訪問看護ステーション	6
病院	5
児童発達支援事業所・放課後等デイサービス	5
障害児(者)入所施設	4
保育園	3

【参加満足度】

とても良かった	18
良かった	5
ふつう	0
不満	0
とても不満	0

参加満足度



【講習会の感想・意見】

・コロナ禍でお忙しい中ありがとうございました。やはり実施したり、直接話を伺って本当にためになりました。コロナ禍の中で、柔らかな気持ちで対応していただき、ありがとうございました。研修で学び、毎日の仕事に活かすことが出来たこと、何卒にたくさん配慮いただき、感謝しかありません。準備からたくさんのご苦労があったと思います。本当にありがとうございました。

胃ろう交換や気管カニューレ交換など、実際に体験できて良かったです。

最初に、グループ内で自己紹介があっても良かったかな、と思いました。

・やっぱり集合でよかったです。IPVの体験ができなくて残念でしたが、最近の呼吸器のことなど最新のことが学べました。アナログ世代なのでデジタル化の進化を感じました。ありがとうございました。

・胃ろうやカニューレの交換などを体験することで、保護者と話をする時にイメージしやすくなったり、緊急時のために保護者にあらかじめ確認しておいた方がいいことなどに気づくことができました。また、万一事故除去があった時のための心構えや勇気をいただきました。ありがとうございました。

・貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

・県外から参加させていただきありがとうございました

・実際に手技が体験できて、とても良かったです。

・実際に体験でき、また他の人が実践してる所を間近で見ることができて、とても勉強になりました。

触ったことや見たこともなく何もわからなかったの、手取り足取り教えていただきまして、ありがとうございました。また機会がありましたら是非参加したいです。オンライン講義も1月末まで見られることになり、嬉しいです。

・実際の呼吸器、排痰補助装置なども見れて、貴重な体験ができました。

・大変勉強になりました。ありがとうございました。

- ・丁寧な指導ありがとうございました。
- ・病院から離れても、技能や知識の再確認ができる場に感謝します。排痰装置の知識がアップデートされました。人工呼吸器を実際操作する時間などがあれば、もっと良かったです。トラブルシューティングなどもしてもらえたら、もっと良かったです。
- ・薬剤師は、良くも悪くもカルテを見るだけで仕事ができることが多いです。ただ、それでは不十分だと思います。少しでも患者さんの状態を理解したいと参加しました。優しい教えていただき感謝しております。
- ・いろいろな制約のなかでもありがたい研修をありがとうございました。

【今後小児在宅医療に関してどのような講習会や研修会、ワークショップなどを希望するか】

- ・ポジショニング（同回答2件）
- ・地域包括ケアシステム 制度、具体的な調整方法。訪問看護師が調整しなければならないことが多いです。
- ・障害を持つ子の親向けの講習会。(親子で参加できるもの)

本日拝見させていただいた、様々な在宅医療機器の種類や実際の装置の使い方等。

自分の子供に使うものなので、ただかかりつけの医療機関から指定されたものを使うのではなく、色々な種類の物を実際に我が子に試せる機会があると嬉しいです。

- ・症例提示形式
- ・就学している動ける医療的ケア児を取り巻く環境や、基本的な考え方、訪問看護師が学校でケアに関わるにあたり注意することなど、事例を含めた研修を希望します。
- ・実技研修が出来ること
- ・事例共有会。病院の先生方のご参加いただき困っていることやアドバイス等いただきたいです。
- ・困難事例などについて、具体手にみんなで考えるようなワークショップがあると嬉しいです。
- ・経管栄養のためのポンプ操作。腹膜透析。摂食。難聴。斜視、弱視、義眼のケアなど眼科領域。
- ・歯科領域（ケア、歯並び、歯肉炎）
- ・緊急対応
- ・バイタルの取り方状態観察の基本的なこと
- ・医療的ケア児受け入れている保育園の現状や課題・今回のような実技講習
- ・動きの活発なお子さん(発達系)のケアのコツ等お聞きできたら幸いです。

IV. 市民講座 「医療的ケア児の在宅生活の向上を目指して」

1. 開催テーマ

「医療的ケア児の在宅生活の向上を目指して」をテーマに、次のとおり講演を行った。

- ① 医療的ケアを必要とする子ども達と日常生活 看護師 里見 繭子
- ② 生活で役立つ道具と工夫 理学療法士 菅沼 雄一
- ③ 食べる機能の発達支援 言語聴覚士 清水 充子

2. 開催時期及び方法

YouTube 配信により、令和4年2月1日～13日の間配信した。

3. 参加申込みの状況

- ・ 多くの方に視聴いただけるよう、川越市をはじめ近隣市役所、放課後等デイサービス事業所、訪問看護ステーション、相談支援事業所等123か所にチラシを送付及びカルガモの家利用者に案内のメールを送信した。
- ・ 合計127件の申し込みがあり、28件(22%)が障害児のある家族、99件(78%)が障害サービス事業所等の関係者であった。
- ・ 28件の家族からの申し込みで、障害児の年齢層は小学生11件、中学生7件、0～3歳児及び18歳以上が3件などであった。
- ・ 28件の家族からの申し込みで、行っている医療的ケアは喀痰吸引18件、胃瘻・腸瘻14件、気管切開8件、人工呼吸器6件などの順が多かった。

4. 視聴状況

視聴回数は次のとおりであった。

- ・ 医療的ケアを必要とする子ども達と日常生活 203回
- ・ 生活で役立つ道具と工夫 152回
- ・ 食べる機能の発達支援 148回

5. アンケート結果

- ・ 25件から回答が寄せられ、3つの講演とも内容に「大変満足」、「満足」と回答した割合は76%以上であった。
- ・ 3つの講演ともに、丁寧にゆっくり話してもらい分かりやすかったとの感想が寄せられる反面、専門用語が多く難しく感じたとの意見もあった。

6. DVDの製作、配布

- ・ 市民講座の3講演をDVD化し、研修資料として活用いただけるよう埼玉県保育士会及び埼玉県介護福祉士会に無料で配布した。

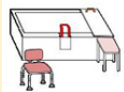



資料Ⅳ-1：開催案内

資料Ⅳ-2：申し込み状況について

資料Ⅳ-3：アンケート結果

2021 年度（令和 3 年度）埼玉県小児在宅医療推進事業

市民講座【 医療的ケア児の在宅生活の向上を目指して 】

開催方法	YouTube 配信		
配信期間	2022 年 2 月 1 日（火）～ 2 月 13 日（日）		
対象	埼玉県内の医療的ケア児ご家族		
参加費	無 料	申込〆切	2022 年 1 月 25 日
講演テーマ と 内 容	① 医療的ケアを必要とする子ども達と日常生活 講師：里見 繭子(看護師)		
	内容 医療的ケアを必要とする子ども達が生活する上での観察ポイントやカルガモの家での工夫など、日常生活に必要な知識を分かりやすくお話しします。		
	② 生活で役立つ道具と工夫 講師：菅沼 雄一(理学療法士) 		
内容 「最近子どもが重くなってきたな」「将来どうやって介助していくのだろう」そんなふうに感じることはありませんか？お家での抱っこ・移乗などの介助の仕方や、生活を楽にするちょっとした道具の紹介をします。			
③ 食べる機能の発達支援 講師：清水 充子(言語聴覚士) 			
内容 よりよい栄養摂取をしたい！と、どなたもが望まれていることと思います。身体の発達に段階があるように、食べる機能にも発達の段階があります。その発達段階や摂食機能の発達を促す対応、日常で大切なケアについてお伝えします。			
申込方法 (1月25日締切)	右記 QR コードより、申込みフォームにアクセスし、必要事項を入力の上送信してください。 カルガモの家 および 埼玉県小児在宅医療支援研究会の HP でも案内しておりますので、参照ください。 URL https://forms.gle/S9tUsMr5MR5bbzQC9		
	応募期間終了後、登録いただいたメールアドレスへ視聴 URL をお送りします ※登録いただいた情報や意見は今回の市民講座の連絡および研修の発展目的で使用し、他の目的には使用しません。 ※今後の研修内容の向上のためにも視聴後のアンケートにご協力ください。		
問い合わせ先	・社会福祉法人 埼玉医大福祉会 医療型障害児入所施設 カルガモの家 TEL：049-229-5811 E-mail：rehabili@karugamo.or.jp https://kawagoe.karugamonoie.jp ・埼玉県小児在宅医療支援研究会 http://www.happy-at-home.org/  カルガモの家マスコット カモン & かんもちゃん		

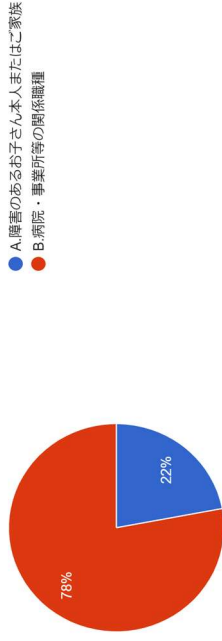
**2021年度（令和3年度）埼玉県小児在宅医療推進事業
市民講座「医療的ケア児の在宅生活の向上を目指して」**

申し込み期間：2021.12.15～2022.1.25

Youtube配信期間：2022.2.1～2.15

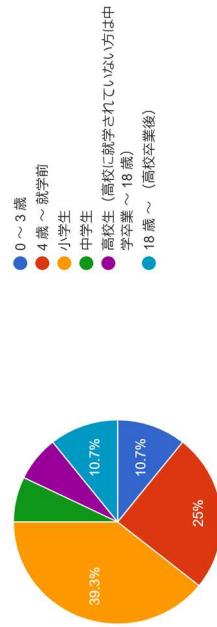
申し込み状況について

今回の申込みはどなたがされましたか？
127件の回答

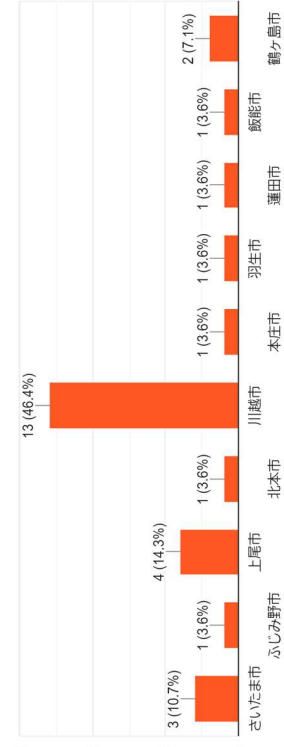


参加申し込みA：本人またはご家族

おさんの年齢層を教えてください
28件の回答



お住まいの市町村
28件の回答



質問や困っていること、その他

11件の回答

- 体重が増えていく子供と体力が衰えていく親への支援体制。お風呂など。自宅のバリアフリー化への支援体制、提案
- 身体が大きくなってきて入浴介助に困っています。
- 車椅子への移乗のコツ 低い場所からベッドへ移動するコツ
- 胃ろうの注入が持続するため、常にチューブが繋がっています。活動時に引っ張られたり、引っ掛けたりと、胃ろうの根元に負荷がかかります。良い固定方法はないでしょうか。
- ミルトン消毒や、洗剤での洗浄のせいか、胃ろうチューブとチャンバーのルート接続部がたく締まり過ぎてしまい、使用できなくなることがあります。良い外しかたはないでしょうか。おろしたまて2回目の使用時に外れなくなったときはなかなか諦められませんでした…。今は濡れないぎりぎりのあまさで接続しています。
- 経口では飲食しておらず、吐き戻しも一切ないのですが、口腔ケアはスポンジだけでなく毎回歯ブラシも使うほうが良いでしょうか？ 何をどの程度して良いか全く勉強不足な状態です。
- 歯ぎしりがひどく、奥歯がだいぶ減ってしまっています。痛くないのでしょうか。何か出来ることはないでしょうか。

6

参加申し込みB：関係職種

職場について教えてください
99件の回答



8

必要な医療的ケア（複数回答可）

28件の回答



5

質問や困っていること、その他

11件の回答

- 誤嚥による肺炎
- 幼児嚥下で、なかなか成人嚥下を習得できない。唾液嚥下において空気を飲んでしまう。
- 食べる機能と発音(発語)機能は関連があるのか？
- 体重増加に伴い、抱っこ移動が大変になってきていること。食事（おやつ）を経口摂取すると誤嚥がある時があること。
- 小脳低形成の男児5歳です。①眠剤を使用していますが、3時頃に起きることがたびたびあります。眠剤を増やして日中に影響が出るのも避けたいし、夜中に起きることで午前中に影響が出るのも避けたいし、適量への調整方法が難しいです。親ができる眠剤の調整方法や、親でできる睡眠継続のためのケアがあれば教えてください。②2歳頃に経口摂取(ミルク)を拒否するようになり、経鼻栄養を経て胃ろうにして経管栄養中です。最近経口摂取が出来るようになりました。食事終了時でも、すずと食べ物を欲しがるといった程度でどのくらいなのか分からないため、今のやり方で合っているかどうか自信を持てずいます。満腹と見なす判断基準や、良い方法があれば教えてもらいたいです。
- 介助者の腰痛予防
- 体重、身長増加。日々の介助が大変

7

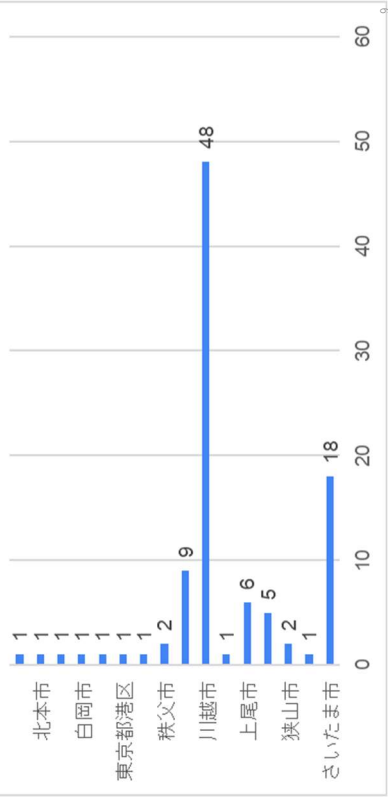
質問や困っていること、その他

23件の回答

- 小児のリハビリの経験が少ないため、基本的な事から色々と教えて頂きたいと思えます。
- 医療的ケアが必要なお子さんと接する時に気を付けるポイントがあれば知りたいです。
- 咀嚼を促すのに適した大きさや硬さの目安などあったら知りたいです。
- 在宅から集団生活に移行できるための目安等
- 体調の変化が大きい事
- 給食指導や水分摂取などについて
- 就学に対する不安。本人・家族がどのような生活を送って行くのか見通しが持てない。
- 食事介助について
- 摂食を増やすにはどうしたら良いか
- 介助の仕方を色々と教えていただきたいです。

10

申し込みB：関係職種



質問や困っていること、その他

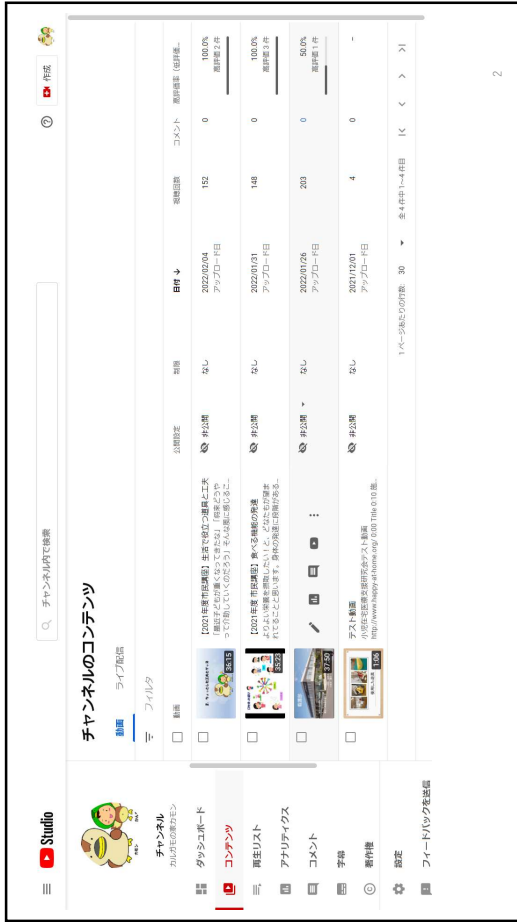
23件の回答

- 自宅に帰ってからの摂食練習のフォロー体制
- 基本的知識の不足 生活への対応
- こどもひとりひとりの対応の仕方
- 職下が行えない児童がおります（経管チューブ使用）
- 医ケア受入れ入れています。講演のテーマ全てをしっかりと学び環境やケアの質を向上させたいです。手探りでお母様たちから教えていただくといい環境のためしっかりと専門の方から指導を受けたいです。
- 申し込み締切を過ぎており、申し訳ございません。可能でしたら視聴させていただきたく、よろしくお願いたします。
- 在宅から園生活に移行していただける判断
- 講座を楽しみにしています。よろしくお願いたします。
- 寝たきりの子たちが楽しめる遊び等を知りたいです。
- 動ける医療的ケア児の就学前の預け先がない
- 医療的ケア児の保育の基礎知識を知り職場で共有していきたいです。

11

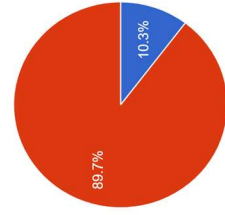
**2021年度（令和3年度）埼玉県小児在宅医療推進事業
市民講座「医療的ケア児の在宅生活の向上を目指して」**

申し込み期間：2021.12.15～2022.1.25
 Youtube配信期間：2022.2.1～2.13
アンケート集計 2月14日



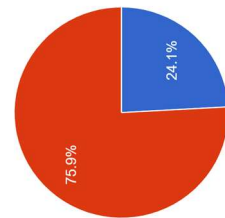
性別

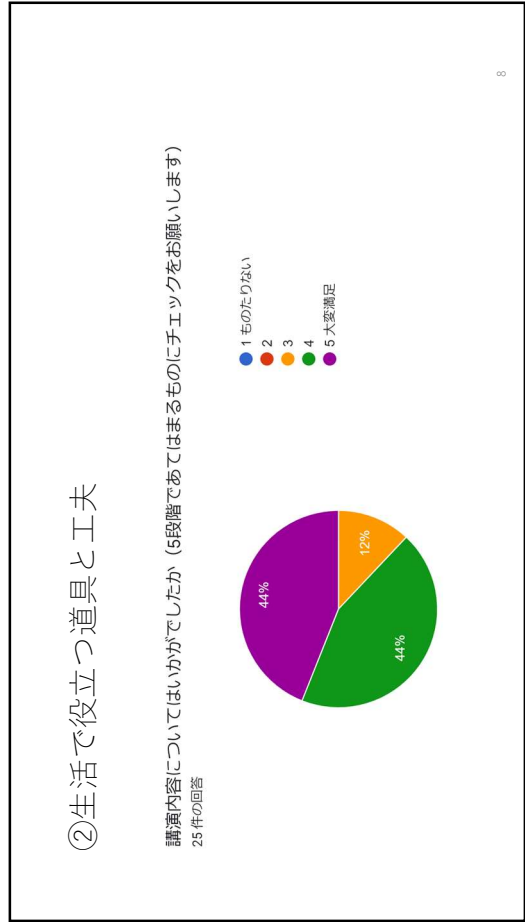
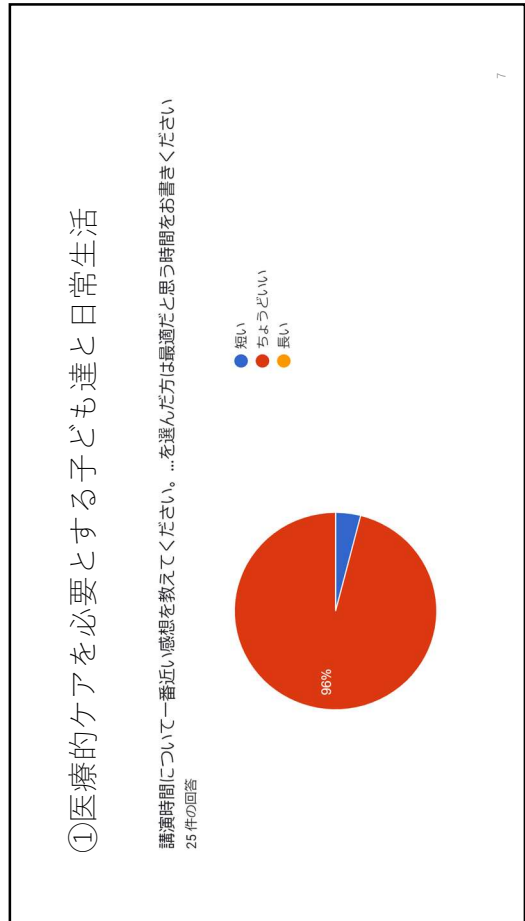
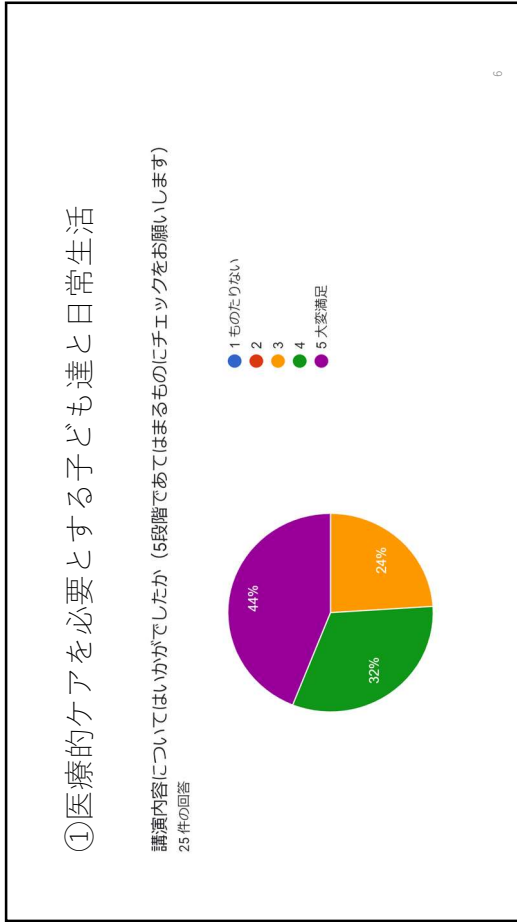
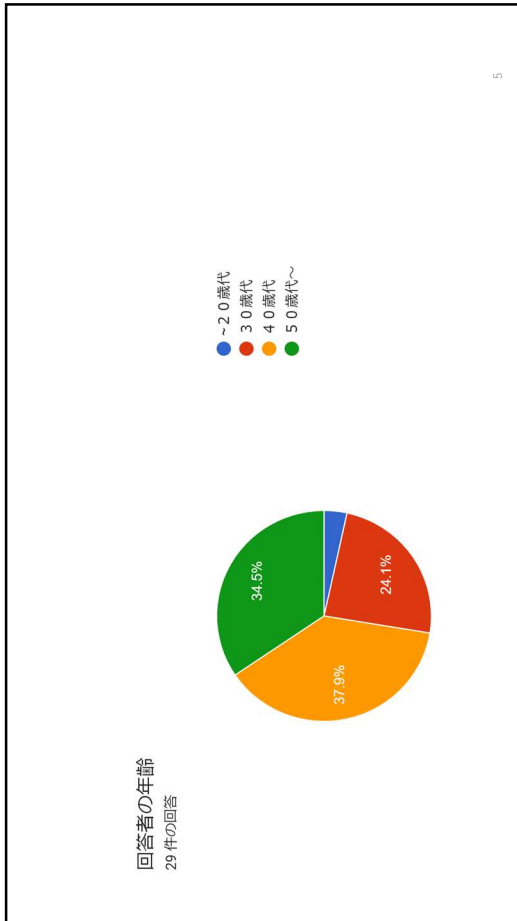
性別（回答者）
29 件の回答



今回どなたが視聴されましたか？
29 件の回答

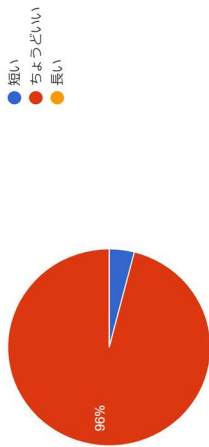
● 障害のある方本人またはご家族
 ● 病院・事業所・教育機関等の関係職種





②生活で役立つ道具と工夫

講演時間について一番近い感想を教えてください。...を選んだ方は最適だと思う時間をお書きください
25 件の回答



9

②生活で役立つ道具と工夫

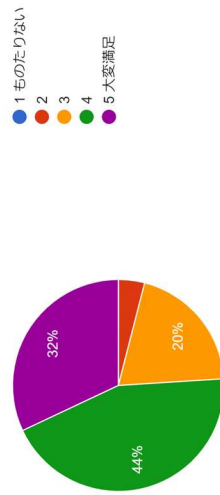
講師への質問があればお書きください 3 件の回答

- 「重い」の体感が男性と女性で違うとは漠然と思ってはいましたが、「父親が重いと思う頃には、母親はボロボロ」のくだりにハッと、認識あまかったと実感しました。大規模な用具から、ちよつとした工夫まで、知らなかったです。お風呂の椅子も存在は知っていても、それをどう使うのかわからなかった。大きな抱っこ紐もぜひ使いたいと思います。ありがとうございました。
- スライディングググローブの説明時張ってしまった皮膚にも使えとありましたが具代的に教えていただきたいです
- 子供が成長するにしたがって介助方法の移り変わりが解りやすかった。心構えなど。
- 座位保持椅子に座らせる際に反ってしまい、お尻が奥まで入れられず困っていたので、早速実践してみようと思います。ありがとうございます。

10

③食べる機能の発達支援

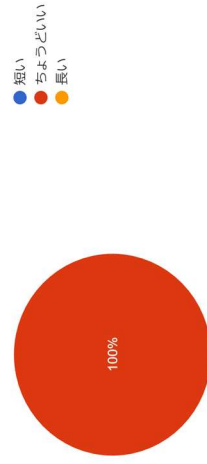
講演内容についてはいかがでしたか（5段階であてはまるものにチェックをお願いします）
25 件の回答



11

③食べる機能の発達支援

講演時間について一番近い感想を教えてください。...を選んだ方は最適だと思う時間をお書きください
25 件の回答



12

③食べる機能の発達支援

講師への質問があればお書きください 2件の回答

- うちは、目と耳に重複障害があり、嚙下もうまくいかず、ずっと経管栄養のみです。お楽しみで味見くらいは数回試みましたが、喜ばなかったのが、喜ばなかったのも、こちらの押し付けになってしまっていると、最近では中止しています。動画を拜見して、まずフオークを持たせ「味見するよ」と伝え、最近はお味がせて「どんな味かな？」と想像・期待してもらって、唇に触れ「こんな温度だよ」とゆっくり想像をさせて進めなければ、びっくりさせてしまうだけで、「お楽しみ」にならないと気がきます。まだ思いつきなので、もう少し進め方を考えて楽しめる方法を模索したいと思います。STさんは探しましたが身近におらず、医師もうちの場合は積極的ではないので、こういう情報は大変貴重でうれしいものでした。ありがとうございます。
- 自分の子供は今現在の刃りか、少し明確に分かった。それから先にどうしたら機能を伸ばせるのか。第2弾、3弾あると楽しみです。

13

全体を通して（感想）

その他、感想や今後行ってほしいテーマなどございましたら教えてください。 13件の回答

- 大変参考になりました。このような形で定期的に学ぶ場があると嬉しいですね。
- 研修を企画してくださりありがとうございます。とても勉強になりました。YouTube配信の子育ての合間に見ることでよかったです。資料も印刷できるようになっていて大変助かりました。医療的ケアの話は1番興味があり勉強したい内容だったのでよかったです。しかし、専門用語が多く難しく感じました。もう少し優しくわかりやすい内容だと嬉しいですね。更に掘り下げて話を聞きたかったです。
- 大変貴重な講演を配信していただきに感謝しています。医療的ケアを必要とする子ども達との関わりをなかなか持てていないので、専門的な内容を動画や写真を使ってわかりやすく説明していただくことでイメージができて、大変勉強になりました。お話の中にもありましたが、色々情報を集めながら伝えていくこと、日々それを続けながら相手との関係性を築くことの大切さを改めて学んだように思います。配信形式だったので、より参加しやすかったです。コロナ禍で一層大変な時にこのような学びの場をいただき、本当にありがとうございます。
- 重心の大人の方を対応しているのでも、とても参考になりました。既に多くの母親達の体が痛みだしているケースが多いので少しでも長く在宅生活を送るためにも導入していこうと思えました。
- 市民講座、どうもありがとうございます。動画配信だと自分の都合に合わせて何度でも見られるのでよかったです。今後このスタイルだと助かります。

14

全体を通して（感想）

- 医療的ケアについて、気管切開や胃ろうの手術から数年ぶりに注意点を再確認できました（あとから訪問看護師さんとも視聴した）。首に残ったカニューレベルトの傷が痛々しかったです。生活で役立つ道具について、殆ど知らなかったのも事実で使用している動画でわかりやすかった（訪問理学療法士の方とも視聴した）。使ってみようと思うものがある参考になった。子どもが小さいうちは体重を気にしなくても成長と共に重くなっていくのでとても良いテーマだった。制度についても知っておく必要があると感じた。3つのどのテーマも丁寧にゆっくりと話してくださったのが良かった。ありがとうございます。
- かるがもの家での看護師の仕事内容が多岐にわたっていること、入所はもろろんレスパイト、訪問看護、特定放課後所、特定短期入所、特定入所にて重心児に特化した研修取得の看護師配置等傾聴出来て良かったです。また摂食において口腔ケアの大切さを順序立てて説明されていたので、心得て取り組みたいと思います。這えば立て立てば揺る親心、親支援に取り組んでいるものとして寄り添っていきたいと思います。
- 分かりやすく、イラストや動画もあり、実際の場に活かしやすいものでした。食べる機能については、食具などで実際に子どもに支援している動画もあるとイメージしやすかったと思います。

15

全体を通して（今後行ってほしいテーマ）

- 医療的ケア児の今後の動向、小学校の受け入れ、保護者の同伴の現状は変化していくのか？
- プログラムの小学校や幼児施設での受け入れと今後の課題や留意点。
- 言語発達をテーマにして欲しい
- 災害時の備え おむつのサイズや漏れに対する工夫など
- 在宅である便利な器具。リフォームの押さえたい情報など。ざっくりですみません。
- お家でも出来るリハビリ
- 器具（短下肢など）を装着する時の注意点や肢体不自由児の体のほぐし方（マッサージやバランスボールなど道具を使用し）やポイントそれによって得るメリット、気をつける点などを教えていただける講座があると嬉しいです。

16

V. 介護士・保育士対象講習会

1. 目的

カルガモの家利用児等の在宅での食生活の向上を目指し、食事の介助を担う保育士・介護士を対象に、摂食嚥下の知識・技術の習得を図るため、次のテーマで研修を実施した。

「摂食機能の向上を支援する療育」 言語聴覚士 清水 充子

2. 開催日時・場所

令和4年3月23日（水）17:00～18:00

カルガモの家 会議室

3. 参加人数

10人

4. 参加者の主な意見

- ・食べることの楽しさや喜びを支援し、子ども達の成長につなげていくことの大切さを改めて学ぶことができた。
- ・子ども達が食に対する興味を持ち、楽しんで食する時間を提供できるよう関わっていきたい。
- ・摂食、嚥下に関して疑問に思っていたことをその場で聞ける機会が持ててよかった。
- ・摂食に関し子ども達のつまずきのポイントがよく分かった。今後の摂食介助の意識が変わってくると思う。

資料V-1：開催案内

療育職員（介護士・保育士）向け研修会の開催について

1 研修の目的

カルガモの家利用児等の豊かな食生活の実現を目指し、摂食機能の向上を支援するための知識・技術の習得を図るため、食事の介助を担う保育士・介護士を対象に研修会を開催する。

2 研修日時・場所

日 時 令和4年3月23日（水） 17：00～17：30

場 所 カルガモの家

3 研修テーマ及び講師

「摂食機能の向上を支援する療育」 言語聴覚士 清水 充子

VI. 埼玉県小児在宅医療支援研究会

1. 第 40 回小児在宅医療支援研究会

テーマ「児童発達支援・放課後等デイサービスと医ケア児（１）
～通所支援における医ケア児の諸問題～」

日時： 2021 年 5 月 12 日（水） 19：00～21：00

場所： Web 配信 Zoom ウェビナー

1) 埼玉県の児童発達支援・放課後等デイサービスについて

埼玉県障害福祉部障害者支援課 川村 淳一

2012 年に児童福祉法が改正されたことで、障害児の各種の通所サービスは「障害児通所支援」に統一され、実施主体は市町村となった。サービス事業所の指定は都道府県もしくは政令中核市であり、県では私のいる障害者福祉課が担当している。

児童発達支援は、未就学の障害児の通所を支援する。児童発達支援センターは地域の中核的な機能を担い、設備や人員基準が厚く整っている。重症心身障害児に対応できるところがある。児童発達支援センターは埼玉県では 34 カ所。22 カ所が公設、10 カ所が社会福祉法人。児童発達支援事業所の 90%は定員 10 名と小規模。児童指導員・保育士が 2 人、管理者が 1 人が最低人員。事業所数は 456 カ所。

放課後等デイサービスは、就学児が学校終了後や長期休みに通うところ。定員 10 名のところが多い。重症心身障害児を対象とするところがある。804 事業所。

居宅訪問型児童発達支援は、平成 30 年度改正から設けられた。外出困難な障害児に対して事業所が訪問して児童発達支援サービスを提供する。埼玉県では 7 事業所。

保育所等訪問支援は、保育所で障害児が集団生活する場合に保育所等を訪問して専門的な支援をするサービス。児童発達支援センターが地域の中核的な役割を果たすために、保育所等訪問支援をなるべく行うこととなっているが、全てのセンターがやっているわけではない。99 事業所。令和 2 年度の埼玉県の医療的ケア児は 523 名。うち重症心身障害児は 344 名。各市町村が把握している数を合計したものである。

令和 3 年度の障害福祉サービス等報酬改定では、医療的ケア児への支援の推進が謳われている。医療連携体制加算は、障害児施設だけでなく障害者の事業所にも関係する。医療的ケア児を重心事業所ではなく一般事業所で受け入れるための報酬が新設された。重心事業所では基本報酬がもともと高いため、新たな加算はなく、看護職員加配加算を算定しやすくなった。加算の詳細は 7 月の講演会で話す。

児童支援事業所は 141 カ所 (2,145 名)、放課後等デイサービスは 455 カ所 (4,589 名)、多機能型 (両事業を行う) は 349 カ所 (3,533 名)。重複を除くと合計 945 カ所 (10,287 名)。これらのうち、重心対応の児童発達支援は 4 カ所 (35 名)、重心対応の放課後デイは 13 カ所 (65 名)、重心対応の多機能型は 20 カ所 (115 名)。重複を除いて合計 37 カ所 (215 名)。

2) そらいろ

山下 信二

そらいろは川越市にある障害児通所支援施設で、児童発達支援 5 名、放課後等デイサービス 5 名が定員。「重い障害や医療的ケアを必要とする子どもたちが身近な地域で笑顔で過ごせるように」が私たちの目標。スタッフは看護師 5 名、保育士・児童指導員 5 名。医ケア児 1 人に対し看護師 1 人もしくはスタッフ 2 人を付けて、1 人が吸引をしながらもう 1 人が絵本を読んでリラックサさせている。平成 29 年に発達障害児のための放課後等デイサービス「てくてく」（定員 20 名、スタッフ 10 名）を立ち上げた。肢体不自由児からも通所の申し込みがあったが、建築基準が合わなかった。平成 29 年の夏に重度心身障害児専門施設を立ち上げる構想を立て、NPO 法人ママケアや特別支援学校などに行って勉強したところ、医療的ケア児を受け入れる施設がどこにもないことを知った。そこで構想を変更し、医療的ケア児に対応するための施設として、平成 30 年 5 月に「そらいろ」を開所した。当初は地域住民に理解されない、医療用語が分からない、指示書が必要、緊急事態の発生、児童が体調不良でお休み、など様々な問題にぶつかった。看護師のみに医療的ケアの責任を負わせると、看護師は責任感で精神的に疲弊する。スタッフ全員が医療的ケアを理解して危機管理の対処法を知れば、子どもの安全を確保しつつ ADL の向上を目指すことができる。看護師は子どもの命を守る役割、保育士は子どもの安全を守る役割で分担し、スタッフ全員で万が一の事態にも対応できるようにした。医療的ケアも療育の一貫として位置付け、できることを考えて実践している。

楽しい時の子どもたちは、とても良い笑顔でそれを習得し、確実に成長する。例えば、苦いもの、すっぱいものを舂めさせることで、喜怒哀楽を表現させる。指導員は子どもたちと愛着関係を作り、最後には叱れる信頼関係を目指す。保護者に対しても同様。

県内に医療的ケア児を預かれる施設が少ないため、遠方からも来所される。送迎のニーズは高いが、送迎車に看護師を載せられず、保護者に送迎をお願いすることもある。母親が仕事をしたいとのニーズが高く預かり時間の延長を求められるが、希望に添えないこともある。NICU を退院したばかりの子どももいて、保護者とその子のケアに慣れていないため、重要な情報が伝達されていないこともあった。歩行や会話ができるのに、酸素が必要なために保育園や学校を断られた児童もいる。その子のためにお母さんと一緒に保育園に交渉し、そらいろから保育所等訪問支援に行くことで、保育園生活が実現した。ハロウィンの日に子どもたちは仮装して近隣の保育園に訪問に行く。保育園児は折り紙を作って待っててくれる。お花見の季節には近隣の中学校が桜の枝をプレゼントしてくれる。花畑にちょうちょが舞っているのを眺めるように、ゆったりとした環境の中で自分のペースでいっぱい笑顔をたくさん。保護者の皆さんと一緒に課題を解決していきたいと思います。

質問①： 保育士に喀痰吸引等研修を行っていますか？

→ 開設当初、看護師は「医療的ケアは全て私がやらなければ」と気負っていた。しかし私（山下）は、「何かあったら私が全ての責任を負うので、何が起こりうるのかを皆に話して下さい。」と伝えて、責任感をスタッフで共有して看護師の負担を和らげた。看護師から「私たちのレベルを下げましょうか？」と言われたが、実際にやっていく中で看護師は保育士を理解し、保育士は看護師を理解するようになり、コミュニケーションが充実して役割分担が上手くいった。保育士に対する医ケア研修は今もやっていますが、両職種間のコミュニケーションを充実させることはもっと大切です

質問②： 経営の問題は？

→ 株式会社でやっている。動きが速いため。人が育ってから社会福祉法人化を目指す。ただ、スタッフを1:2で配置すると人件費がかかる。収入の8割~9割は人件費で飛んでいて、おそらく私の給料がスタッフの中で一番低い。

3) あいらんどふじみ野

佐藤麻由美

私は7カ所のデイサービスとケアマネジャー事務所を経営する有限会社「サーバント」に20年間勤めている。父親の胃瘻などの介護経験あり、1号喀痰吸引研修を修了。令和元年11月に一般社団法人「あいらんど」を立ち上げ、障害児の相談支援業務と重症心身障害児の児童発達支援と放課後等デイサービスを共生型サービスとして始めた。共生型サービスとは、平成30年の法改正でできたもので、高齢者のデイサービスと障害児の放課後等デイサービスを一体的に運営する方法。介護保険では入浴サービスが当たり前だったため、共生型サービスで入浴を提供できるのではないかと考えた。医療的ケア児がこんなにいるなんて知らなかった。私の親鳥である医療的ケア児の保護者に教えてもらって、医療的ケア児の施設を作った。見た目には普通の一軒家だが、リフト付きの浴室を作った。

医療的ケア児の1例目は、バリバリ働いていた看護師さんのお子さん。急変して人工呼吸器が必要になった。放課後デイサービスに預けようと思ったが、母親の付き添いを求められたため、あきらめた。家から出られず、兄弟の学校行事にも参加できず、毎日自宅で悶々とされていた。医療行為が増えるごとに預け先の門が狭くなる。今はお子さんをあいらんどで預けながら、あいらんどでバリバリ仕事されている。2例目は歩ける医ケア児。30分毎に吸引が必要だが、よく歩く。重心児ではないため重心加算が取れず、受け入れてくれる施設がないため、私たちが受け入れた。3例目はダウン症+心疾患のある子で、RSウィルスに罹患した。両親は共働きしなければならなかった。預かってくれる所がないため、カリヨンの杜に入所されている。母はうちの職員として働いている。おうちに帰したいという願いは強いが、今の家では受け入れられないため、引っ越しを予定されていた。その家を貸して頂いて、あいらんどの運営を始めた。

私は高齢者デイサービスの看護師は医ケア児を看られると思ったが、小児の経験のある看護師でないとできないと言われた。知り合いを通じてNICU経験のある看護師に来ていただいた。

高齢者のデイサービス施設のお風呂を使わせてもらおうと思った。高齢者介護のスタッフは入浴介助や移乗が当然のようにできるし、看護師がいれば見守ってくれる。しかし高齢者施設のお風呂はまだ使わせてもらえていない。私の親鳥の方は、息子の高校生を一人で抱っこしてお風呂に入れている。今は週に1回、うちでお風呂に入ってもらっている。

サーバントの送迎車1台で送迎が回らなくなったため、地域の介護タクシーに送迎を依頼することとした。介護保険事業をやっていたからこそ、このような地域資源を活用できる。ふじみ野市の公的施設に、とても良い機械浴の大浴場がある。使わせてもらいたいが、行政機関同士の問題で、まだ使わせてもらえていない。

児童発達支援管理責任者が不足している。医ケア児専門の放課後デイをさらに立ち上げたい。クラウドファンディングを募集している。

質問①： 共生型の放課後デイを利用する年齢制限は？

0歳から18歳。一番小さい子は3歳、一番大きい子は高校2年生。

質問②： シャワーチェアやリフトを使ってお風呂に入れているのか？

その子によって違う。リフトも身長や体形によって個別に計画を立てて作っている。

質問③： 介護タクシーの料金は誰が負担する？

事業所が負担している。介護タクシーは高齢者でよく使っているため、交渉して料金を負けてもらっている。

4) ねがいのいえ

藤本 真二

必要なことは何でもする。24 時間年中無休の多機能事業の一部として、児童発達支援と放課後等デイを行っている。2003 年 7 月にさいたま市西区でオープンした。2 階建ての一軒家を建てたが、普通の一軒家ではなく、脱衣所を大きくし、廊下を通常よりも 10 cm 広くし、天井に鉄骨を通してブランコを吊るしており、療育に特化した建築である。児童デイ、居宅介護、短期入所といった施設認定は全て取得した。さらに埼玉県独自の生活サポート事業によって、通院通所の送迎を行っている。病院入院中の付き添いやきょうだいを預かるなどの独自活動は実費負担で行っている。

当初から重心型でない通常の児童デイサービスとして定員 10 人で始め、医ケア児も受け入れてきた。心と体の発達を促す療育活動を行っている。ムーブメントセラピー、音楽療法、アート療法、タッチセラピーなど。看護師の雇用が経営を圧迫することが懸念されるが、そこは今回の報酬改定で改善すると思われる。それよりも看護師の確保そのものが困難。そのため、介護士や児童支援員に医ケア研修を受けさせて医ケアを担当させ、看護師が監督している。1 人の看護師が 10 人の支援員に指示している。医ケアの 3 号研修は 1 日で取得できる。重症でない医ケア児は福祉型の通所支援で受け入れ、重症児のみ重心医ケア児として対応する。私は、障害のない子と障害のある子を一緒に育てたいと考えている。2018 年から企業主導型保育所を開設し、2 カ所に増やした。母の就労を保証するため。障害のある子と一緒に保育する中で、障害のある子もいない子も非常に成長する。

保育所等訪問に行き、児童発達支援に来てもらうことの組み合わせで、黒字にしていく。赤字にならないためには多機能事業を運営するのが良い。どの事業も単体では赤字リスクが伴う。必要な支援を 24 時間行くと、報酬が十分に取れる。例えば、

放課後デイの後に介護士が自宅へ送って入浴を介助する。→ 放デイ+身体介護

放課後デイの後に翌日まで子どもを預かる→ 放デイ+医療連携加算、日中の特定短期入所+医療連携加算、夜間の特定短期入所+医療連携加算が算定できる。

症例を示す。

N さん 母は疲労で破綻寸前だったが、医ケア児を週 1 回の宿泊させて母は回復した

M さん 母が急病のため、児を学校へ迎えに行きそのまま特定短期入所で預かった。母は入院したが、入院期間中の 2 週間預かった。

一軒家の放課後デイ・児童発達支援から始まり、就労支援、生活介護、グループホームの男性棟、最重度棟（重度医ケア児と行動障害）、女性棟、保育園 2 カ所の施設を車で 10 分以内の範囲に作った。他にヘルパー派遣、心理士相談の事業も行っている。今後は障害のある子もいない子も預かる児童発達支援・放課後デイ「西大宮児童センター」を作る予定。グループホームの最重

度棟をもう一つ作る予定。人材育成研修を積極的に行っている。ホームページで案内を出している。

質問： 介護保険を使わずにどうやって報酬を得ているのか？

→ 個々のサービスに関する障害福祉の報酬を全て請求している。

質問： 施設で入浴を提供しないのか？

→ 当初は施設で入浴をやっていたが、厚労省が放課後デイは療育の時間だと打ち出してきたため、やりにくくなった。現在は自宅へ送ってから入浴介助をしている。必要とあれば施設でもやれる。

森脇： 佐藤様の施設では、入浴をやっていますよね。コメントは？

→ いろいろな考え方があるが、うちではお風呂に入っている最中に音楽流したり療育したりお勉強させたりしている。また体を洗う、髪を洗う、自分の洋服を用意するなど、生活に必要な技術を学ばせる自立支援の活動と考えている。

質問： アート療法は専門の方が指導しているのですか？

→ 書道、絵手紙などいろいろなことを長年やっている。スタッフも慣れているので、専門の先生がいらっしゃるときは指導して頂き、先生がいらっしゃらないときはスタッフが教えている。

質問： 障害のある子障害のない子とで保育をすると、障害のない子も良く成長するのではないのでしょうか？

→ もちろん。例えば乱暴な子が障害のある子のそばに行くと優しくなったりする。

質問： 人材育成の教育プログラムは藤本さまが考えられたのでしょうか？

→ 今までいろいろ経験して勉強してきたことを元に、うちの施設に合う形でアレンジした。

質問： 一番苦労したことは？

→ 人材の確保

質問： 放課後等デイサービスを利用した子はどういう施設へ移行されているのか？

→ 重症だと生活介護。ただ、困っている人が皆うちの施設に来て欲しいとは思っていない。世の中にそういう人を支援してくれるところが増えて欲しいため。他の施設にお願いして、どこも受け入れてくれないという人だけを受け入れている。グループホームもそう。

5) 全体討論

質問： 看護師さんでなくても出来る仕事を看護師さんに頼むと、嫌がられることはないですか？

山下（そらいろ）： 以前はあったが今はない。コロナで休む子が多いため、人手が余っており、今日は看護師さんが自ら率先して草むしりをやっていた。皆が積極的にいろいろなことをやってくれている。

質問： 医療職が福祉職の上に立つことが多いですが、フラットな人間関係を作るために気を付けていることは？

山下（そらいろ）： 職場のスタッフ同士は「さん」づけで呼ぶようにしている。私自身も代表らしくせず、「社長」ではなく「山下さん」と呼ばせている。スタッフに対しては常々、得意な人に得意なことをお願いしている。「役割をそれぞれに分担し、それぞれの役割はとても重要である。それらが連携しないと、何か起こったときに対処できない。」と伝えている。今ではとてもフラットな関係にある。

佐藤（あいらんど）： 介護士 100 人ほどを統括していた経験があり、女同士いろいろなトラブルがあってもトラブルのたびにしっかり話し合いをしてきた。その経験もあり、医療系と福祉系との間の価値観の違いは感じない。皆自分のできることをやっているの、とても良い人材が揃っている。

藤本（ねがいのいえ）： 団体の雰囲気・風土を作ることが大切。笑顔は日々の雰囲気から醸成されるもの。不届き者がときどき現れるが、そのときは絶対に許さず、はっきり叱る。看護師と介護士との間は上下関係ではなく、看護師は直接ケアをせず介護士がケアしているところを常に見守り、気づいたことがあれば助言させている。

地域とのつながりはどのような取り組みをしていますか？

山下（そらいろ）： 地域のイベントには参加していない。医ケア児はあまり動けないため。できるだけこちらに来てもらっている。ただ、コロナのため今は出来ていない。

佐藤（あいらんど）： コロナのため外部からの訪問はお断りしているが、以前はいろんな方に来ていただいて昔の遊びなんかをやってもらったりしていた。

ねがいのいえ（藤本）： コロナで行事を控えているが、散歩のときに地域の方に挨拶をしている。就労支援施設では日中活動を積極的にやっている。町内の清掃活動とか、お寺のお墓の掃除を頼まれてやったりとか、近隣の高齢者介護施設にボランティアに行ったりとか。就労支援なので、もうちょっとお金を稼ぐ活動をして欲しいのだが（笑）。

グループホームで看取りできますか？

藤本（ねがいのいえ）： 必要なことは何でもやります。

佐藤（あいらんど）： 看取りができるところを紹介できます。

奈倉： 病院で看取することは難しくないが、グループホームとなると事前に訪問診療や訪問看護の協力を得て看取りの体制を作っておく必要がある。そのような体制がある施設は看取りが可能となるでしょう。

開催風景



資料VI-1-1：開催案内

資料VI-1-2：第40回埼玉県小児在宅医療支援研究会 アンケート結果

第40回

第41回と
シリーズ講演です！

埼玉県小児在宅医療支援研究会

『児童発達支援・放課後等デイサービスと医ケア児(1)
～通所支援における医ケア児の諸問題～』日時 2021年 **5** 月 **12** 日(水) 19:00～21:00

場所 Web配信 Zoom ウェビナーで配信

※端末でzoomが使用できるようにご準備ください。(ダウンロード・インストールなど)

※日本小児在宅医療支援研究会事務局(zaitaku@saitama-med.ac.jp)に登録されているアドレスにご案内メールをお送りします。案内メールに従って視聴に必要な事前登録を行ってください。

※当研究会事務局からのメールを受け取ったことが無い方は、研究会HP(<http://www.happy-at-home.org/>)に申込フォームがアップされておりますのでこちらからアクセスをしてください。

会費 無料

講演者

19:10～ 埼玉県障害者支援課

「埼玉県の児童発達支援・放課後デイサービスについて」

19:25～ 山下 信一 様 株式会社ほしのいろ「そらいろ」代表(川越市)

「そらいろが描く療育のいろ」

19:50～ 佐藤 麻由美 様 一般社団法人あいらんど「あいらんどふじみ野」代表(ふじみ野市)

「愛を届けるあいらんど」

20:15～ 藤本 真二 様 NPO法人ねがいのいえ「とっとちゃん」代表(さいたま市西区)

「ねがいのいえの願い」

詳しくは [日本小児在宅医療支援研究会](#) 検索第41回の開催は…2021年**7**月**14**日(水)19:00～21:00

『児童発達支援・放課後等デイサービスと医ケア児(2)～新たな報酬体系による医ケア児の通所支援～』

埼玉医科大学総合医療センター小児科 連絡責任者：森脇 浩一

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981 tel:049-228-3550 fax:049-226-1424 e-mail:zaitaku@saitama-med.ac.jp

<http://www.happy-at-home.org/><http://shounizaitakusien.kenkyuukai.jp/>

第40回埼玉県小児在宅医療支援研究会アンケート集計

「児童発達支援・放課後等デイサービスと医ケア児(1) ～通所支援における医ケア児の諸問題～」
回答 228件(重複回答あり)

【職種】

看護師／助産師	77
医師	52
リハビリ(PT/OT/STなど)	19
医療ソーシャルワーカー(MSW)	11
保育士	10
専門学校／大学の教職員	9
児童指導員	8
相談支援専門員	8
患者家族	5
行政職員	5
介護職員	3
小／中／高校の教職員	3
保健師	3
栄養士	1
学生／研究員	1
薬剤師	1
その他	12

【所属先】

病院	65
通所支援事業所(児童発達支援/放課後等デイ/生活介護)	44
訪問看護ステーション	34
専門学校／大学／研究機関	14
一般の診療所／薬局	11
保育園／幼稚園	8
在宅療養支援診療所	7
相談支援事業所	7
国／地方自治体	6
特別支援学校	5
保健センター／保健所	2
その他	25

【満足度】

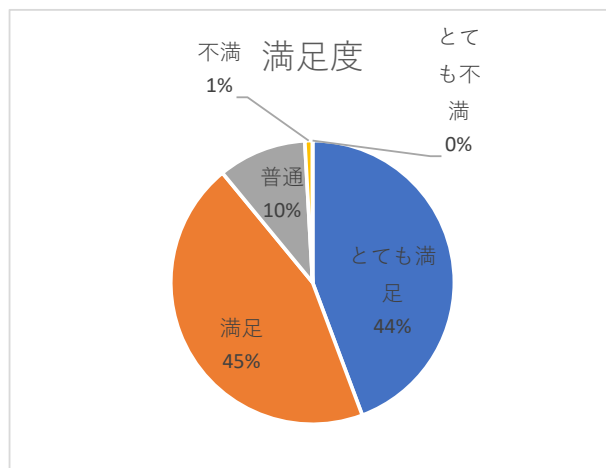
とても満足	101
満足	102
普通	23
不満	2
とても不満	0

【今回の講演は今後の役に立つと思うか】

大変役に立つ	98
役に立つ	102
普通	26
役に立たない	2
全く役に立たない	0

【意見・感想】

参考になった・勉強になった・今後に活かし	67
感銘を受けた・感謝の言葉	42
要望	10
オンライン講演について	5
勇気づけられた	4
質問	4
その他	12



【参考になった・勉強になった・今後に活かしたい】

・利用者さんの課題、入浴、送迎、兄弟との兼ね合い等々、まったくその通りと感じました。なかなか実現することも大変だろうと思うような多様性のある状況に柔軟に対応している先生方の情熱や意気込みを感じて、とても良かったです。ありがとうございました。

・来年、児童発達支援・放課後デイ・訪問看護ステーションの複合施設を立ち上げようと計画をしております。私は医療ケア児の親でもあります。とても参考になりました。ありがとうございました。

・様々な想いでやられてる事業所のお話が聞けて、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。

・毎回、テーマについて、多角的に掘り下げられるプログラムで、とても勉強になっています。講師選定等ご苦労が多いかと思いますが、次回も楽しみにしております。

・訪問先の医ケア児達が次々就学年齢に近くなり、母親達の悩みも深い昨今です。現状が改善し続けるため、自分に何ができるか考えるヒントを頂きました。ありがとうございました。

・放課後デイや児童発達支援事業所など児童福祉の現場での、それぞれの現状・対応策・工夫点などを知りたいと思っていたので、とても有効な情報を頂きました。

・福祉と医療の連携ができてい施設の実践が聞けて参考になりました。そのために心がけていることについても回答があり、これからのケアに生かしたいと思います。

・発表者の方々の実践を聞くことができて勉強になりました。ありがとうございました。

一つ一つの講義をもう少し時間をかけてお聞きしたいと思いましたが、自分では何ができるのか？と考えざる機会をいただいた研修でした。

・途中までしか聴講できませんでしたが、他府県の取組を聞けるのは本当に参考になります。自分の自治体しか知らないと井の中蛙だと感じます。また全国共通の制度や問題点についても学びや反省になります。ありがとうございました。

・通所事業所等を実際に運営されている方の様子を改めて確認でき勉強になりました。

・長年新生児科に勤め、今年退職したため、今後は医療的ケア児の在宅医療に関わりたいと思っています。とても勉強になりました。ありがとうございました。

・調剤薬局の薬剤師ですが、ご質問にも上がっていましたが、私達は普段医療保険の診療報酬と、在宅では介護保険を使ったサービスのため、お話しに出ています報酬や保険の仕組みがよく分かりません。どのような報酬の改定により具体的に何が可能で、誰に対するどのようなメリットか、知識がないためとてもその部分は気になっています。今回の児童発達支援と放課後等デイサービスのテーマにおいて大変ためになりました。薬局の訪問薬剤管理指導で小児在宅に少しでも活かせることを探し、さらに学び続けて参ります。7月も是非参加させていただきます。また資料の配布もとても助かります。有難うございます。

・大変有意義な研修ありがとうございました。人材育成や資金、収支などのご苦労もわかりました。人材育成研修の紹介もありましたので是非参加してみたいです。

子どもが育っていく先まで考えての活動に頭が下がります。

・大変勉強になりました。先進的な環境を作っているところとは裏腹に「医ケア児に何かがあったら大変だから」という理由で、様々なことがうまく進まない現実があります。今日のみなさまの取り組みをもっと具体的に学び、自分のできることをもっと考えてみたいと思いました。

・大変参考になりました。

ありがとうございました。

・多機能型のメリットがわかりました。

「できないと言わない」ことを実践されている方々の思いを知ることができ勉強になりました。

・多角的に考えることが大切であると学びました。ありがとうございました。

・他の地域の取り組みを聞くことができたので、大変勉強になりました。モチベーションがあがります。ありがとうございました。

・制度上のお話から、入浴についてのお話まで、大変学ばせていただきました。ありがとうございます。

・色々、大変な事、素敵な事を聞くことが出来ました。ありがとうございました。

・色々な経験から起業展開されており、そこそこの思いを形やオリジナリティとして行っている様子、参考になるお話でした。ありがとうございました！

・色々なお話を聞くことができて参考になりました。

次回の研修も参加させていただきたいと思いました。

・訪問看護ステーションと相談支援事業所をやっています。医ケア児の支援を今後もしっかりと担っていきたいです。ありがとうございました。

・放課後等デイでの入浴のお話を、利用者が使っているデイにぜひ持っていき、検討してもらおうと思います。

ありがとうございました😊

・放課後等デイサービスと重症心身障害児放課後等デイサービスを運営している一般社団法人ですが、今後グループホームなどもできたらと思っています。とても夢膨らむお話を聞くことができました。ありがとうございました。次回も楽しみにしています。

・動ける医ケア児の預かり場所の少なさを改めて実感したところです。保育園での受け入れに関してより一層力を入れて行かなければと思いました。ありがとうございました。

- ・重症心身障害児・医療的ケア児を対象とした事例や経験談を聞くことはとても参考になりました。
- ・私の地域でも課題となっていることを、様々な工夫や取り組みで乗り越えられており、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・施設へのニーズは、時に学校以上のニーズが保護者は持っていることを実感することがあります。その理念や方針を学校でも個々の対応として連携できると良いと思い、現在行っている他機関との連携は大事であると改めて感じました。ありがとうございました。
- ・残念ながら後半のみの参加でしたが、大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・今年の4月より動ける医ケア児を2名重心以外の放デイで受け入れ始めました。看護師が在住していないこともありスタッフに3号研修を受けていただきました。今回連携しています医療コーディネーターの方より紹介を受け参加させていただきました。今回受け入れるまで医ケア児のことをそこまで知らなかったのもとても勉強になりました。いくつかの事業所のお話を聞き、様々な努力をされているのが分かりました。少しずつですが私も勉強できればと思います。ありがとうございました。
- ・今所属しているところは小児に特化していますが、私自身は小児も大人も、障害も介護も、共存できる仕組みが必要だと考えています。特に佐藤様のお話が参考になりました。
- ・今後も、小児在宅医療支援研究会を続けてほしいです。大変勉強になります。ありがとうございます。
- ・今回の研修では他県の状況や事業所内での工夫点を知ることができ、自分の事業所でも取り入れていきたいと思いました。保育士と看護師の視点の違いや考え方の違いも業務を理解することでより良い方向へと改善できると知り、お互いの言い分を理解し助け合える職場環境の構築へとつなげていきたいと思いました。
- ・今回、放課後デイはどのように行われているのか
埼玉県には、どのくらいの数があるのかなど、興味があったので、参加させていただきました。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・現在の事業である看護小規模多機能を共生型にしたいと考えていましたが、すでにご高齢の方で満杯。なかなか進めていけない状況でした。まず教育の面からも、障害のあるなしに関わらない企業主導型保育園で医ケア児、重症児をお預かりでき体制を整えてみたいと思います。ありがとうございます。
- ・現在、日中一時支援と放課後のお迎えサービスの看護師として勤務しています。
今回の講演会を視聴させて頂き、日々の業務内用の見直しや改善、今後の課題について改めて考えることができました。ありがとうございました。
- ・県内にも充実したサービスを提供する施設が多くあることがわかりました。医療の世界からは介護や福祉の世界がなかなか見えず、また理解が難しいというのが本音です。本日はとても勉強になりました。講師の皆様ありがとうございました。
- ・経営者の方々と関わられた利用者の方々の笑顔が目には浮かびます。取り組みを参考に生活を支える、つくる支援を考えていきたいと思います。
- ・群馬県で重症心身障害診療をしている小児科です。小児在宅医療に関心があり、以前からこちらの研究会にも参加したかったのですが、今回Webセミナーだったこともあり参加することができました。あまり知らなかったことも多く、大変勉強になりました。これからの診療に生かしていければと存じます。ありがとうございました。
- ・具体的に事業を組み立てる過程を知ることが出来てとてもためになりました。
やりたいことを手厚くやるための工夫をされていて、すごく勉強になると同時に、ここまでやらなければ黒字運営できないということが大きな問題だと感じます。
今後も診療報酬改定などを重ねていって、事業参入しやすい状況になれば良いと思います。
- ・具体的な支援の講演はとても参考になります。ありがとうございました。
- ・共生型について、具体的なことを初めて知りました。介護保険の入浴や送迎と児童福祉の療育と両立して、なおかつ、経営も成り立っているということに感心と驚きです。
- ・貴重なご講演ありがとうございました。どうしてもリスクを考えると怯んでしまうことも多い事業なので実際どのようなことを大切に運営されているのかということが分かり勉強になりました。
- ・学びの多い勉強会でした。有難うございました。
- ・各分野で工夫しながら、医療的ケア児の対応をしていることを知ることができ、大変有意義でした。
小児在宅医療に関わるものとして改めて大きな力を感じる事ができました。
- ・各施設の取り組みに興味深く聞くことができました。「地域共生社会」の実現に向けた取り組みでは、埼玉県の医療的ケア児およびご家族は心強いのではないかというのが感想です。青森県の特別支援学校で、学校看護師として働いています。病弱児の学校ですが、ご家族の希望があり、重心身障害の児童が一名います。
人工呼吸器の装着が必要となり、ガイドライン等を整え、家族の付き添いがいない状態での登校を目指し準備を進めているところです。放課後デイサービスの受け入れ施設、送迎サービスをしてくれるところを探すのに難儀しているご家族を支援できるよう、行政の方に相談をするにあたり、様々な視点をいただきました。ありがとうございます。
- ・演者の皆様、有意義な時間をありがとうございました。私の施設の利用者様方からもお話はよく伺いしていましたが、とても素晴らしい取り組みをしていただいていることを知ることができ、考え方等もとても参考になりました。次回もまた視聴させていただきます。

・医療法人が母体の看護小規模多機能居宅介護事業所の、併設訪問看護ステーションに従事しています。小児の訪問看護も行っていますので、医ケア児の生末を思う時、共生型のサービスをやるべきかと考え始めたところに、とても良いお話が聞けました。有難うございました。

・皆さまの先駆的なお話、大変勉強になりました。児童・放デイの子どもたちの生活の充実のため、職員一同、これからも頑張っていこうと思います。ありがとうございました。

・医療的ケア時の預け先の相談を受けることはよくあるため、児童発達支援や放課後等デイサービスの実際の話が聞けて大変勉強になりました。報酬改定のことでも事業所より書類の相談受けることがあるため、次回も楽しみにしております。本日はありがとうございました。

・医療的ケア児を病院の中で見っていますが、地域社会での支援は不可欠な問題と考えています。現在多様化する支援の内容がうかがえて、大変勉強になりました。ありがとうございました。

・医療的ケアの問題は、子どもから成人、さらには、看取りまで、長くかかわるものだと、再認識した。

・医ケア支援の実践的な理解が出来た。次回も楽しみにしています。

・ふだんは放課後に児童生徒さんたちがそれぞれのデイ送迎車に乗って行くのを見送るだけなので経営や療育の工夫、人材育成と色々な努力をされていることがわかりとても勉強になりました。

・ねがいの家の幅広く柔軟な取り組みに目からうろこでした。

・とても有意義な会で、参考になりました。次回以降も視聴したいと思います。

・とても勉強になるお話を聞かせていただきありがとうございました。

埼玉県医ケア児への取り組み方がよく分かりました。

・たくさんの取り組みをお聞きすることが出来、今後の参考にさせて頂きたいと思います。

・それぞれの事業所の特徴があり、又 どの事業所の思いも伝わってきました。今後 参考にさせて頂きたいと思います

・それぞれの事業所の取り組みが大変わかりやすく勉強になりました。写真も多く雰囲気がよく伝わりました。もっと詳しくお聞きしたいと思いました。ありがとうございました。

・ご家族の負担軽減、ご家族の働きたいを支える・社会とのつながりが持てることの大切さについて、共感しました。サービスとサービスの手が重なりながら支えられるように今後も考えていきたいと思いません。

・これまでこのような事業者の方の話を聴く機会がなかったのでとても興味深く拝聴いたしました。自治体出資の発達障害児のためのデイケアはありますが医ケア児を受け入れられないので自治体に働きかけていきたいです。

・8月から重症児デイで働く予定にしています。現在は訪問看護ステーションで働いているため、福祉分野の知識が乏しい状態ですので非常に勉強になりました。次回も楽しみです。宜しくお願い致します。

・4名の講師の先生方それぞれに、とても分かりやすい講義であり、とてもよく理解できました。医療ケア児を受け入れる施設の中でも、様々な形態や経緯で行われている施設があるのだと知りました。

・4月から児発と放デイに携わっています。報酬改定の事などきけて参考になりました。事例では、考え方や取り組み方に聞き入ってしまいました。絶対やるという強い気持ちが3名の方から伝わりました。私も見習いながら、医ケア児や全ての障害を持つ方への支援をしていきたいと思いました。ありがとうございました。

・埼玉県障害者支援課様 県内の医療的ケアの人数把握、大変苦勞されていると思います。人数の多さを把握することにより需要の急務がわかりました。ありがとうございました。

【感銘を受けた・感謝の言葉】

・情熱と信念を持つことが大切だとお話を伺い、改めて思わされました。ありがとうございました。

・素敵なお話を聞けて、とてもいい時間となりました。有りがとうございます。

・有難うございました。これからも頑張ってください。

・必要があることはやります、という言葉が印象に残りました。できないと考えるより、できることからです。ね、ありがとうございました。

・当社でも通常が多機能デイで児童・放課後10名の子どもたちをお預かりしています。開設当初から重心児・医療的ケア児を中心に受け入れている通常デイですので、ずっと赤字経営です。必要なサービスだからと会社も理解を示してくれ、訪問看護の黒字でそこを補填しながらやっています。以前から事業所ではなく、子どもたち個々の状況に応じて報酬単価をかえて欲しいことは国に要望してきましたが、やっと今回の報酬改定で評価されることになり、黒字化できるか？と期待しています。ただ、福祉職にも3号研修で吸引や注入ができるようにしているのに、やはり看護師の手厚い配置は必要で、10名のうち区分3が2名、区分2が1名、区分1が4名など看護師配置が4名必要な日もあったり。・今後はご希望の調整をかなりしていかないと難しいな、と感じています。本日は3事業所それぞれのご苦勞をお聞きしながら、どこも同じような課題を抱えながらやっているんだな、と感じました。久しぶりに生の藤本さんのお話が聞け、さすが・・・と感嘆でした。ありがとうございました。

・素晴らしい取り組み、制度の枠にとらわれない取り組みに、感銘を受けました。

・制度的な話から各施設の実情や課題まで幅広いお話を聞くことができ、大変有意義な時間となりました。

このような研修をご計画いただき、ありがとうございました。

・内容も構成もよかったですと思います。

・小児科医なので主治医をしているお子さんが児発や放デイをつかっています。仕組みとかがなんとなくですがわかって、また、それぞれの事業主さんが思いをもってされていることがわかり感銘を受けました。ありがとうございました。

・最後に感想を述べさせて頂きましたが、医療的ケア児の医療的ケアを継続し健康を維持しつつ、療育、社会参加が行えるよう重心多機能型事業所を開所しましたが、元々、医療職で福祉のノウハウも分からず手探り状態で経営しています。地方の小さな事業所でこのまま維持できるだろうかという不安に苛まれることがありましたが、今日の講師の先生方のお話を伺い、一步一步小さな歩みでも頑張っていこうと思えました。次回も是非、受講させて頂きたいと思えます。ありがとうございました。

・私自身も重度心身障害児を持つ母であり、これまで様々な困った経験がたくさんあるので、24時間無休の支援が必要だと感じました。

今日は、手探りで様々な工夫をされている講師の先生方のお話をお聞きし、自分も頑張りたいと思いました。ありがとうございました。

・思いが伝わってくる素晴らしい発表でした。

この思いが公のシステムにつながっていくことを期待します。

・仕事で途中が聞けずに残念でした。また機会があれば参加させていただきたいと思えます。

・埼玉県内の児童発達支援施設の概要や、それぞれの思いを聞くことができました。ありがとうございました。

・埼玉で熱い思いで取り組んでいる方のお話が聞けて有意義な時間が過ごせました。気持ちが疲れていましたが、明日からあらたな気持ちで臨みたいと思えました。有難うございます。次回も楽しみにしています。

・今年の4月から児童発達支援、放課後等デイサービスに看護師として勤務しております。初めての分野での勤務となり、これから学びを深めていきたいと思っている中で本日の講演を拝聴できて、モチベーションが高まりました。お子さま一人一人の個性を捉えて、健やかに成長ができるように支援していきたいと思えます。次回も楽しみにしております。本日はありがとうございました。

・今回も貴重なご講演をおうかがいできましたことに感謝しております。

どうも有難うございました。

次回もどうぞよろしくお願い申し上げます。

・講師の方の情熱が伝わるとても有意義な内容でした。

ありがとうございました。

・貴重なご講演をありがとうございました。医療的なケアを必要とする子どもたちの生活の質の担保、療育の必要性を考え、良い環境を提供するための努力を惜しまない講師の方々、支援者の姿に感銘を受けました。特に、なかなか拡大されない共生型サービスをうまく活用して、とても大切だけれど大変なお風呂の課題を解決されていることは、素晴らしいと感じました。

・看護師さんとペアを組むことの難しさの根っこがどこにあったのかがわかったような気がします。学校はハードルが高いと思われていますが、自分にできることはなんでもやるスタンスで明日からもがんばります。

・各事業所のリーダーの方の熱意が強く伝わりました。みなさんすごくバイタリティがおりになりますね。私も見習い、新たな方向性を考えていきたいと思えます。

・各管理者さんの施設での特徴が理解できました。佐藤様の「親の立場から、施設がないなら私が創ろう！」というご意見は、本当に多く耳にしてきました。そして、親御さんの中にはどこで何を聞けばいいのだろう・・・とさ迷っているお母さん方にも出会います。介護保険の仕組みのような、一本化された分りやすい制度の必要性を日々感じています。行政の川村様のお話も、次回詳しく伺いたいと思えます。貴重な講演をありがとうございました。

・皆さん独特なサービスで、それぞれが工夫されながらお子さんたちやが家族に向き合っているのが伝わってきました。福祉の方々のお話を聞けるのはとても新鮮です。次回の報酬がらみのお話も楽しみにしております。

・会員の方からのご紹介をいただき、研修に参加させていただきました。夫々、情熱を感じる取り組みに感銘を受けました。有難うございました。

・課題の多い中で各施設の利用者のニーズに沿った取り組みを知り感銘を受けました。いろんな制度を組み合わせないと黒字経営できない複雑さを解決していくことが、施設数や人材確保に直結していると感じました。一部の方の頑張りがないと機能しない現状を理解することができました。また7月に参加させていただきたくお願いいたします。

・医療が必要な子たちを生活から支えて下さる方々の熱い思いを聞かせていただきました。私たち医療者も同じ気持ちです。これからはがんばってください。

・医ケアの子供さんが過ごせる場所が増えますよう。お母さん達も働ける制度ができることを願います。ありがとうございました。

・やはり世間は広いといえますか、こういう方々がいらっしやるのだと視野が広がりました！ 論語とそばんではないですが、とても大事だと感じました。7月もぜひ参加したいと思います。ありがとうございました。

・とても情熱的な施設ばかりで、驚きました。このような施設が増えていけばありがたいです。
・ここ数年、放課後デイサービスの充実を感じます。私は、高校卒業後の居場所の確保について課題があることを感じながら、自分には何が出来るか模索しています。次回の勉強会も楽しみにしております。ありがとうございました。

・クリニックと多機能型を開設したく 勉強になりました。藤本さまは スーパーマンですね。あのスピードで事業展開した場合、理念の多様化も必要ですが、ただ一つ なんでもする なんですね。ある面自然体で 納得できました。ありがとうございました。

・エネルギーと思いやりのある先生方の講演に元気をいただきました。

・いろいろな実践のお話が聞けて良かったです。

・ありがとうございました。また参加したいです。

・ありがとうございました。

大変興味深く拝聴させていただきました。

日々、試行錯誤しながら進めておりますが、背中を押していただいたような気持ちです。

とても参考になりました。

・ありがとうございました

・5時以降に入浴させてくれる訪問看護師がほとんどいないため、放課後デイでの入浴が重要であることを痛感しております。また、経営のやり方についても学ばせていただき、感謝です。

・3名の先生方の熱い支援のもと、医療的ケア児が地域でよりよい生活ができることを今後も望んでおります。貴重なご講演ありがとうございました。

・3人の講師の方のご講義、素晴らしくとても感銘を受けました。医療ケアがあるとどうしても利用できる資源が少なく、悩みの種です。そのような中において、発想の転換や捉え方で、医ケア児を取り巻く環境は変わるのだと実感できました。埼玉県は素晴らしい取り組みをされていて、羨ましく思いました。次回も楽しみにしております。

・3施設共に素晴らしい取り組みをされておられ、感激しました。今後もこの埼玉小児在宅医療研究会でこのような地域に根ざしながら全国の関係者にとって役立つ有意義な企画をご紹介して下さる事を期待しています。

・「ねがいのいえ」藤本さんの求められることは何でもやるという考え方に感銘を受けました。それで経営を成り立たせるには相当な知恵も工夫も努力も必要だと思います。

そんな事業者がたくさん増えますように。

・今日はありがとうございました。私は東京の保育士・教員・心理師の養成大学の教員をしております。

5月7-9日に日本新生児成育医学会の学術集会に参加し、その後もさらに学びたいと思い、ネット検索でこちらの研究会を知りました。今日参加してみて、現場でこんなにも努力されている施設の方がいらっしやることに大変驚きました。私のゼミ生で「将来、地元(富山)に帰省したら、障がいの妹が入所できる共生型の障害者施設を作りたい。」という夢を持っている学生がいます。本日の講演会を拝聴して、彼女にも「あなたの夢はきっと叶うよ」とアドバイスできそうです。今日の講演会を学生たちにも声をかけたのですが、昨日(5月11日)の午後の段階では、もう申し込みが終わっていたようです。とても残念がっておりましたので、今回は、早めに申し込みをして一緒に参加したいと思います。今日は本当にありがとうございました。

【勇気づけられた】

・本当に有意義な会で画面の前で盛大な拍手をさせていただきました。私は医療的ケアのある重心児の母ですが、登壇された皆様のようなパッションのある支援者の方がいるということに勇気づけられました。

私が住む川崎市でも全国同様、預け先は十分でなく役所職員となんとか話し合いに漕ぎ着けましたが、事業所が増えないことは経営的な面で難しく、熱意のある支援者頼みとなっている。役所の我々にはどうしようもないから何もできない、のようなことを言われて落胆しておりました。

本日共有された経験やノウハウが広く共有されてほしいと強く思います。

また、埼玉医療センターのお医者様が主催とのことも感銘を受けました。この活動が、神奈川県でも飛び火して、全国的に活発になってほしいです。

次回の勉強会も楽しみにしております。(今日はウイングスに登録した家族会へのメールより参加させていただきました)

・同じような悩みや考えで頑張っている方々のお話を伺い元気を頂きました。

ありがとうございました。

・大学病院の中での福祉職は、正直、命の現場では知識も足りず立ち位置が難しく苦しい思いを致しますが、地域の中に帰り、在宅として生活していく事を考えると「医療モデル」を「生活モデル」へ繋ぐ、なくてはならない繋ぎ役だと思っております。先生方のお話をお伺いし、さらに勇気をいただきました。有難うございました。

・私も重心の児童発達支援事業を開所したいと思い、児童発達管理責任者の資格を取得しましたが、資金的な問題もあり、なかなか開所する勇気がありません。今回、色々お話を伺い勇気をもらいました。次回の報酬改定のお話も参考にしたいと思います。

【質問】

・保育士として就学前の肢体不自由児の療育をしています。一緒に働くメンバーが看護師のため子どもの発達や保育の進め方、就学に向けてなどどう共有すればいいか毎日思案しています。『預かる』場所で『楽しく』過ごすだけでなく年齢相応の心身の発達を全てのスタッフが支援できるために他の施設ではどうしているのか知りたいです。
・そいろいろ様 看護師が再挿入をするケースが多いとのことでしたが、危機管理意識としてインシデントを起こした場合の分析などはしていますか。
・あいランドふじみ野様 保護者兼職員の方がいらっしゃるとのこと。その方の場合、1日中一緒のため、体や心が休まらないということはありませんか。あえて、分離する時間を設けたりするのでしょうか
・ねがいの家様 24時間お預かりをすると、救急搬送などが必要になった場合、人員が足りなくなるのではないのでしょうか。救急車への同乗はどうされていますか。

【要望】

・東京都の情報を知りたい
・制度の仕組みを深く知りたい
・職種と所属先に、相談支援専門員(医療的ケア児等コーディネーター)、所属先に特定相談・障害児相談支援事業所を加えてください。選択肢が無く、福祉職に近いカテゴリを選択しましたが、相談支援専門員、医療的ケア児等コーディネーターとして医ケア児等とそのご家族を相談支援しています。
・重心多機能型放課後等デイサービスで働いて、1年になろうとしています。送迎の問題、人員不足、広さの問題などその都度スタッフと話し合いより良いケアが提共できるように日々奮闘の毎日です。失敗談から解決までの話など聞けたら参考になるかなと感じる部分もあります。
皆さんの話が聞けて多くのことを学んでいきたいなと感じました。ありがとうございました。

・研修ありがとうございました。

医療的ケア児を受け入れる事業所が少ないという課題はずっと言われ続けていることですので、今回新たに立ち上げた方々のお話ということで、何か事業所を立ち上げるためのおもしろい仕掛けがあったのかと期待していました。お話をお聞きして、立ち上げられる方の情熱によるものがやはり大きいのだなと感じました。

受け入れる事業所が広がるように、我が町に事業所を開設するために行政や地域がこんな働きかけをした等の事例があれば是非お聞きできればと思います。

ありがとうございました

・皆様お忙しい中講演してくださり、現状がよくわかりました。今後共様々な分野の方のお話しが聞けるきかひがあればありがたいです。

・医療的ケア児に対する法などが、どんどん進んでいる感じがします。県庁の方の話をもう少し聞きたかった気もしますが、資料を見せていただきます。

ありがとうございました<(_)>

・医ケアに関わる制度の改定が伺えたことが良かったです。訪問看護にいと介護保険や診療報酬に関する改定は情報が届きますが、障害関連は注意していないと情報が入手できないので、今後も改定時に教えていただけると助かります。

・やはり、事前の資料が、欲しかった。オンラインなので、スマホでみていて、文字が小さく、見づらかった。

・とても貴重な講義をありがとうございました。重症児者に関わるリハスタッフをしています。療育の担当もさせていただいています。実際、重症児や医療的ケア児の医療と療育を他施設ではどのように行っているか今後の研究会の講義で伺えたら明日からの業務にさらに活かしていけるとと思います。ご検討頂けたら幸いです。

【オンライン講演について】

・質問したいことが出たとき、チャットですぐに書き込むことができオンラインセミナーの良さを感じました。

・パソコンで音声を最大にしていたのですが、やや声が遠く、聞き取りにくいことがありましたので、可能な限りで改善して頂けたらありがたいです。貴重な研修に参加できとても勉強になりました。ありがとうございました。

・アーカイブで再講聴できたら嬉しいなあと思いました。

・オンラインだと、勤務に支障なく参加出来るため助かります。今後もよろしくお願いします

・いつも本当にためになる講演ありがとうございました
今後もぜひオンラインを続けていただけると幸いです
よろしくお願いいたします

【その他】

・都道府県や市区町村毎に利用できるサービスが違ったりする偏りがある中でやはりご講演頂いた先生方がなんとか作り上げたものを制度が後押しして普及していくことを願います。

・質疑応答の時間をしっかりとっていただきありがとうございました。

・仕事の関係で間に合わず、後半1時間のみ視聴させていただきました。初めて視聴させて戴きました。過去のお話もとても興味のあるもので、今まで参加できなかったことが残念でした。

医療的ケア児の支援に関わらせていただいておりますが、近隣には使える資源がなかなかありません。こんな事業所が近くにあると助かるのに…ととても羨ましく思いました。

現在、私の地域では特別支援学校に通い始めた医療的ケア児の通学、学内での親の付き添いが課題になっています。

医療的ケア児の通学は学校のバスに乗れず(看護師がいないため)親の送迎が必須ですが、呼吸器をつけているお子さんを親1人では車での送迎は危険が伴います。そして通学を諦めて訪問教育にするとお子さんも沢山います。東京や神奈川、他県では特別支援学校での看護師を配置して通学できる支援が始まっていますが、埼玉県ではなかなか話題ができません。通学で使える福祉サービスは限界があり、親の金銭的負担をなかなか軽減することができません。埼玉県教育委員会にも何かの形で働きかけることができたら、と思う毎日です。

・埼玉の条例？があるからこそ、出来ているものも多いのではないかと思った。

今日登壇された方々はそのモデル事業をされていると思うので、全国に広まって行って欲しいと思う。

・特色のある事業所が集まっていたという印象でした。

・公立保育園で看護師しています。“動ける医ケア児”の受け入れはなかなかハードルの高さを痛感しています。医療行為が必要だが運動面や知的面の発達はほぼ正常みたいな児の受け入れ先が充実するべきと思います。そらいろの山下さまが言っていた「医ケアがあっても保育園に通える制度の充実」を切に願います。

・医療的ケア児の保護者から保育所入所希望がある。ほかのサービスも無いため、家庭内で過ごしている。今日の研修で志がある人でないといけないのかなと感じた。

・医療的ケアを必要とする子どもや、家族さんにとって、これから過ごしやすく、活動しやすく、生活の質の向上につながっていくことが出来ますように。もちろん、医療的ケアの子どもたち、だけではありません。高齢者も疾病や障害などをもつ方々、関わっていく医療従事者、他職種のスタッフ、て取り巻く家族にとっても。

・まとめでおっしゃられていたように、かなりパワフルに立ち向かわないと成立させるのが困難というのが少しでも解消されていけばと思います。

・また参加します

・24時間365日必要なことは何でもやります 理想です

・事務局様 毎回、勉強になる研修を開催していただき、ありがとうございます。今回のように、質問に対して各講師から回答をいただく時間があつたことは、とても良かったと思います。

2. 第41回小児在宅医療支援研究会

テーマ

「児童発達支援・放課後等デイサービスと医ケア児（2） ～新たな診療報酬体系とは～」

日時： 2021年7月14日（水）19：00～21：00

場所： Web配信 Zoom ウェビナー

1) 児童発達支援・放課後等デイサービスの新たな報酬体系とは？

埼玉医科大学総合医療センター小児科 奈倉 道明

2) そらいろ

山下 信二

3) あいらんどふじみ野

佐藤麻由美

4) ねがいのいえ

藤本 真二

資料VI-2-1：開催案内

資料VI-2-2：第41回埼玉県小児在宅医療支援研究会 アンケート結果

第41回

5/12に開催された
第40回の続きです

埼玉県小児在宅医療支援研究会

児童発達支援・放課後等デイサービスと医ケア児(2) ～新たな報酬体系とは～

日時 2021年 **7** 月 **14** 日(水) 19:00～21:00

場所 Web配信 Zoom ウェビナーで配信 (18:50より入室可能)

※端末でzoomが使用できるようにご準備ください。(ダウンロード・インストールなど)
※申し込みフォームのURLは研究会HP (<http://www.happy-at-home.org/>) をご参照ください

会費 無料

講演者

19:10～ 埼玉県障害者支援課
「新しい報酬体系について」

19:30～ 山下 信一 様 株式会社ほしのいろ「そらいろ」代表 (川越市)
「そらいろに蝶が舞うごとく」

19:55～ 佐藤 麻由美 様 一般社団法人あいらんど「あいらんどふじみ野」代表 (ふじみ野市)
「共生型が愛を広げる」

20:20～ 藤本 真二 様 NPO法人ねがいのいえ「とっとちゃん」代表 (さいたま市西区)
「必要なことは何でもやる！」

視聴後アンケートにお答え頂いた方には
講義資料を配布する予定です。

詳しくは **日本小児在宅医療支援研究会** 検索

埼玉医科大学総合医療センター小児科 連絡責任者：森脇 浩一

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981 tel:049-228-3550 fax:049-226-1424 e-mail:zaitaku@saitama-med.ac.jp

<http://www.happy-at-home.org/> <http://shounizaitakusien.kenkyuukai.jp/>

第41回埼玉県小児在宅医療支援研究会アンケート集計

「児童発達支援・放課後等デイサービスと医ケア児(2)～新たな報酬体系とは～」

回答 154人

【職種】

看護師・助産師	62
医師	17
リハビリセラピスト	15
相談支援専門員	12
医療ソーシャルワーカー	7
教員（専門学校・大学・大学院）	7
児童発達支援管理責任者	6
行政職員	4
薬剤師	4
事務員	3
保健師	3
児童指導員	3
患者・家族	2
研究員・学生	2
保育士	2
社会福祉法人役員	1
医療事務	1
教員（小中高校・特別支援学校）	1
社会福祉士	1
障がい者基幹相談支援センター	1

【満足度】

とても満足	51
満足	76
普通	26
不満	0
とても不満	1

【今回の講演は今後の役に立つと思うか】

大変役に立つ	65
役に立つ	60
普通	28
役に立たない	1
全く役に立たない	0

【講師への意見・質問】

勉強になった、分かりやすかった	39
スライドの文字が小さくて見にくかった	5
もっと丁寧な解説をゆっくり聞きたかった	3
声が聞き取りにくかった	1
その他意見・質問	17

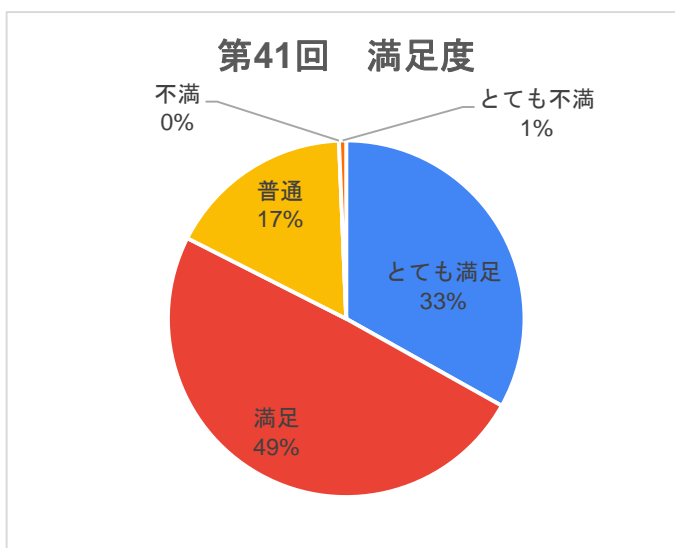
<その他意見・質問>

意見

・デイ施設でのお泊まりをしていきたいと思っているので、お泊まりについての報酬が具体的に提示される様になると、色々問題はでてくるかもしれないけど、頑張ってやってみたいなと思っています。

・放課後等デイサービスや児童発達支援センターなどの経営状況について学べたことが嬉しく思いました。看護師の現状はまだ厳しい配置体制なのだと痛感致しました。事業所側が納得した支援制度に取り組むことができるように私自身願っています。ありがとうございました。

・子ども・家族/病院/福祉/学校/行政の連携について考えさせられた。お互いの立場を超えて、子どもと家族のために何が出来るかを考えられる関係性が出来たら良いと思う。



- ・医療ケア児の保育園の壁がやはり高い気がします。都道府県でかなりばらつきがあるかと。
- ・支援ニーズと制度の狭間での工夫とご苦労が伝わってきました。「ショートスティ黒字の秘策」は、当事者と家族の生涯支援でもあり説得力がありました。今後は是非展開したいと思いました。
- ・医ケア児の支援について手探りでしていた時代もあり、今回制度化されるということで再度学びなおしたいと考えていますが、行政の判断にゆだねられる部分もあり、自治体によっても異なる点が多いと実感しました。地域や状態を知ってる人達で支え、最終的には親離れ子離れしていくという言葉には納得しました。健常者と同じようにそういった考え方や方針、方向転換が必要だと認識しました。
- ・チョイスミス

質問

- ・公立保育園看護師しています。現場にいると報酬のことなど、ちんぷんかんぷんです、すみません。保育園で働ける医ケア児をみていましたが、報酬は市に入るということでしょうか？今の園は医ケア児受け入れにはマイナスイメージが強いのか、公立保育園なのに医ケア児が入園するには高い壁があります。法律もできたので、医ケア児が少しでも入りやすくなれば...と思います。
- ・制度について、色々とお話しいただき大変有難うございます。少しは分かってきましたが、まだまだ自信でも学んで行きたいと思います。現状でサービスの状況は、常に埋まっているものなのでしょうか。（サービスの種類によって違うとは思いますが）
- ・特に医療行為がなく、看護師の必要性がないので一般事業所であるうちの児発で酸素のお子さんを預かっていますが、医ケア児を受け入れているという算定になるのでしょうか？同様に小児脳腫瘍、ウエスト症候群のお子さんもあずかっていますが、その子も医ケア児としての算定になるのでしょうか？他施設の職員の仕事に対する姿勢は本当に良い刺激になります。本気で取り組んでいる様子がとても伝わりました。
- ・一般事業所で医ケア児を受け入れるケースが増えることが想定されるので、具体的な対応策（スペース分けや交流方法）などを知りたい。営利事業所への抑止と改善の求め方、対策を知りたい。
- ・一般放課後デイサービスの看護師の配置は利用者の利用時間の常勤換算になりでしょうか

奈倉医師

- ・未就学児が児童発達支援センターに提出する指示書は、学校ではないため文書料が発生するが、就学したら無料になるという認識で正しいでしょうか。
- ・内服管理も医療的ケアに含まれると発言されていたように思いますが、その項目はどこをみればわかりますか。もしくは、医師が記載する判定スコアに記入する欄などがあるのでしょうか。（どちらも良く聞き取れなかったため、間違えであった場合はすいません。）

事業所の方すべて

- ・医療事故に対する保険はどうされていますか？個人？施設？

藤本様

- ・夜間でも駆けつけるとのことですが、その場合誰が駆けつけるのですか？もしも、看護師が駆けつけた場合、次の日の勤務体制はどう変更するのですか？きっと利用者さんの数から翌日の看護師人数は減らせないケースが多いかと思いますが。

佐藤様

- ・2年後を見据えて関係者全体でスケジュールを立てている場があると聞いて、とてもうらやましく、本当に理想的な環境だと共感しました。可能であれば、どの区市町村か教えていただきたいです。

山下様

- ・保育所等に出向かれて、具体的にどんなことをしているのですか？うまく移行したケースの成功ポイントは何だと考えますか？

要望

- ・今回は都合で難しかったが、自治体職員の声聞きたい。

・質問ではないのですが、要望です。当方、訪問看護ステーション併設で超重症児が9割以上の重心型多機能事業所をしています。重心型は報酬改定の影響もなく、送迎単価も低いですが、児発も放課後等デイも入浴サービスを持ち出しでしています。保護者ニーズは、自宅での入浴から放課後デイなど外で入浴を、に変わってきていますが、児童福祉法ではそのような加算はありません。重心型の単価も上げてほしいし、実施しているケア内容や医療依存度に応じての単価区分を設定していただきたいなと思います。

- ・各事業者さん各々に特色があるようでしたので、お三方のフリートークが聞いてみたかったです。
- ・ゲストなどで、他の地域の活動の発表があると嬉しいです。

【Web講演会の運営に関する意見や要望】

参加しやすい	6
続けてほしい	3
感謝の言葉	7
その他要望	5
インターネット接続が悪い・よく聞こえない	9
資料がほしい	7
その他感想	1

<その他要望・感想>

- ・来年の診療報酬改定に関する講義を奈倉先生からお聞きしたいです。
- ・医療的ケア児に関わらず、発達障害についてもとりあげてほしい
- ・今日は事情により欠席だったが、できる限り県、市町村の方の考え方もきけるといい。

- ・お時間内にお答えになれないご質問がある場合、ご回答を参加者全体に共有いただけるようですと、みなさまにも有益ではないかと思えます。ご回答から新たな学びを得ることもあろうかと存じます。いつも貴重な機会をいただいておりますことに感謝申し上げます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

- ・訪看の家族からも看護師経験年数はあまり関係なく小児やNの経験があるナースとの技術の差があるとよく耳にしますのでzoomでも研修が再開していただけたら嬉しいです。

- ・以前のように夜集まるのではないので参加が楽になりましたが、会場での参加者の方々の気迫が直に感じられないのは残念です。

【講師への意見・質問】

声が聞き取りにくかった

- ・マスク装着の話は聞き取りにくかった。

もっと丁寧な解説をゆっくり聞きたかった

- ・現場の視点で、新しい制度についての丁寧な解説をもっとお聞きしたかったです。
- ・違いが良くわかるように説明してほしい
- ・診療報酬改定についてはとても興味深い内容でしたので、もっとゆっくり伺いたかったです。

スライドの文字が小さくて見にくかった

- ・内容が豊富だったので、もっとゆっくり聞きたかったのと、スライドを大きな文字にして見やすくしていただけだと嬉しかったです
- ・演者の顔はできるだけ小さくして、共有画面のppt.を画面いっぱいみたいです。
- ・もうすこし大きな文字だと見やすくうれしかったです。
- ・パワーポイントはスライドショーでお願いしたい。（画像が小さくなって見にくいので）
- ・スライドショーに設定して見せて欲しい

勉強になった、分かりやすかった

- ・ショートステイの話、大変ためになりました。卒後の場所が不足しています。
 - ・診療報酬が改訂されても、大変な面はまだまだあることがわかりました。ありがとうございました。
 - ・現状をお話していただき、分かりやすかったです。
 - ・我々医療が把握できていないところ、支え切れていないところを支えてくださっている事業者さんの実際を知ることが出来て勉強になりました。
 - ・リアルな現場の声が聞いて良かったと思います。
 - ・現状をお話していただき、分かりやすかったです。
 - ・我々医療が把握できていないところ、支え切れていないところを支えてくださっている事業者さんの実際を知ることが出来て勉強になりました。
 - ・貴重なお話をありがとうございました。
 - ・看護師さんの話が聞けたので、同業として参考になりました。
 - ・新しい報酬体系について具体的に学ぶことができました。ありがとうございました。
 - ・リアルな現場の声が聞いて良かったと思います。
 - ・現場の現実の声を聞くことができ、参考になりました。
 - ・講師の先生方、生の声をありがとうございました。それぞれの先生の信念がとても伝わってきました。ありがとうございました。
 - ・忙しい中お話しいただき、ありがとうございました。
 - ・貴重なお話をありがとうございました。
- とても貴重なご講演をありがとうございました。医療的なケアを必要とする子どもたちが、子どもらしく平等に保育を受けたり、教育を受けられる社会に近づいてきたと実感しています。
- 「ねがいのいえ」藤本様からご講演いただきました。多機能型事業所の取り組みは、調整する立場の相談支援専門員としては、とても心強い社会資源であると思いました。
- 一つ感じたことです。日中活動と夜間過ごす場が同じ場所、同じ支援者である安心感はそのとおりですが、地域社会との接点、その中だけで完結してしまわない工夫などはどのようにされているのか？気になりました。
- ・新しい情報や現場での実際をわかりやすく発表いただきありがとうございました
 - ・お忙しい中大変わかりやすいお話しでとても役に立つ情報ばかりでした。
 - ・報酬改正から、現場の声など幅広く勉強できました。
 - ・現状の正直なお話が聞いて大変勉強になりました。ありがとうございました。
 - ・現状について知ることができました。ありがとうございました。
 - ・皆様とても分かりやすくお話しいただき、ありがとうございました。
 - ・皆様の頑張っている姿勢は大変刺激になりました。ありがとうございました。
 - ・皆様の率直な意見や様々な情報、智見を伺って参考になりました。
 - ・医療報酬理解しにくいですが、わかりやすく教えていただきありがとうございました。
 - ・経営にかかわるご苦労の一端をうかがうことができました。
- どうも有難うございました。
- ・貴重なお話大変ありがとうございました。御三方とも医ケア児に対して情熱や熱意を感じ、自分が親だったらこのような施設に預けたいと素直に思いました。

・藤本様のお話を一度聞いてみたいと思っていました。来年は法人主催の研修を受けたいと思いました。佐藤様のお子さんのことでの学校とのやりとり、学校の対応はあるあるですが、そこを超えていかないと、学校への医ケア児の通学は進まないと思地道にする覚悟はもっています。

・医ケアスコを医師がつけることは、当院外来であまり聞いていなかったもので、参考になりました。小児科・新生児科医師に確認してみようと思います。各施設の様子が見れて、今後の退院調整の参考になりました。

大変貴重な講演ありがとうございました。当院でも最近小児神経外来を始めたため、診断・カウンセリングを行うだけではなく、その子の生活（療育）に寄り添いながら医療サービスの提供を行っていかうと改めて感じました。親御さんからは「医療機関に相談するのは敷居が高い」というお言葉や、障害福祉サービスを行っている事業所側からは「近年は診断しか行わず療育全体のことをあまり考えてないような医療機関が多い」というご意見も伺ったことがございます。近隣医療機関の先生の方針等もあらわれるとは思いますが、あくまでも主役は支援を必要とするお子様であり、私たちはその子や親御さんが安心して療育にすすめるよう寄り添いながら医療サービスに従事していかうと考えております。法律が改正されたからやらないといけないという考えではなく、本日の講演の様にその子たちを地域で支えるためにどうしたらよいかという前向きな議論が各地で行われると、埼玉県全体で素敵な街になっていくのではないかと感じています。今後も研修会に参加させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

・本日は貴重な学びの機会を頂き誠にありがとうございました。私は保育士や幼稚園、小学校の教員養成大学の教員をしております。コロナ禍で学生を病院や施設にまともに見学に連れて行くことができないので、このような機会をご用意ただけて大変ありがたく思っております。今回もゼミの学生が参加させて頂いております。明日、学生たちと今日学んだことを振り返りたいと思います。今日ありがとうございました。

・保護者と学校の縫に、子どもと保護者の意思を最大限に尊重、地域の中で普段から無理なくお互いに慣れていくことで本人の世界が広がるのを支えるなどなど、とても力強いお話を聞く事が出来て、また勇気が湧いてきました。子どもたちの今の生活の充実と、将来の生活につながる過程を大事に関わっていけるように頑張ります。（いい看護師さんがもう少し見つかるといいのですが。）ありがとうございました。

・病院で働いているため、制度上のことなどの話は難しく感じたが地域における子どもの様子や、動ける医ケア児が学校に行くために自分で吸引ができるように地域で練習をしていることなど、興味深い内容でした。今後、地域と病院がどのように連携していくのか、またどのように連携しているのか、それぞれ関わる職種の立場からうまくいった事例や難しかった事例についての話聞いてみたいと思います。

・埼玉県の皆様がそれぞれに障がい児に対して思いをもって取り組まれていることに感銘を受けました。私は訪問看護をしておりますが、地域のニーズに合った取り組みをしていきたいと思います。いろいろな要望を障がい児の親からもいただきますが、なかなか新たな一歩を踏み出すことができません。藤本様がおっしゃったように4人いればできる、という私以外の3人を見つけないと思いました。貴重なご講演、ありがとうございました。

・令和3年度の報酬改定の効果等を、行政の立場から地域の支援機関へ伝える術の参考にしたいと、参加させていただきました。制度のスキームから現場からの声まで伺うことができ、大変参考になりました。また、ショートステイからグループホームへ…のお話は非常に明瞭で、共生社会の根幹をお伺いした思いです。大変参考になりました。ありがとうございました。

人工呼吸器を使用しているお子さんも看護士さんの乗っている送迎バスに乗れ、特別支援学校の付き添いからお母さん達が解放される日が来ることを願っている担当者です。特別支援学校側も県が動かないとどうにもできないといった状況のようです。縦割りである行政。関係部署は是非医療的ケア児の現状を理解し、問題解決できる手段を考えていただきたい。毎日の母親の付き添いが負担となり、時間の限られた訪問教育を選択せざるを得ないお子さんがいなくなる日が来ることを願っています。

どの講師の方のお話も共感できてとても参考になりました。ありがとうございました。

・初めて参加させていただきました。報酬改定については理解するのがとても難しかったのですが、現場で働いている方のリアルなお話が聞けて勉強になりました。報酬改定についてはもう少し勉強してから聞いた方がより理解が深まると感じました。

・私はセラピスト、教員どちらもなので、いつも非常に多くのことを学ばせて頂いています。学校という現場にいるとギャップや制度の難しさは日々感じますが、教育のプロとして今後も勉強させていただきます。

いつもありがとうございます。

・今回初めて参加させて頂きました。大変わかりやすく、とても興味深い内容でした。福祉分野の法律や制度についてはとても疎いため、またこのような講演会を開催いただけますと大変ありがたく存じます。今後ともよろしくお願申し上げます。

意見

・デイ施設でのお泊まりをしていきたいと思っているので、お泊まりに関しての報酬が具体的に提示される様になると、色々問題はでてくるかもしれないけど、頑張ってみようかなと思っています。

・放課後等デイサービスや児童発達支援センターなどの経営状況について学べたことが嬉しく思いました。看護師の現状はまだまだ厳しい配置体制なのだと思感致しました。事業所側が納得した支援制度に取り組むことができるように私自身願っています。

ありがとうございました。

・子ども・家族/病院/福祉/学校/行政の連携について考えさせられた。お互いの立場を超えて、子どもと家族のために何が出来るかを考えられる関係性が出来たら良いと思う。

・医療ケア児の保育園の壁がやはり高い気がします。都道府県でかなりばらつきがあるかと。

・支援ニーズと制度の狭間で工夫とご苦労が伝わってきました。「ショートステイ黒字の秘策」は、当事者と家族の生涯支援でもあり説得力がありました。今後は是非展開したいと思いました。

・医ケア児の支援について手探りでしていた時代もあり、今回制度化されるということで再度学びなおしたいと考えていますが、行政の判断にゆだねられる部分もあり、自治体によっても異なる点が多いと実感しました。地域や状態を知ってる人達で支え、最終的には親離れ子離れしていくという言葉には納得しました。健常者と同じようにそういった考え方や方針、方向転換が必要だと認識しました。

・チョイスミス

質問

・公立保育園看護師しています。現場にいると報酬のことなど、ちんぷんかんぷんです、すみません。保育園で働ける医ケア児をみていましたが、報酬は市に入るといえるのでしょうか？

今の園は医ケア児受け入れにはマイナスイメージが強いのか、公立保育園なのに医ケア児が入園するには高い壁があります。法律もできたので、医ケア児が少しでも入りやすくなれば...と思います。

・制度について、色々とお話しいただき大変有難うございます。少しは分かってきましたが、まだまだ自信でも学んで行きたいと思っています。現状でサービスの状況は、常に埋まっているものなのでしょうか。（サービスの種類によって違うとは思いますが）

・特に医療行為がなく、看護師の必要性がないので一般事業所であるうちの児発で酸素のお子さんを預かっていますが、医ケア児を受け入れているという算定になるのでしょうか？同様に小児脳腫瘍、ウエスト症候群のお子さんもあずかっていますが、その子も医ケア児としての算定になるのでしょうか？他施設の職員の仕事に対する姿勢は本当に良い刺激になります。本気で取り組んでいる様子がとても伝わりました。

・一般事業所で医ケア児を受け入れるケースが増えることが想定されるので、具体的な対応策（スペース分けや交流方法）などを知りたい。営利事業所への抑止と改善の求め方、対策を知りたい。

奈倉医師

・未就学児が児童発達支援センターに提出する指示書は、学校ではないため文書料が発生するが、就学したら無料になるという認識で正しいでしょうか。

・内服管理も医療的ケアに含まれると発言されていたように思いますが、その項目はどこをみればわかりますか。もしくは、医師が記載する判定スコアに記入する欄などがあるのでしょうか。

（どちらも良く聞き取れなかったため、間違えであった場合はすいません。）

事業所の方すべて

・医療事故に対する保険はどうされていますか？個人？施設？

藤本様

・夜間でも駆けつけるとのことですが、その場合誰が駆けつけるのですか？もしも、看護師が駆けつけた場合、次の日の勤務体制はどう変更するのですか？きっと利用者さんの数から翌日の看護師人数は減らせないケースが多いかと思いますが。

佐藤様

・2年後を見据えて関係者全体でスケジュールを立てている場があると聞いて、とてもうらやましく、本当に理想的な環境だと共感しました。可能であれば、どの区市町村か教えていただきたいです。

山下様

・保育所等に出向かれて、具体的にどんなことをしているのですか？うまく移行したケースの成功ポイントは何かと考えますか？

・一般放課後デイサービスの看護師の配置は
利用者の利用時間の常勤換算になりでしょうか

要望

- ・今回は都合で難しかったが、自治体職員の声をききたい。
- ・質問ではないのですが、要望です。当方、訪問看護ステーション併設で超重症児が9割以上の重心型多機能事業所をしています。重心型は報酬改定の影響もなく、送迎単価も低いですが、児発も放課後等デイも入浴サービスを持ち出しでしています。保護者ニーズは、自宅での入浴から放課後デイなど外で入浴を、に変わってきていますが、児童福祉法ではそのような加算はありません。重心型の単価も上げてほしいし、実施しているケア内容や医療依存度に応じた単価区分を設定していただきたいなと思います。
- ・各事業者さん各々に特色があるようでしたので、お三方のフリートークが聞いてみたかったです。

【Web講演の意見】

参加しやすい

- ・群馬県から参加しました。どこからでも参加できるのはweb研修の最大のメリットですね。また参加させてもらえたら嬉しいです。
 - ・いつもありがとうございます。
- web講演会ですと参加しやすく助かります。

- ・遠方でも受講できるので受講しやすい
- ・遠方からの参加ができありがたいです。
- ・Web開催のご苦労もあるかと存じますが、遠方からも参加できるのはありがたい限りです。これからもよろしくお願い致します。
- ・放デイの送迎後に参加しやすいので、コロナが落ち着いても是非Web講演会も残していただけるとありがたいです。

続けてほしい

- ・今後も続けてほしい
- ・定期的に、こういった研究会を公開していただけると、非常に嬉しいです。
- ・可能な限り、参加させていただいております。いつも大変勉強になる内容で、感謝しております。世間では、「医療的ケア児」がクローズアップされ、様々な制度や社会資源も充実してきました。反面、学校を終えた後の生活、日中活動や余暇活動の担保、お風呂問題、家族の介護負担など、多くの課題を残しております。小児期から成人期へ移行した方々の生活のリアルや、移行期に備えて、我々支援者に必要な知識や対応について、情報をいただきたいと思っております。

感謝の言葉

- ・コロナの中の研修だけで感謝です。
- ・大変勉強になりました。いつもありがとうございます。
- ・いつも、運営ありがとうございます。貴重な講演はとてものためになります。今後とも宜しくお願い致します。
- ・今後もよろしくお願いいたします。
- ・無料で開催して頂き、学生に紹介しやすく助かっております。今日もありがとうございます。
- ・事務局のみなさま
- ・大変ためになる研修をありがとうございました。医療機関ではない場所で働く看護師の必要性が認められたと同時に、看護師への負担軽減につながる研修があることに感謝します。
- ・お忙しい中、講演いただきありがとうございました。わかりやすく伝えようという姿勢が皆様から伝わり、有意義な時間が過ごせました。

その他要望

- ・来年の診療報酬改定に関する講義を奈倉先生からお聞きしたいです。
 - ・医療的ケア児に関わらず、発達障害についてもとりあげてほしい
 - ・今日は事情により欠席だったが、できる限り県、市町村の方の考え方もきけるといい。
 - ・お時間内にお答えになれないご質問がある場合、ご回答を参加者全体に共有いただけるようですと、みなさまにも有益ではないかと思います。
- ご回答から新たな学びを得ることもあろうかと存じます。
いつも貴重な機会をいただいておりますことに感謝申し上げます。
これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・訪看の家族からも看護師経験年数はあまり関係なく小児やNの経験があるナースとの技術の差があるとよく耳にしますのでzoomでも研修が再開していただけたら嬉しいです。

インターネット接続が悪い・よく聞こえなかった

- ・音声聞き取りにくい場面もあった。
- ・音声が途切れることが時々ありましたので、改善していただけると幸いです。
- ・途中でインターネット環境が不安定になってしまい講師の声がききとれずらかったです。
- ・時々声が途切れてしまったのが残念ですが、遠くからでも参加できるので良かったです。
- ・ミュート解除忘れや音の途切れがあった時はもう一度言ってもらえるとありがたい

・神奈川県からの参加をお許しいただきありがとうございました。残念ながら、途中で音声途切れてしまったり、画像が乱れたり、すっきり拝聴できませんでした。神奈川県立こども医療センター星野先生からのご紹介での傍聴、とても参考になりました。ありがとうございました。

- ・声が聞き取りにくい場面がありました。
- ・内容は良かったのですが、資料画面が見にくかったのと声もノイズがっていました。

音声が少し聞き取りにくいぶんがありました。web公演で良いかと思えます。

資料がほしい

- ・資料はできれば先にいただきたいです
- ・講演前に配布資料をダウンロードできると助かります。ご検討ください。
- ・先に資料があったらよかったなと思いました。（書き込みや後で見直したいところのチェックができるので）
- ・接続に問題も無く良かったです。可能であれば資料配付が事前にあると嬉しい。
- ・事前に資料がいただけると内容見ながら理解が深まるので嬉しいです。

色々難しいこともあるとは思いますが、資料が画面上で小さくて見にくいものもあるので、事前にいただけると嬉しいです。

お忙しい中、素晴らしい研究会、今回もありがとうございました。

- ・事前に資料があると良い

その他感想

- ・以前のように夜集まるのではないので参加が楽になりましたが、会場での参加者の方々の気迫が直に感じられないのは残念です。

3. 第42回埼玉県小児在宅医療支援研究会

テーマ 「循環管理の考え方 ～それはちっとも難しくない!… か?～」

日時： 2021年11月10日（水） 19:00～21:00

場所： Web配信 Zoomウェビナー

埼玉医科大学総合医療センター小児循環器科

石戸博隆

【総論】

心疾患を教科書的に丸覚えする必要はない。心臓の状態は患者によって個別に異なるため、診断名だけで病態を把握することはできない。患者の心臓の状態は主治医に聞くのが最も確実であり、医師に迷惑がられても食い下がって聞いて理解することは、介護者の責務であると言える。介護者にとって大切なことは、心臓の調子が悪くないか見守ることである。まず循環の4要素を覚えて欲しい。①心機能（心臓の収縮能、拡張能、整心拍）、②前負荷（上下大静脈から還流してくる血液量）、③後負荷（動脈側の血管抵抗）、④心拍数（エンジンの回転数）の4要素である。

心不全とは、心拍出量が低下した状態である。心拍出量が低いと、腎血流が減って尿量が減少し、前負荷を処理できないために体液が貯留し、浮腫、頸静脈怒張、肝腫大、腸管浮腫による便秘・下痢が起こる。体は血圧を上げようとして後負荷（末梢静脈の抵抗）を高くするため、動脈の拍動が弱くなり、皮膚は蒼白で冷たく、末梢の皮膚色が悪くなる。また、心拍出量を補うために、心拍数は上がる。心臓がぐたびれてくると、さらに心拍出量が減り、体は血管抵抗と心拍数を上げることで血圧を維持しようとするが、それが破綻すると血圧がどんどん下がって死に至る。

心不全の治療としては、ドパミンやジゴキシンなどの強心剤を使うが、強心剤は心臓をムチ打って頑張らせる薬であるため、それだけでは心機能は改善しない。心機能を改善させるためには、アドレナリンβ遮断薬を少量で長期に使用する。また、前負荷を軽減させるために水分摂取量を制限し、利尿剤にて体液量を減らす。後負荷を軽減させるためにACE阻害薬などの血管拡張薬を使い、痛みや低体温や呼吸苦を緩和する看護も必要。心拍数を落とすためにアテノロールやジゴキシンを使用する。頻拍性不整脈があれば、それを治療する。心不全の状態では臓器への酸素運搬能が低いため、とにかく酸素を十分に与えたほうが良い。左右短絡疾患や高肺血流疾患では例外的に酸素を投与しないほうが良いが、そのような患者は主治医が厳重に注意を発しているはずである。

心不全の症状は、元気がない、心拍が速い、手足が冷たい、顔色が蒼白、おしっこが出ない、むくんでいる。さらに重症の心不全では、皮膚色が土気色で、意識がなく、呼吸が弱く、非常に緊急性が高い。心拍が速い場合は、発熱、興奮、けいれんがありうるが、心拍出量の低下、前負荷の不足、後負荷の低下、頻拍性不整脈といった原因かも知れない。血圧の数値が低い場合は、本人が元気であれば全く問題はない。おしっこが少ない場合は、腎臓が悪かったり SIADH（抗利尿ホルモンの分泌過剰）ということもありうるが、心機能の低下、前負荷の不足が原因かも知れない。前負荷不足であれば、利尿剤ではなく輸液をしなければならない。

以上より、心疾患だからと構えすぎることなく、病歴と全身所見の観察から心臓の病態を考え、医師に提言して頂ければ幸甚である。

質問①： 心室中隔欠損症（VSD）で手術が終わっていない子が保育園を断られた。そのような子はどのようなリスクがあるのか？

→ 心室中隔欠損症は、シャント血流量が少なければ問題ない。酸素投与している VSD の子どもの場合、肺高血圧があると思われるため、呼吸障害を起こしやすく運動制限が必要になる。

質問②： 心不全の患者にβ遮断薬を使うタイミングは？

→ 心不全の初期は強心剤を使わざるをえないが、ある程度落ち着いたら早期からβ遮断薬を始めたほうが良い。標準量の 1/20 という少量から恐る恐る使い始める。

【各論】

心室中隔欠損症（VSD）、心房中隔欠損症（ASD）、動脈管開存症（PDA）など穴を介した左→右短絡疾患では、左心系の動脈血が右心系に流れ込む。高肺血流で肺水腫になり、呼吸苦、多呼吸、哺乳不良といった症状が出る。穴を塞ぐ手術をすれば血行状態は正常になり、運動制限は必要なくなる。

ファロー四徴症（TOF）は、心室中隔欠損（VSD）、大動脈騎乗、肺動脈狭窄、右室肥大の 4 徴で規定されているが、「心室中隔の円錐部が右前上方へ偏移した病気」と考えれば覚えやすい。肺動脈狭窄が強い場合はチアノーゼになるが、肺動脈狭窄が軽い場合はチアノーゼにならない（ピンクファロー）。ファローでは、泣く、興奮、運動などの負荷により無酸素発作が起こり、異常な低酸素状態になる。突発的に肺動脈が閉塞し、右心室の静脈血が VSD を介して大動脈へ流れるためである。無酸素発作のときは胸膝位（蹲踞姿勢）を取らせるのが良い。お母さんが赤ちゃんの足を曲げてお腹を圧迫し、ギューツと丸めて抱っこするのが

有効である。

フォンタン手術について解説する。単心室症、三尖弁閉鎖症、左心低形成症候群では、上下大静脈の静脈血と肺静脈の動脈血がともに単一の心室に入り、混ざった血液が心室から肺動脈と大動脈とに流れ出る。これらの疾患に対し、フォンタン手術を行う。フォンタン手術では、肺動脈を切離し、上下大静脈を直接右肺動脈に繋げる。そうすれば静脈血は全て肺に流れ、動脈血は大動脈へ流れる。フォンタン手術後は、上下大静脈の静脈血を肺へ押し込む心室がないため、むくみやすく、心臓を助けるためのありとあらゆる薬を飲む必要がある。

質問①： 肺高血圧になると肺水腫になるのですか？

→ 肺血管が高血流に耐えられないと、肺血管から水が漏れ出て肺水腫になる。慢性に肺血流量が多い場合は、肺血管抵抗が増えて血管が固くなり肺高血圧になる。高肺血流という同じ原因から発するが、両者は病態が違う。

質問②： ワーファリンを内服する子どもに食事制限を指示する医師と、しない医師がいる。なぜか？

→ ワーファリンは抗凝固薬で、血液をサラサラに保つ作用がある。納豆などビタミンKの多い食材を摂取すると、ワーファリンの作用が阻害されて血液が凝固しやすくなる。僧帽弁に人工弁を置換している患者の場合、人工弁に血餅が付くと弁の動きがどんどん悪化して致命的になるため、しっかり食事制限してワーファリンを効かせることが必須である。一方、フォンタン術後の患者では、肺内の血流うっ滞によって凝血が起こらないよう、薄くワーファリンを飲ませておくことが多い。この場合は多少ビタミンKが入っても大きな影響が出ることは考えにくい。そのため食事制限を指示していない。

開催風景



資料VI-3-1：開催案内



資料VI-3-2：第42回埼玉県小児在宅医療支援研究会 アンケート結果

資料VI-3-1

第42回

参加
無料

埼玉県小児在宅医療支援研究会

日時 2021年 **11** 月 **10** 日(水) 19:00~21:00

場所 Web配信 Zoom ウェビナーで配信 (18:50より入室可能)

※端末でzoomが使用できるようにご準備ください。(ダウンロード・インストールなど)

※お申し込みフォームは下記URL・QRコード、

または研究会HP (<http://www.happy-at-home.org/>) を参照ください。

お申し込み URL

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_421SNdTvRtmWsAP3FSYWyw



お申し込み QR コード

特別講演

石戸 博隆 先生

埼玉医科大学総合医療センター 小児循環器科 講師

「循環管理の考え方

- それはちっとも難しくくない! -」



詳しくは

日本小児在宅医療支援研究会

検索

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 tel:049-228-3550 fax:049-226-1424 e-mail:zaitaku@saitama-med.ac.jp
<http://www.happy-at-home.org/> <http://shounizaitakusien.kenkyuukai.jp/>

第42回埼玉県小児在宅医療支援研究会アンケート集計

「循環管理の考え方 ～それはちっとも難しくない!～」

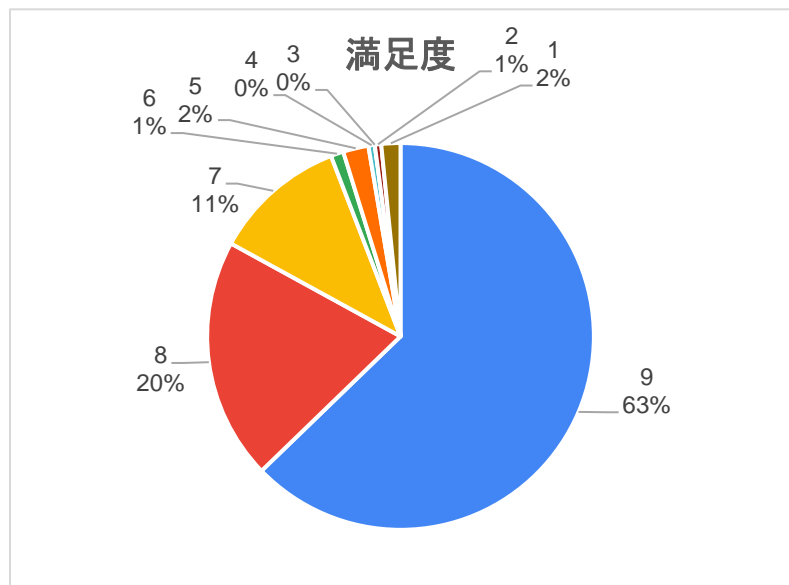
回答 188名

【職種】

看護師・助産師	93
医師	33
リハビリセラピスト	17
教員（小中高校・特別支援学校）	9
教員（専門学校・大学・大学院）	9
薬剤師	8
医療ソーシャルワーカー	3
保育士	3
介護職員	2
歯科医師	2
相談支援専門員	2
保健師	2
出版社	1
患者・家族	1
研究員・学生	1
行政職員	1
歯科衛生士	1

【満足度】

とても満足	9	118
	8	38
	7	21
普通	6	2
	5	4
	4	1
	3	0
とても不満	2	1
	1	3



【本講演の意見・質問】

分かりやすかった	103
講演についての質問	7
要望	4
その他	1

<要望の内容>

・今回のように、現場で必要な基礎知識を学生時代の”解剖学”、”生理学”の学び方ではない方法は、理解しやすかつ、現場で即使用したいと思います。同じような方法で、”呼吸管理の考え方”を企画していただけると嬉しいです。

- ・症例もみられたら良かった
- ・全画面表示でスライドを大きく見たかったのですが、半分にしか拡張できず残念です
- ・年齢もしくは発達段階別の特徴を含めたお話も、今後伺えたらと感じました。

【Web講演会の運営に関する意見や要望】

Webなので参加しやすい	22
感謝の言葉など	13
時間について	5
オンデマンド配信の希望	3
要望・希望するテーマ	5
資料について	2
その他	2
質問	1

<要望・希望するテーマ>

- ・パソコン等に切り換えて観るために、IDとパスワードも送っていただけるとありがたいです。
- ・今後も運営を継続していただき、他県からもZOOMで参加させて頂ければ幸いです。
- ・今回のような疾患に関するテーマをまた企画して欲しい。
- ・いつもタイムリーな話題提供をありがとうございます。とても勉強になっています。今後ともよろしく願います。医療的ケア児法案が可決されました。各地域での取り組みが強化されると思いますので、また新しい情報がありましたらお知らせいただけると助かります。
- ・次回の講演会も大変楽しみにしております。インクルーシブな音楽教育を発展させることができますように、人工呼吸器使用時の発声、歌唱、合唱指導等における注意点等をご専門の先生にご教授いただけるようすと大変有り難く存じます。いつも貴重なご講演等をご案内くださりまして本当に有難うございます。

分かりやすかった

・心臓について、本などではなかなか分かりづらい部分もありますが、今日の講話はとても分かりやすかったです。医療介入の部分は専門的で難しい部分もありましたが、最初の方やおまけの部分は勤務校の該当する子供のことを思い浮かべながら、とても興味深く聞くことができ、今までよりその子供を理解することができました。

石戸先生のような主治医がいらっしゃると学校の教員は助かります。石戸先生がおっしゃられたようにもっと主治医に相談していきたいと感じました。

石戸先生のお話は、あっという間に時間が過ぎたように感じるほど引き込まれました。お忙しい中ありがとうございました。

・20時過ぎから参加しました。途中からの参加でしたが、先生の説明がとても分かりやすかったです。最初から聞けなかった事が、悔やまれます。オンデマンド配信とかあったら、ありがたいです。大阪からの参加でしたが、いつか先生のお話をまたお聞きしたいと思いました。参加させて頂き、ありがとうございました。

・お話が非常にわかりやすく内容と共に非常に参考になりました
・スライドは見やすく、言葉も分かりやすく理解が深まりました。ありがとうございました。
・つい先日、日本の先天性疾患頻度の一位が心室中隔欠損ということを知り、ダウン症よりも発症の循環器系について勉強したいと思っていました。大変わかりやすい講義で勉強になりました。ありがとうございました。

・とってもわかりやすかったです。

恐れずに医師に病状を確認すること！ そのための自分の事前勉強になりました。

また、事前に資料をいただけたこともありがたかったです。

ありがとうございました。

・とても、わかりやすかった。

・とてもわかりやすい講義をありがとうございました。医師として知識の再確認をさせていただいたと同時に、在宅医療に関わるメディカルの方たちへの今後の説明にも参考にさせていただきたいと思います。

・とてもわかりやすい講義内容でした。限られた時間の中で、多くのことを学びました。

・とてもわかりやすい内容でした。もっともっと講演を聞きたかったです。明日からの訪問リハに活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

・とてもわかりやすかったです！

もっとしっかりと理解するために、ゆっくりと聞けたらありがたいです。

ありがとうございました！

・とてもわかりやすかったです。資料をぜひいただきたいです。

・とてもわかりやすかったです。

・とてもわかりやすかったです。

・とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。

・とてもわかりやすく、今後の看護に生かせる内容でした。

ありがとうございました。

・とてもわかりやすく、時間すぎるのがあっという間でした。

今年度心房中隔欠損と僧帽弁置換術後男児が1歳児クラスに入園しました。1~2週間間隔で受診、こまめにワーファリン量調整しています。ビタミンK除去はしていませんが、入園後からワーファリン調整が落ち着いていません。除去食提案しても大丈夫と医師からはいわれています。ワーファリン効きすぎのため、転倒や頭をぶつけるなど、ケガしないよう、ドキドキしながら保育しています…頭には常にヘッドギアみたいな帽子をかぶってもらっています。いつか、ワーファリンが落ち着く日は来るのでしょうか？

・とてもわかりやすく1日コースで改めて講義していただきたい

・とてもわかりやすくご講義いただき感謝します。

・とてもわかりやすく勉強になりました。これを機に主治医と良好な関係づくりをしていきたいと思いました(笑)

・とても興味のあるお話でした。仕事で遅れての参加でしたので、またあらためて視聴したいと思う内容でした。中々簡単ではなく頭に入りづらかったのも、もう一度ゆっくり視聴したいです。。今回のような内容であれば、スライドにはもうワンクッション入れた上でご解説いただくともう少し理解しながらお聞きすることが出来るかもしれません。ですが大変勉強になりました。少し予習をしてから自分のペースで再度聞きたいです。

・とても丁寧にお話して下さりありがとうございます。循環器は苦手な分野でしたので参考になりました。

・とてもわかりやすいお話でした。ありがとうございました。

・とてもわかりやすいお話でよかったです。

・とてもわかりやすい講義ありがとうございました。

・とてもわかりやすい説明で、よく理解できました。

- ・とても分かりやすい説明でした。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすい説明で医療知識の少ない自分でも良く理解できた
- ・とても分かりやすかった。基本的な内容が正しく理解出来たと思う。
- ・とても分かりやすかったです
- ・とても分かりやすかったです！貴重なお話をありがとうございました！
- ・とてもわかりやすかったです。無料で、内容濃くわかりやすい講義ありがとうございました！
- ・とても分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすく楽しい講義でした。医療的ケア児と関わっていく中での観察ポイントが理解できました。次回の講演会も参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすく基礎からお伝え下さったので理解が深まりました。どの内容も普段の仕事で活かされるものなので助かりました。また続編もお聞きしたいです。
- ・とても分かりやすく公演していただきありがとうございます。

・とても分かりやすく説明して下さい、保育園で循環器疾患の子を担当していて日頃抱えていた疑問がスッキリしました。
水分管理について、利尿剤を服用しているのにお茶や汁物をどれだけ飲ませたら良いのか(制限はないと聞いても気になる)、塩分は、体力はどこまで様子を見たら良いのか等日々手探りの状態で見て来ました。今日の講義を受け、バランスが取れていて本人が元気なら大丈夫と、改めて感じる事が出来ました。

- ・とても分かりやすく勉強になりました
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・フォンタン手術とワーファリンのことが分かり易く勉強になりました。第二弾もお願いします。有難うございました。
- ・フォンタン術後の子供の生活についてももう少しお聞きしたかったです。
- ・まだまだ私自身の基礎知識が不十分だと感じました。今回の研修はわかりやすかったです。
- ・もともとこども病院の循環器内科で勤務していたのでベースは勉強していましたが、ととても分かりやすく振り返りできました。ありがとうございました。
- ・ワーファリンのお話が大変参考になりました。
- ・わかりにくい心疾患ですが観察のポイントや心疾患の基礎がとてもわかりやすかったです。
- ・わかりやすい ためになりました
- ・わかりやすい言葉でご説明いただきありがとうございました。
- ・わかりやすかったです。
- ・わかりやすく、参考になる講演会でした。ありがとうございました。
- ・わかりやすく、説明していただきありがとうございました。
- ・解りやすい講義だった。

・楽しく勉強させていただきました。若い時にダウン症児さんたちの0歳からの療育に携わっていたので、中核欠損やファロー四徴など耳馴染みはありましたが、生活への影響などよくわからないままやり過ぎてきました。同じ診断名でも状態等に非常に幅があることがよくわかりました。ありがとうございました。

- ・看護師さんの質問などへの答え方がわかってよかったです。
 - ・基礎は何度も見直せるので良かったです。
 - とてもわかりやすかったです。
 - ・基礎的なところから専門的なところまで、とても良く分かりました。
 - ・基本から実務での観察や着目する点について大変わかりやすく明日から役立つ内容でした。
- ありがとうございました。
- ・貴重な講演ありがとうございました。とても分かりやすい内容で、現在担当しているお子さんでアセスメントしたり、ご両親への観察方法の説明をわかりやすくできると思いました。本日はありがとうございました。

・今回の石戸先生の提唱された、心拍数や血圧を保つのに必要な要素を4つに分けて理解する概念は、臨床でもフィジカルアセスメントで把握できる観点であったため、まさに明日から取り入れやすく、バイタルと同じく反復できることから、より理解しやすく、記憶定着しやすかったです。

・子どもの先天性心臓疾患に関するお話は、なかなか聞くことができないですし、病態について、血液循環を示しながら、看護師にも大変わかりやすいお話でした。日常生活ができるレベルでの症状の観察についてのポイントもお聞きでき、子どもの命を救うことにつながる大変貴重な講演であったと思います。有難うございました。

・私の勤務する病棟はNICUですが、12床のうち半数が心疾患児であることも多い状態です。小児循環器医師は人数も少ない中、いつも丁寧に児を診てくださっており、私も看護師としてももう少し勉強できればと思い、参加させていただきました。非常にわかりやすく、病棟スタッフにも今日の学びを伝えたいと思いました。ありがとうございました。

・資料も事前にいただき、講義もわかりやすかったです。学校の子どもたちの主治医に聞く勇気もいただきました。心疾患の子どもたちを思い浮かべて聞くことができました。

・自分には難しすぎるかな...と思っただけの参加でした。

でも実際にかかわっているお子さんをイメージしながら先生のお話を聞くことで、少しでもそのお子さんへの理解を深められたらと思い参加させていただきましたが、参加できてよかったです。もちろん理解しきれない内容ではありませんでしたが、なぜこの薬？なぜ尿？なぜ心拍数？なぜチアノーゼ？などその子に必要なことや観察する視点を教えていただきました。ありがとうございました。

・循環を保つ4つの要素をもとに、捉え方や観察のポイントが良く分かりました。日常での関わりの時は構えず過ぎず細かな変化を見逃さないようにしていきたいと思います。ありがとうございました。

・循環器がとても苦手でしたが、基礎をしっかりと説明して頂いたのも、とても良かったです。

・循環器の病態は難しいことが多いのですが、わかりやすい講義でした。ワーファリンとVKの相互の影響や、病態の違いによる気の使い具合もわかりやすかったです。

・小児循環器疾患の兆候観察についてとてもわかりやすくお話しいただき、勉強になりました。第2弾をやっていただきたいです！

・症状・対処ととてもわかりやすかったです。ありがとうございました。

・心疾患、前負荷、後負荷などわかりやすく理解できました。ありがとうございました。

・心疾患の仕組みがわかりやすく解説頂け良かったです。

・心疾患を持ったお子さんが歯科を受診される際に、よく名前を聞く疾患や治療法について、今までは曖昧でしたが、今回わかりやすく説明していただけたのでよかったです。

・歯科外来、小児在宅歯科医療の場では先天性心疾患に遭遇することが多くあり、本日はとても勉強になりました。ありがとうございました。

・心臓の基本的なことから講義があり理解しやすい内容でした。

・図を使ってとても細かくわかりやすい講義でした。ありがとうございました。

・石戸先生のご講演、とてもわかりやすかったです。今後も勉強していきたいと思います。ありがとうございました。

・石戸博隆先生 「神講義」！どうも有難うございました。学生時代にご教授いただきました。今回ご講演を直接拝聴できましたこと、心より感謝申し上げます。大学の教職課程で特別支援教育の授業を担当させていただいております。

特別支援教育は教職課程の必修科目になっており、病弱・身体虚弱の単位では、心疾患を含む原因疾患についても学びますが、教育課程や教育内容、教育方法等を含めて1時限（90分または100分）という現状にありますことから、実習やインターンシップ、サークルやボランティア活動等のあらゆる機会を通して、教職志望学生の理解が少しでも深まりますように試行錯誤しているところでございます。

機会がございましたら教職課程の学生にもご教授を賜る機会がございますことを願っております。

お忙しいところを本当に有難うございました。

・代表的な先天性心疾患について、もっともっと聴きかかったです。

いろいろあるし、同じ診断名でも十人十色かと思いますが、今日も左心室低形成のことから、フォントンのことなど考えるだけでも勉強になりました。

・大変わかりやすいご講演を拝聴することができました。ありがとうございました。

・大変わかりやすい講義でした。

・大変わかりやすかったです。グレンとフォントンの間の説明も聞きたかったです。

・大変わかりやすかったです。教科書を読んだだけでは頭に入りにくい内容も、理解できました。学生の頃に講義を受けたかったです。

・大変わかりやすく、主治医の方針や説明を理解するための知識となりました。今後もこれを活かして、リハビリ提供していきたいです。

・大変わかりやすく勉強になりました。特にファロー四徴候の病態はとても覚えやすかったです。

・大変勉強になり、ありがとうございました。患児の病状や注意点について訪問看護師や園・学校の先生は食いついて質問をとのことでしたが、せっかく受け入れてくれてくれているのだから主治医側から寄り添って説明すべきかと思いました。医療的ケアを要する児や家族の障害が少しでも取り払われますよう皆で協力していきたいです。

・内容がすごくわかりやすかったです。

・難しい内容を、とてもわかりやすくお話してくださいました。ありがとうございました。

・難しい内容をわかりやすく説明していただきありがとうございました。

・発達障害などもとりあげてほしいです。

- ・非医療職でも大変わかりやすかったです。心疾患と聞くと構えがちで難しそうと言うイメージが世間にはあると思いますが、先生がおっしゃっていたように、個別ケースの各論から全体像を理解していくことが重要だと感じました
- ・非常にわかりやすい講演で、勉強になりました。心臓の奥深さも改めて知った思いです。ありがとうございました。
- ・非常にわかりやすかったです。
- ・非常にわかりやすく、知識の整理が出来ました。
- ・非常に分かりやすい例えを用いて説明して下さったので理解することが出来ました！1日かけてじっくり研修してほしいと思いました（有料でも参加したいくらい本当に分かりやすかったです）
- ・分かりやすい説明できた。ありがとうございました。観察するポイントを活かし今後の活動を行ってきたいと思っています。

- ・分かりやすく、興味をもって聞くことができました。もっと時間をとってお話を聞ければと思いました。
 - ・訪問がありまして途中からの参加となりました。
- とても分かりやすく最初から受講できれば良かったと思ひ残念です。
また機会があれば受講していきたいと思います。
- ・訪問看護師をしています。すごく分かりやすかったです。ありがとうございました。
 - ・本で読んでも頭に入りにくい分野なのですが、とても分かりやすく、アセスメントするポイントが見えました。ありがとうございました。
 - ・本当にわかりやすかったです。

- ・蹲踞の姿勢、赤ちゃんの膝を曲げて抱っこなど具体的に保護者に説明できることも教えていただいて大変わかりやすい講義でした。先生のような方でしたら質問しやすいですね。ありがとうございました。
- ・分かりやすい講義をありがとうございました。
- ・毎回貴重なお話をいただきありがとうございます。
- ・とても聞きやすく、わかりやすく、イメージしやすいお話をありがとうございます。

要望

- ・今回のように、現場に必要な基礎知識を学生時代の”解剖学”、”生理学”の学び方ではない方法は、理解しやすかつ、現場で即使用えらと思います。同じような方法で、”呼吸管理の考え方”を企画していただけると嬉しいです。
- ・症例もみられたら良かった
- ・全画面表示でスライドを大きく見たかったのですが、半分にしか拡張できず残念です
- ・年齢もしくは発達段階別の特徴を含めたお話も、今後伺えたらと感じました。

質問

- ・1つ質問なのですが、重症心疾患等で低酸素血症にあるお子様や治療を要する心疾患をお持ちのお子様が発症にかかった時、循環動態まで影響が出る場合はどんな時で、何を気をつけるべきでしょうか。わかる範囲で構いません。内服などを含めどうみてあげたら良いのでしょうか。
 - ・医療的ケア児に関わっている教諭に対して看護師の私が研修会の講師を任されています。今までは基本的な内容に留まっていたが、教諭から1人ひとりの医療的ケア児の説明と注意すべき観察点と関わり方についての研修にしてほしいと要望されたのですが、保護者の同意なしで話して良いのか、またどのようにすればいいか困っています。アドバイスお願いします。
 - ・医療的ケア児を受け入れている保育園です。左心低形成症候群の治療をしながら9時~13時の通園を現在しています。主治医はある程度の留意点をアドバイスしてくださいました。それ以外はふつうに保育してもよいとのことでした。看護師1対1です。専門医のお立場から年間の四季を通してどのようなことに日常、留意していけばよいのかとおもわれますか。
 - ・心疾患の医療的ケア児が普通学校等においてICT教育を受ける場合、配慮が必要なこと等がございませうでしょうか。
- また、心疾患の医療的ケア児がインクルーシブ教育の対象にならない条件等はございませうでしょうか。ご教示を賜れますと有り難く存じます。何卒よろしくご依頼申し上げます。
- ・幼児には学校生活管理指導表のようなものはないのでしょうか。個別性で判断が異なるのはわかりましたが、ある程度基準などがあれば助かるのですが。
 - ・フンタン循環の方など運動負荷に気をつけたほうが良い場合、運動の目安なども個人差あると思いますが、具体的にどのようなご指導をされているなどあればお教えください。よろしくご依頼いたします。
 - ・アップルウォッチのようなウェアラブルなモニターを活用したりしている例はありますか？ 在宅の医療用モニターだとある程度記録は残りますが基本は今のHR、SpO2しか表示されないと思いますので、トレンドがわかると何かと役に立つこともあるのかなと思いました。

その他

- ・主治医へのアタックを続けます

Webなので参加しやすい

- ・配信により県外からも移動を考えずに参加できるのはうれしい
- ・Webなので参加しやすかったです。
- ・Webですと他県からでも参加できありがたいです。
- ・webで開催して頂けると、これまで参加できなかった研修会に参加できるので有り難いです
- ・WEBで講演会を実施して頂けると遠方でも気軽に参加できるのでとてもありがたいです。
- ・Web講演会だと、県外からも参加できるので嬉しいです。当院でも現在Webでの勉強会を行っており、進行の仕方なども参考にさせていただきました。ありがとうございました。
- ・WEB講演会ということで、仕事終わりに遠隔で参加でき、本当に助かっています。資料も先に送ってくださり、ありがとうございました。
- ・zoomで参加出来、勉強の機会を得られ有り難かったです。
- ・とてもわかりやすい研修でした。

Web研修は参加しやすいです

- ・ウェブになり、参加しやすくなりました。今後ともよろしくおねがいたします
- ・遠隔での講演企画は参加しやすかったです。会場参加もいいですが、遠方のため参加できないこともあるのでオンラインなどハイブリット企画も検討いただけると嬉しいです。
- ・会場に行かなくても参加できるためとてもありがたいです
- ・県外で遠方でも視聴させていただくことができ、大変助かります
- ・県外にいても参加できるので、とてもありがたいです。
- ・子どもがいるので、在宅で講演会を聴けるのはとても助かります
- ・この講演会を知ったのが遅かったのですが、申し込みが開催ぎりぎりまでできたので助かりました。また、無料ということもとても魅力的でした。地方にいるとなかなかこのような研修会の機会も少ないので、ZOOMウェビナーでの研修会にまた参加したいと感じました。運営等お疲れさまでした。ありがとうございました。
- ・ウェビナーでよかったです。
- ・オンライン大歓迎です
- ・画面に集中できるWeb講演会は、コロナが収束しても継続していただきたいです。
- ・児童の送迎後に参加できるので、今後も続けていただけましたらありがたいです。
- ・質問はしづらいますが、どこにいても参加できるので大変ありがたく存じます。
- ・他県なのでWEBでの開催はありがたいです。

オンデマンド配信の希望

- ・PCの調子が悪く最初の方が効けなかったなど。聞き逃しの場合のために後日もう一度お話しける機会があるといいです。
- ・WEBでしたら、多少遅れて参加をしてもはじめから視聴可能な仕組みですと大変助かります。
- ・オンラインでなく期間内に視聴出来るとなおよいと思いました

感謝の言葉など

- ・いつもお忙しい中貴重な機会を作ってくださいありがとうございます。次回も楽しみにしています。
- ・いつも貴重なご講演等をご計画および実施くださりまして本当に有難うございます。次回も楽しみにしております。
- ・いつも勉強になっています。ありがとうございます。
- ・お忙しいところ講演ありがとうございました。次回の人工呼吸器の講演も楽しみにしています。よろしく願います。
- ・このような講演会を開いて頂きありがとうございました！大きな病院で働いていないため、なかなか勉強会に参加する機会も少ないので、とても助かりました！次回の開催を楽しみにしていますので、是非、宜しくお願い致します。
- ・とても分かりやすく勉強になりました。次回の内容も楽しみにしております。今回も次回も、ちょうど詳しく知りたいと思っていた内容だったので本当に有り難いです。
- ・とても分かりやすく勉強になりました。また機会がありましたら研修に参加させていただきたいと思っております。ありがとうございました。
- ・県外ですが、今後も参加させていただきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・今後ともよろしく願います！

- ・資料等含め、講師の説明、インターネット環境も安定しておりコロナ禍の中では安心して受講させて頂けたかと思えます。ありがとうございました。
- ・次回も楽しみにしております。
- ・先生方、遅くまで本当にありがとうございます。zoomになってから全部参加できています。
- ・問題なく視聴できました。ありがとうございました。

時間について

- ・開始時間をもう少し早くしてほしい
- ・授業などの業務もあるため講演は時間厳守でお願いします。
- ・参加しやすい時間でした。
- ・今回のWeb講演会の開催時間は、適当な時間でした。
- ・時間帯や無料視聴に大変助かっています。小児在宅医療は幅広い分野で毎日試行錯誤しながらで勉強するチャンスはとて有り難いです

資料について

- ・共有資料の先配信(手元で印刷してみたい)
- ・事前に資料配布をしていただき、ありがとうございます。

その他

- ・私のzoomの問題かもしれませんが、拍手機能が見つかりませんでした。
- ・聞きやすかったです。

質問

- ・講演会の参加は、研究会の会員以外のひとの参加も可能ですか？

要望

- ・パソコン等に切り換えて観るために、IDとパスワードも送っていただけるとありがたいです。
- ・今後も運営を継続していただき、他県からもZOOMで参加させて頂ければ幸いです。

希望するテーマ

- ・今回のような疾患に関するテーマをまた企画して欲しい。
 - ・いつもタイムリーな話題提供をありがとうございます。とても勉強になっています。今後ともよろしくお願いします。医療的ケア児法案が可決されました。各地域での取り組みが強化されると思いますので、また新しい情報がありましたらお知らせいただくと助かります。
 - ・次回の講演会も大変楽しみにしております。
- インクルーシブな音楽教育を発展させることができますように、人工呼吸器使用時の発声、歌唱、合唱指導等における注意点等をご専門の先生にご教授いただけるようですと大変有り難く存じます。いつも貴重なご講演等をご案内くださいますと本当に有難うございます。

4. 第43回小児在宅医療支援研究会

テーマ 「医療的ケアの王さま 人工呼吸器のすべて」

日時： 2022年2月16日（水）19：00～21：00

場所： Web配信 Zoom ウェビナー

1) 事前説明

埼玉医科大学総合医療センター小児科 奈倉 道明

2) 在宅人工呼吸器について

埼玉医科大学総合医療センター臨床工学部 須賀 里香

開催風景



資料VI-4-1：開催案内

資料VI-4-2：第43回埼玉県小児在宅医療支援研究会 アンケート結果



第43回

参加
無料

埼玉県小児在宅医療支援研究会

日時 2022年 **2**月**16**日(水) 19:00~21:00

場所 Web配信 Zoom ウェビナーで配信 (18:50より入室可能)

※端末でzoomが使用できるようにご準備ください。(ダウンロード・インストールなど)

※お申し込みフォームは下記URL・QRコード、

または研究会HP (<http://www.happy-at-home.org/>) を参照ください。

お申し込みURL

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_DeIfETz7QhCnz_w4FJRmCw



お申し込み QR コード

特別講演

須賀 里香先生

埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学技士

「医療的ケアの王さま 人工呼吸器のすべて」

医療ケアの中で最もハードルが高そうなのが、人工呼吸器。

医療的ケアの王さまです。

人工呼吸器の子は外出が困難なため、学校や放課後デイなどに通うこともできません。

しかし人工呼吸器の子は、医療的ケア児全体の20%もいます。

人工呼吸器の子が少しずつでも社会に出て行動できるよう、

私たちも力を合わせていかなければなりません。

医療的ケア児における人工呼吸器の考え方、扱い方の極意を解説いたします。



日本小児在宅医療支援研究会

検索



埼玉医科大学総合医療センター小児科 連絡責任者：森脇 浩一

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 tel:049-228-3550 fax:049-226-1424 e-mail:zaitaku@saitama-med.ac.jp

<http://www.happy-at-home.org/>

<http://shounizaitakusien.kenkyuukai.jp/>

第43回埼玉県小児在宅医療支援研究会アンケート集計

「医療的ケア児の王さま 人工呼吸器のすべて」

回答 217件

※アンケートに不備あり。正確に集計が不可能であったため、意見・感想のまとめのみとする。

勉強になった	50
質問・聞きたい内容	11
研究会についての要望	7
感謝の言葉	3
オンライン	2
その他	4

●すべての感想、意見

【勉強になった】

- ・S/Tモードや呼吸器につける人工鼻の作用機序を知らなかったのが勉強になりました。
- ・とてもわかりやすく細かい説明でした。実際の話を変えながらだったので、より想像がつかえました
- ・とてもわかりやすく勉強になりました。
- ・とても詳しく説明いただき機器についてよくわかりました。
- ・とても整理された資料と御説明で 勉強になりました、ありがとうございました。
- ・とても分かりやすかったです。
- ・わかりやすく明確にご説明頂きありがとうございました。
- ・興味深い内容で非常に勉強になりました。
- ・呼吸器の基本的なことを分かりやすく解説していただいて理解が進みました。
- ・呼吸器の用語の意味や人工鼻をして加湿器をかけては何故いけないのかなどとてもわかりやすく説明していただき、理解が深まりました。
- ・今まで人工呼吸器について講話を受けさせてもらいましたが、1番分かりやすく、呼吸器をつけているお子さんの状態を少しながら理解できたように思います。ありがとうございました。
- ・今まで聞いた呼吸器関連のセミナーの中で、一番わかりやすかったです。質問にもご丁寧に答えてくださり、聞き取りやすく、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・今回の小児在宅医療支援研究会を通し、改めて人工呼吸器の考え方や扱い方を学ぶことができました。是非明
- ・詳細な内容で大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・人工呼吸器について、非常にわかりやすいお話でした。1回だけではもったいないぐらいだと思います。
- ・人工呼吸器に関する最近のお話をまとめて聞くことができよかったです。
- ・人工呼吸器の観察項目や、知っておくべきことが大変わかりやすく勉強できました。今後のケアに役立てることができる内容でした。ありがとうございました。
- ・人工呼吸器管理を特別支援学校で進めていく上で大変参考になる物でした。このような貴重な機会を設けていただけて感謝します。
- ・人工呼吸器全般についてのわかりやすい講義でした。
- ・大変参考になりました
- ・大変分かりやすいご講演、ありがとうございました。
- ・大変分かりやすい内容で、とても参考になりました。参加できてよかったです。ありがとうございました。次回の講演会も楽しみにしています。
- ・大変勉強になりました。貴重な機会をありがとうございました。
- ・知りたかった情報をわかりやすく説明していただきよかったです。
- ・難しいことですが、わかりやすいご講演を有難うございました。医療機関を離れてしばらく経ちましたので、大変参考になりました。医療的ケア児の子どもたちのQOLを考えると、ご家族の応援をできる機会をつくることから始めたいと考えています。今後も情報提供を宜しくお願いします。

- ・ PICUにてリハ介入する際、呼吸器の設定や、各種数値を把握する必要がありますので、大変勉強になりました。
 - ・ とても勉強になりました。ありがとうございました。
 - ・ いつも大変勉強になっております。今回もとても分かりやすくご説明いただき大変勉強になりました。
 - ・ お仕事の終わったあとの時間、お忙しいところ貴重なご講演をありがとうございました。20年前の病院の急性期のレスピレーター管理しか知らずにおりましたのでとても参考になりました。現在の障害児保育園の仕事で活用させていただきます。事務局の皆さま、聴講の機会をいただきありがとうございました！
 - ・ このアンケートの、氏名、満足度の選び方がよくわかりませんでした。内容はとてもよかったです。読み替えていただけましたら幸いです。
 - ・ とてもわかりやすいおはなしでした
 - ・ とてもわかりやすく、勉強になりました。有難うございました。
 - ・ とても分かりやすい丁寧な講演会でした。とても満足しています。
 - ・ とても勉強になる講演でした。職場の医療職ではないスタッフにもおすすめしたら、分かりやすかったと好評でした。
 - ・ とても理解しやすい講演でした。
 - ・ 看護師ですが、呼吸器の基本から復習できました。資料で理解を深めます。ありがとうございました。
 - ・ 基礎のふりかえりができました。図、表も理解しやすかったです。ありがとうございました。
 - ・ 呼吸器について詳しく説明していただきとても分かりやすい講義でした。ありがとうございました。
 - ・ 呼吸器の仕組み、対応についてとても詳しくわかりやすいお話と資料で、大変勉強になりました。ありがとうございました。
 - ・ 呼吸器の子どもたちとかかわる機会があり、保護者から聞く情報だけでは理解しがたいこともありました。今回、先生のお話を聞いて、勉強になりました。個々のケースで状況は違いますが、再度資料で学んでいけたらと思っています。コロナ渦でも研修開催していただき、学ぶことができてよかったです。ありがとうございました。
 - ・ 在宅用人工呼吸器について、必要な情報を得ることができました
 - ・ 質問は質疑応答の際に返答していただきました。ありがとうございました。呼吸器の説明や呼吸器に示されている波形の意味の説明などとても解りやすかったです。ありがとうございました。
 - ・ 小児特有の呼吸器管理の事がわかり、ためになりました。
 - ・ 人工呼吸器を使用している小児が増加しています。研修会で学んだことを活かしたいと思います。ありがとうございました。
 - ・ 大変参考になりました。ありがとうございました。
 - ・ 大変勉強になり、ありがとうございました。
 - ・ 丁寧に講義を頂きまして、わかりやすかったです。本当にありがとうございました。
 - ・ 難しい呼吸器の内容をわかりやすく説明して頂き大変勉強になりました。
- これから呼吸器を装着した児童が学校に通うようになった時役立つ内容だったと思います。ありがとうございました。
- ・ 非常に理解しやすかったです。貴重な機会をありがとうございました。
 - ・ 分かりやすかったです。ありがとうございます😊

【質問・聞きたい内容】

- ・ もう少し詳しく小児の呼吸器について事例等挙げて頂き聞きたかったです。
- ・ 呼吸器についてとてもわかりやすく説明していただき大変有意義な時間を過ごすことができました。呼吸器設定の説明の際に、実際に呼吸器が作動している動画などがあるとよりよかったです。ありがとうございました。
- ・ 今回講義の参加は初めてでしたが、今回はざっくりとした内容だったので、もう少し事例等も入れて深い内容のものが聞いてみたいなと思いました。在宅の実際がわかる内容、小児に特化したものなど。講義の内容はとても聞きやすくわかりやすかったです。病院から離れて在宅での仕事をすると、新しい知見や、設定等の相談等もしにくいので、色々な研修に参加して、自分の知識もどんどんアップデートしていかなきゃいけないと感じます。今後も様々な講義楽しみにしています。
- ・ 人工呼吸器について、分かりやすかったです。加湿の考え方などの講義があると嬉しいです。

・人工呼吸器についてとてもわかりやすく講義していただきありがとうございました。以前受けた講義よりもずっと理解することができました。私は訪問看護師なのですが在宅における人工呼吸器の注意事項や外出時のポイント等、生活上の注意点などを講義していただくとありがたいです。

・人工呼吸器の装着理由がいろいろある中で安全に学校生活を過ごせるために、医療従事者ではない教員がみっていくためにどのような体制や研修が必要なのかご教授いただきたいです。

・回路内結露に関してですが、室温を上げてでも誤嚥するほどの過剰結露であれば、カバーをすることもあります。当院では鳥取医大が地元企業と作った呼吸器回路専用カバーを採用しております。その件について、ご意見ありましたらお聞かせください。

・在宅人工呼吸器を指導する際に必ず説明しなければならない内容を教えて欲しい。

・人工呼吸器管理中でも歌を歌うことを楽しんでいる医療的ケア児者がいらっしやいます。合唱を楽しみたいというニーズがあり、応えたいのですが、どのような条件であれば可能でございますでしょうか。また、どのような配慮が必要になりますでしょうか。ご教示を賜れますと有り難く存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

・わかりやすい講義でした。ありがとうございました。人工鼻を付けたら呼吸回数が増えると思いました。人工呼吸器をつけていない、気管切開の部分に人工鼻を装着している医療的ケア児の場合も健常児よりも呼吸回数が増えていると考えてよいのでしょうか。フィルターが加湿されることで一回換気量が少なくなる。睡眠時、深い眠りの時には心拍数も下がりますが、SPO2値も下がりやすくなりますか。

・養護学校で看護師をしております。病院を離れて呼吸器を触る事もほぼ無くなっていましたので、いろいろと思いつく機会を与えてくださり、本当にありがとうございます。来年度は呼吸器を使用した方の入学は無いようですが、今後入学されてくる呼吸器を使用する児童・生徒さん達の受け入れについて、いろいろ検討しているところです。特に入学や転入されてからのどのくらいの間、保護者の方に付き添いをお願いしたら良いのでしょうか？呼吸器自体や、保護者と本人との分離からくる本人の不安や、新しい環境へ慣れるまでなど、それぞれ個性はあると思います。段階的に検討しているのですが、早い方・時間のかかる方で、どのくらいの期間付き添ってもらっているのか教えていただきたいです。また、プールへの入水希望がある場合、どの様に対応していくべきでしょうか？よろしく申し上げます。

【研究会についての要望】

・業務の都合で途中入室になってしまい後半のみの聴講になってしまい残念でした。後日配信があると嬉しいです。

・説明が速いので、先に資料があればわかりやすいです

・とても分かりやすい内容で勉強になりました。職場でも共有したいので、ぜひ資料をいただきたいです。

・事前に講演資料を印刷させていただけたら有難いです。

・事前に資料を見ながら聞けたら、書き込みもできたらよかったです。また、繰り返し見返せるように、終了後に録画をみられるようにしていただけたらありがたいと思います。

・内容が多すぎてついていけないところがありました。このアンケートに答えたら資料がいただけるとのこと。復習します<(_)>

・内容が盛り沢山の割りに講演時間が短く感じました。ハンドアウトがない状況でのノート取りに時間を要し、スライド内容の理解途中で次のスライドへ進んでしまい、消化不良なところがありました。先生の説明もやや早口であった印象です。ハンドアウトで再度確認し、臨床で活用したいと思います。

【感謝の言葉】

・貴重なご機会をありがとうございました。

・貴重な機会を作ってくださいありがとうございます。

・沢山の資料とともにとてもわかりやすく講義をして頂き、ありがとうございました。また、県外でも参加できる環境にとっても感謝しています。

【オンライン】

・zoomでの視聴ができ大変ありがたかったです

・Zoomのメリットは非常に大きいです。貴重な勉強会を開催いただきありがとうございます。

【その他】

・非常に有意義でした

・今回、臨床工学技士の方のお話を伺うことができとても嬉しく思っております。私は、日本生体医工学会の会員で、臨床工学技師の方を大変身近に感じており、ぜひ活躍していただきたいと思っております。お話を伺って、臨床工学技士の方が小児在宅医療のご家庭を訪問して、NICU退院後のベビーを育てる新米のご両親へのサポートができるのではないかと強く思いました。例えば、退院後すぐの医療機器の使い方の指導、定期的に訪問し過ぎた使用をしていないかについての危険性の確認と注意喚起、成長に応じたより良い医療機器への移行の検討などがあれば良いのでは？と思った次第です。医療機器のプロである臨床工学技師が、各ご家庭に訪問されても、保険点数は付かないのでしょうか？ 医療的ケア児を育てるママさんからは、「医療機器を自分一人で操作することはとても怖かったけれど、そのうち慣れてきた。逆に慣れすぎていて怖い。」という話を聞きました。医療機器のメンテナンスは、医療機器メーカーが担っているとは思いますが、今後、医療的ケア児が保育園や幼稚園などに通い出した時に、少しでも使いやすい医療機器が求められると思います。小児在宅医療の現場に、もっと臨床工学技師が配置されることで、この分野の発展を願うばかりです。（ちなみに、私自身は、保育士・小学校教諭・公認心理師養成大学で教員をしており、医療的ケア児を受け入れる学生を育てているところで。）

・もう少し噛み砕いて説明いただけるとありがたいです。

・大変わかりやすい講義で勉強になりました。ありがとうございました。支援学校では、呼吸器は腫れ物扱いで、看護師さんですら画面表示を切り替えるどころか本体の位置すら変えてくれません。素人である患者家族が扱えるものが、そこまで過剰に聖遺物扱いされていることに違和感を禁じ得ません。触れずにトラブル対応も訓練もできません。触れてはいけない、という刷り込みをどうか在宅の権威であるみなさまの後押しで払拭していただきたいです。

事業担当：埼玉医科大学総合医療センター小児在宅医療支援プロジェクトチーム

田村正徳 森脇浩一 側島久典 高田栄子 奈須康子 奈倉道明 是松聖悟 小泉恵子

運営協力：小児科 メディカルアシスタント：當麻未奈世

総合周産期母子医療センター メディカルアシスタント：吉田達彦 上野優里香

小児科秘書：勝又由美子 白石和代
